

合田幸広：医薬品としての生薬・漢方製剤：多成分系医薬品としての未来.

第69回東洋医学会学術総会スポンサードセミナー (2018.6.10)

合田幸広：医薬品としての生薬の品質.  
第35回和漢医薬学会学術大会 (2018.9.2)

合田幸広：アントシアニンを機能性関与成分とする上で考えるべきことは.  
第7回アントシアニン研究会 (2018.11.16)

清水美音<sup>\*1</sup>, 山路誠一<sup>\*1</sup>, 新井一郎<sup>\*1</sup>, 三宅克典<sup>\*2</sup>, 寺林進<sup>\*3</sup>, 酒井英二<sup>\*4</sup>, 合田幸広, 川原信夫<sup>\*5</sup>, 飯田修<sup>\*5</sup>: 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究 (第7報) ～コナラの種内変異(1)～.  
日本生薬学会第65回年会 (2018.9.17)

<sup>\*1</sup> 日本薬科大学

<sup>\*2</sup> 東京薬科大学

<sup>\*3</sup> 横浜薬科大学

<sup>\*4</sup> 岐阜薬科大学

<sup>\*5</sup> 医薬基盤・健康・栄養研薬用植物資源研究センター

合田幸広：日本薬局方の役割と今後の展開.  
日本薬学会第139年会シンポジウム (2019/3/21)

篠田夏海<sup>\*1</sup>, 清水美音<sup>\*1</sup>, 山路誠一<sup>\*1</sup>, 新井一郎<sup>\*1</sup>, 三宅克典<sup>\*2</sup>, 寺林進<sup>\*3</sup>, 酒井英二<sup>\*4</sup>, 合田幸広, 川原信夫<sup>\*5</sup>, 飯田修<sup>\*5</sup>: 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究 (第8報) ～コナラの種内変異(2)～.  
日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

<sup>\*1</sup> 日本薬科大学

<sup>\*2</sup> 東京薬科大学

<sup>\*3</sup> 横浜薬科大学

<sup>\*4</sup> 岐阜薬科大学

<sup>\*5</sup> 医薬基盤・健康・栄養研薬用植物資源研究センター

高見麻友<sup>\*1</sup>, 伊豆津健一, 竹内達<sup>\*2</sup>, 松井一樹<sup>\*2</sup>, 杉原正久<sup>\*2</sup>, 菅野清彦<sup>\*3</sup>, 山下伸二<sup>\*1</sup>: 明酸性薬物の経口製剤のヒトBE試験における個体内変動の解析.  
日本薬剤学会第33年会 (2018.5.30)

<sup>\*1</sup> 摂南大学

<sup>\*2</sup> 沢井製薬

<sup>\*3</sup> 立命館大学

伊豆津健一, 軽部郁雄<sup>\*1</sup>, 木村聖子<sup>\*2</sup>, 田中景子<sup>\*3</sup>, 豊福英次<sup>\*4</sup>, 西垣智裕<sup>\*5</sup>, 真中晃<sup>\*1</sup>, 余村達洋<sup>\*6</sup>: 製品のライフサイクルを見据えた開発段階での外部業者マネジメント.  
日本PDA製薬学会第25回年会 (2018.11.27)

<sup>\*1</sup> 大正製薬

<sup>\*2</sup> 塩野義製薬

<sup>\*3</sup> 千寿製薬

<sup>\*4</sup> 東和製薬

<sup>\*5</sup> 田辺三菱製薬

<sup>\*6</sup> ツムラ

Izutsu K: Application of thermal analysis in formulation design and process optimization of freeze-dried pharmaceutical products.  
PITTCON Conference & Expo (2019.3.18)

Izutsu K: Regulatory approach to maintain bioequivalence of formulations through the API lifecycle in Japan.  
3rd International Symposium on BA/BE of Oral Drug Products (2018.10.12)

照屋慶太<sup>\*</sup>, 吉田寛幸, 福澤薫<sup>\*</sup>, 古石誉之<sup>\*</sup>, 郡司美穂子<sup>\*</sup>, 阿部康弘, 伊豆津健一, 合田幸広, 米持悦生<sup>\*</sup>: フロースルーセル溶出試験法における錠剤崩壊後の粒子浮遊が溶出性へ及ぼす影響の解明.  
日本薬剤学会第33年会 (2018.5.31)

<sup>\*</sup> 星薬科大学

吉田寛幸, 阿部康弘, 伊豆津健一, 合田幸広: ジェネリック医薬品品質情報検討会における後発医薬品の品質確保と信頼性向上に向けた取り組み: メロキシカム錠の溶出試験結果.  
医療薬学フォーラム2018 (2018.6.24)

吉田寛幸, 阿部康弘, 栗田麻里, 伊豆津健一: ジェネリック医薬品の使用増加と品質等に関する文献・学会発表情報の推移.  
日本薬剤師会第51回学術大会 (2018.9.24)

阿部康弘, 吉田寛幸, 伊豆津健一, 合田幸広: ジェネリック医薬品の品質に関する情報集 (ブルーブック) の公開

とその活用に向けて.

第28回日本医療薬学会 (2018.11.23)

吉田寛幸, 阿部康弘, 栗田麻里, 伊豆津健一: 後発医薬品の使用促進と大学・医療機関での品質関連研究の推移.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

阿部康弘, 吉田寛幸, 伊豆津健一, 合田幸広: ジェネリック医薬品品質情報検討会によるブルーブックの公開から1年を迎えて.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

吉田寛幸: 経肺投与製剤のin vitro評価法—肺内沈着量の予測のために—.

日本薬剤学会 経肺経鼻投与製剤フォーカスグループ研究会 (2019.1.11)

照屋慶太\*, 吉田寛幸, 福澤薫\*, 古石誉之\*, 阿部康弘, 伊豆津健一, 米持悦生\*: フロースルーセル溶出試験法におけるガラスビーズ径が製剤の溶出性へ及ぼすメカニズムの解明.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

---

\* 星薬科大学

宮崎玉樹, 菅野仁美, 阿曾幸男, 合田幸広: コールドフローの評価による貼付剤基剤の品質変化の検出.

日本薬剤学会第33年会 (2018.5.30)

Tamaki Miyazaki: Excipient Nomenclature for JP. USP Workshop (2018.8.7)

Miyazaki T, Kanno H, Aso Y, Izutsu K, Goda Y: Cold Flow Properties of Tulobuterol Patches. 2018 AAPS Annual Meeting (2018.11.7)

菅野仁美, 宮崎玉樹, 阿曾幸男, 伊豆津健一, 合田幸広: グラニセトロン塩酸塩注射液の定量法の比較.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

宮崎玉樹, 菅野仁美, 山本栄一, 伊豆津健一, 合田幸広: 貼付剤のタック —異なる試験法で得られた結果の比較.

日本薬学会第138年会 (2019.3.21)

Sasaki T<sup>\*1</sup>, Sakamoto T, Otsuka M<sup>\*2</sup>: Evaluation of -Cyclodextrin Hexahydrate Crystal by High Accuracy

Terahertz Spectroscopy.

The 19th International Cyclodextrin Symposium (2018.4.28)

---

<sup>\*1</sup> Shizuoka University

<sup>\*2</sup> Musashino University

本田洸樹<sup>\*1</sup>, 服部祐介<sup>\*1</sup>, 大塚邦子<sup>\*2</sup>, 坂本知昭, 大塚誠<sup>\*1</sup>: 近赤外分光法によるレボノルゲストレル海外輸入品の簡易同定と赤外顕微マッピング解析.

日本薬剤学会第33年会 (2018.5.30)

---

<sup>\*1</sup> 武蔵野大学

<sup>\*2</sup> 横浜薬科大学

長沼実季<sup>\*1</sup>, 本田洸樹<sup>\*1</sup>, 服部祐介<sup>\*1</sup>, 大塚邦子<sup>\*2</sup>, 坂本知昭, 大塚誠<sup>\*1</sup>: 近赤外分光法を用いた簡易偽造医薬品判別法 —異なる造粒・圧縮法により調製された偽造医薬品への適用—.

日本薬剤学会第33年会 (2018.6.1)

---

<sup>\*1</sup> 武蔵野大学

<sup>\*2</sup> 横浜薬科大学

Sakamoto T, Sasaki T<sup>\*1</sup>, Fujimaki Y<sup>\*2</sup>, Chikuma T, Goda Y: Study on difference among the THz spectra obtained from commercial caffeine and sodium benzoate (CSB) on the market.

43<sup>rd</sup> International Conference on Infrared, Millimeter and Terahertz Waves (2018.9.10)

---

<sup>\*1</sup> 静岡大学

<sup>\*2</sup> 東京都立産業技術研究センター

Horita K\*, Nakanishi A\*, Fujita K\*, Akiyama K\*, Sakamoto T, Takahashi H\*, Goda Y: Pharmaceutical analysis using broadband terahertz quantum cascade laser sources based on difference frequency generation 43<sup>rd</sup> International Conference on Infrared, Millimeter and Terahertz Waves (2018.9.10)

---

\* Hamamatsu Photonics

Sasaki T<sup>\*1</sup>, Sakamoto T, Otsuka M<sup>\*2</sup>: Quantitative impurity measurement in organic crystals by precise measurement of THz absorption frequencies.

43<sup>rd</sup> International Conference on Infrared, Millimeter

and Terahertz Waves (2018.9.11)

\*<sup>1</sup> Shizuoka University

\*<sup>2</sup> Musashino University

秋山高一郎\*, 堀田和希\*, 里園浩\*, 高橋宏典<sup>1</sup>, 坂本知昭, 合田幸広: 懸濁液中での溶液媒介転移評価に対するTHz-ATR計測の適用可能性.

製剤と粒子設計シンポジウム (2018.10.26)

\* 浜松ホトニクス

藤巻康人<sup>\*1</sup>, 坂本知昭, 小金井誠司<sup>\*1</sup>, 村山広大<sup>\*2</sup>, 知久馬敏幸: 高次倍音領域の近赤外スペクトルを用いた光学活性医薬品製剤の迅速定量分析.

第34回近赤外フォーラム (2018.11.21)

\*<sup>1</sup> 東京都立産業技術研究センター

\*<sup>2</sup> 横河電機

坂本知昭, 藤巻康人<sup>\*1</sup>, 小金井誠司<sup>\*1</sup>, 村山広大<sup>\*2</sup>, 知久馬敏幸: 市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第6報 光学活性化合物を含有する錠剤の非破壊迅速分析への高次倍音近赤外スペクトルの活用.

第34回近赤外フォーラム (2018.11.21)

\*<sup>1</sup> 東京都立産業技術研究センター

\*<sup>2</sup> 横河電機

Sakamoto T, Sasaki T\*, Chikuma T: Vibrational spectroscopic analysis of a salt complex CNS stimulant using THz, mid- and near-IR, Raman and Low-frequency Raman spectroscopy.

The Pittsburg Conference on Analytical Chemistry and Applied Spectroscopy 2019 (2019.3.19)

\* Shizuoka University

Sasaki T<sup>\*1</sup>, Sakamoto T, Otsuka M<sup>\*2</sup>: Quantitative Impurity Measurement in Pharmaceuticals by THz Laser Spectrometer.

The Pittsburg Conference on Analytical Chemistry and Applied Spectroscopy 2019 (2019.3.19)

\*<sup>1</sup> Shizuoka University

\*<sup>2</sup> Musashino University

長沼実季<sup>\*1</sup>, 服部祐介<sup>\*1</sup>, 大塚邦子<sup>\*2</sup>, 坂本知昭, 大塚誠<sup>\*1</sup>: 近赤外分光法を用いた偽造医薬品判別法  
日本薬学会第139年会 (2019.3.22)

\*<sup>1</sup> 武蔵野大学

\*<sup>2</sup> 横浜薬科大学

坂本知昭, 佐々木哲朗<sup>\*1</sup>, 藤巻康人<sup>\*2</sup>, 知久馬敏幸: 市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第7報 テラヘルツ分光法, 中・近赤外分光法及びラマン分光法を用いた塩複合体医薬品の振動分光分析  
日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\*<sup>1</sup> 静岡大学

\*<sup>2</sup> 東京都立産業技術研究センター

知久馬敏幸, 坂本知昭: 市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第8報 肝蛭症治療薬Egaten錠を用いたラマンイメージング構築の最適化のためのスペクトル解析アプローチ.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

佐々木哲朗<sup>\*1</sup>, 坂本知昭, 大塚誠<sup>\*2</sup>: 医薬品のテラヘルツ分光スペクトルデータベースの構築.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\*<sup>1</sup> 静岡大学

\*<sup>2</sup> 武蔵野大学

藤巻康人\*, 坂本知昭, 小金井誠司\*: 大気中光電子収量分光法による医薬品のエネルギー準位測定.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 東京都立産業技術研究センター

秋山高一郎\*, 堀田和希\*, 坂本知昭, 里園浩\*, 高橋浩典\*, 合田幸広: テラヘルツ波減衰全反射分光を用いたヨーグルトの乳酸発酵プロセスのモニタリング.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 浜松ホトニクス

田中水慧\*, 伊藤雅隆\*, 坂本知昭, 鈴木浩典\*, 野口修治\*: テラヘルツ分光法を用いたモデル錠剤中の原薬の定量.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 東邦大学

藤井美佳<sup>\*1</sup>, 我藤勝彦<sup>\*2</sup>, 小澤洋介<sup>\*3</sup>, 久田浩史<sup>\*1</sup>, 小出達夫, 大西優<sup>\*1</sup>, 井上元基<sup>\*1</sup>, 深水啓朗<sup>\*1</sup>: 角層細胞間脂質類似混合物の調製温度による構造変化.  
日本薬剤学会第33年会 (2018.5.30)

<sup>\*1</sup> 明治薬科大学

<sup>\*2</sup> アステラス製薬 (株)

<sup>\*3</sup> マルホ (株)

竹内勇輝<sup>\*</sup>, 小出達夫, 井上元基<sup>\*</sup>, 大西優<sup>\*</sup>, 深水啓朗<sup>\*</sup>: 透過型ラマン分光法を用いた製剤中コクリスタルの定量と分解物の検出に関する研究.  
日本薬剤学会第33年会 (2018.5.31)

\* 明治薬科大学

宮坂耕平<sup>\*</sup>, 野村和也<sup>\*</sup>, 大西優<sup>\*</sup>, 久田浩史<sup>\*</sup>, 井上元基<sup>\*</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*</sup>: 低波数ラマン分光測定を用いた製剤化工程における原薬結晶形の評価.  
日本薬剤学会第33年会 (2018.5.31)

\* 明治薬科大学

井上元基<sup>\*</sup>, 大西優<sup>\*</sup>, 久田浩史<sup>\*</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*</sup>: 透過低波数ラマン分光法による結晶多形の定量.  
日本薬剤学会第33年会 (2018.5.31)

\* 明治薬科大学

近藤敦斗<sup>\*</sup>, 齋藤歩<sup>\*</sup>, 竹内勇輝<sup>\*</sup>, 小出達夫, 井上元基<sup>\*</sup>, 大西優<sup>\*</sup>, 深水啓朗<sup>\*</sup>: 透過型ラマン分光法を用いた錠剤中のカルバマゼピン/コハク酸コクリスタルの定量.  
第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.16)

\* 明治薬科大学

齋藤歩<sup>\*</sup>, 近藤敦斗<sup>\*</sup>, 竹内勇輝<sup>\*</sup>, 小出達夫, 久田浩史<sup>\*</sup>, 井上元基<sup>\*</sup>, 大西優<sup>\*</sup>, 深水啓朗<sup>\*</sup>: 低波数領域を利用したラマン分光法の校正基準に関する研究.  
第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.16)

\* 明治薬科大学

榎戸光<sup>\*</sup>, 久田浩史<sup>\*</sup>, 大西優<sup>\*</sup>, 井上元基<sup>\*</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*</sup>: 医薬品添加物規格における確認試験法とし

ての携帯型ラマン分光計の実用性.

第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.16)

\* 明治薬科大学

長田拓美<sup>\*</sup>, 竹内勇輝<sup>\*</sup>, 井上元基<sup>\*</sup>, 久田浩史<sup>\*</sup>, 大西優<sup>\*</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*</sup>: 透過型低波数ラマン分光法を用いた医薬品錠剤中共結晶の定量.  
第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.16)

\* 明治薬科大学

神原滯奈<sup>\*1</sup>, 星加織<sup>\*1</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*2</sup>, 山本佳久<sup>\*1</sup>: 近赤外分光法を応用した貼付剤における水分量の評価.  
第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.16)

<sup>\*1</sup> 帝京平成大学

<sup>\*2</sup> 明治薬科大学

早川由香<sup>\*1</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*2</sup>, 山本佳久<sup>\*1</sup>: ベタメタゾン吉草酸エステルクリーム剤の製剤特性に関する研究.  
第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.16)

<sup>\*1</sup> 帝京平成大学

<sup>\*2</sup> 明治薬科大学

柴崎智奈津<sup>\*1</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*2</sup>, 山本佳久<sup>\*1</sup>: クロベタゾールプロピオン酸エステルクリームとヘパリン類似物質含有保湿剤の混合安定性評価.  
第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.16)

<sup>\*1</sup> 帝京平成大学

<sup>\*2</sup> 明治薬科大学

Koide T, Fukami T\*: Quantification of Cocrystal in Solid Dosage Forms Using Transmission Raman Spectroscopy. SCIX2018 (2018.10.25)

\* Meiji Pharmaceutical University

山本佳久<sup>\*1</sup>, 星加織<sup>\*1</sup>, 神原滯奈<sup>\*1</sup>, 山内理恵<sup>\*2</sup>, 大野修司<sup>\*2</sup>, 浅井和範<sup>\*2</sup>, 深水啓朗<sup>\*3</sup>, 小出達夫: ケトプロフェンパップ剤の放置条件による水分含量への影響.  
日本医療薬学会第28年会 (2018.11.23)

\*<sup>1</sup> 帝京平成大学

\*<sup>2</sup> 星薬科大学

\*<sup>3</sup> 明治薬科大学

濱口雅史<sup>\*1</sup>, 藤井美佳<sup>\*2</sup>, 山本佳久<sup>\*3</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*2</sup>, 林祥弘<sup>\*1</sup>, 大貫義則<sup>\*1</sup>: タクロリムス軟膏の高湿保存による粘度物性変化と製剤均一性への影響.

日本医療薬学会第28年会 (2018.11.23)

\*<sup>1</sup> 富山大学

\*<sup>2</sup> 明治薬科大学

\*<sup>3</sup> 帝京平成大学

作田未来\*, 吉田直子\*, 小出達夫, 木村和子\*, 坪井宏仁\*: カンボジアに流通するロキシシロマイシン錠の近赤外イメージングを用いた溶出性不良の原因究明.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\* 金沢大学

三輪絵未奈<sup>\*1</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*2</sup>, 山本佳久<sup>\*1</sup>: 近赤外分光法を用いたヘパリン類似物質油性クリーム製剤と軟膏製剤の混合物安定性に関する研究.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\*<sup>1</sup> 帝京平成大学

\*<sup>2</sup> 明治薬科大学

齋藤拓人<sup>\*1</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*2</sup>, 山本佳久<sup>\*1</sup>: アセトアミノフェン坐剤における示差走査熱量計および近赤外分光法を用いた主成分均一性の評価.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\*<sup>1</sup> 帝京平成大学

\*<sup>2</sup> 明治薬科大学

齋藤歩\*, 近藤敦斗\*, 竹内勇輝\*, 小出達夫, 久田浩史\*, 井上元基\*, 深水啓朗\*: ラマン分光法における低波数領域の校正用標準物質に関する研究.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 明治薬科大学

長田拓美\*, 竹内勇輝\*, 井上元基\*, 久田浩史\*, 小出達夫, 深水啓朗\*: 透過および後方散乱低波数ラマン分光法を用いた錠剤中共結晶の定量性比較.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 明治薬科大学

渡邊祐太郎<sup>\*1</sup>, 星野拓也<sup>\*1</sup>, 山本佳久<sup>\*2</sup>, 小出達夫, 深水啓朗<sup>\*1</sup>: 精製白糖・ポビドンヨード軟膏剤の製剤学的特性に関する比較.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\*<sup>1</sup> 明治薬科大学

\*<sup>2</sup> 帝京平成大学

錦織花梨\*, 長谷川功紀\*, 原矢佑樹, 扇田隆司\*, 加藤くみ子, 赤路健一\*, 斎藤博幸\*: 両親媒性環状ペプチドの細胞膜透過機構解明に向けたペプチドの合成.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 京都薬科大学

小谷真菜<sup>\*1</sup>, 田村悠樹<sup>\*1</sup>, 扇田隆司<sup>\*1</sup>, 原矢佑樹, 西辻和親<sup>\*2</sup>, 内村健治<sup>\*3</sup>, 長谷川功紀<sup>\*1</sup>, 加藤くみ子, 赤路健一<sup>\*1</sup>, 斎藤博幸<sup>\*1</sup>: ApoE糖鎖結合ドメイン改変型両親媒性アルギニンペプチドの細胞膜透過機構.

日本薬学会第139年会 (2019.3.22)

\*<sup>1</sup> 京都薬科大学

\*<sup>2</sup> 和歌山県立医科大学

\*<sup>3</sup> (仏) 国立科学研究センター

加藤くみ子: 新規理化学試験法による医薬品分析.

JASIS関西2019 (2019.2.7)

加藤くみ子, 南條邦江, 伊豆津健一: 環状ペプチドのノンポーラスシリカ逆相HPLCカラムを用いた物性評価.

新アミノ酸分析研究会第8回学術講演会シンポジウム (2018.12.17)

加藤くみ子: ナノ医薬品に関するレギュラトリーサイエンス研究.

第5回COINSシンポジウム (2018.12.14)

加藤くみ子: 新規試験法による医薬品分析.

日本薬局方セミナー JASIS2018 (2018.9.6)

Takechi-Haraya Y, Sakai-Kato K: Regulatory science research for the evaluation of nanomedicines at NIHS. 11<sup>th</sup> European and Global Summit for Clinical Nanomedicine, Targeted Delivery and Precision Medicine (2018.9.4)

原矢佑樹, 合田幸広, 加藤くみ子: 原子間力顕微鏡法による荷電脂質含有リポソームの剛性測定.  
第34回日本DDS学会学術集会 (2018.6.22)

加藤くみ子: 革新的医薬品の早期実用化に向けた取り組み.  
日本薬剤学会第33年会 (2018.6.1)

加藤くみ子: 超微細加工技術の医療応用への課題.  
日本薬剤学会第33年会 (2018.5.30)

扇田隆司<sup>\*1</sup>, 灘井亮<sup>\*1</sup>, 田村悠樹<sup>\*1</sup>, 小谷真奈<sup>\*1</sup>, 田中翔子<sup>\*1</sup>, 原矢佑樹, 西辻和親<sup>\*2</sup>, 内村健治<sup>\*3</sup>, 長谷川功紀<sup>\*1</sup>, 加藤くみ子, 赤路健一<sup>\*1</sup>, 斎藤博幸<sup>\*1</sup>: ApoE糖鎖結合ドメイン改変型両親媒性アルギニンペプチドの細胞膜透過機構.  
日本薬学会第139年会 (2018.5.9)

<sup>\*1</sup> 京都薬科大学

<sup>\*2</sup> 徳島大学大学院医歯薬学研究部

<sup>\*3</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科

原矢佑樹, 合田幸広, 加藤くみ子: 原子間力顕微鏡法によるリポソームのサイズおよび形態評価.  
日本膜学会第40年会 (2018.5.8)

Ishii-Watabe A: Points to Consider for Immunogenicity Assessment of Therapeutic Proteins.  
12<sup>th</sup> Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2018.4.11)

柴田寛子: バイオ医薬品の分析方法に関する課題: レギュラトリーサイエンスの観点から.  
第39回日本動物細胞工学会シンポジウム (2018.6.15)

柴田寛子: 複雑な医薬品の品質確保～バイオ医薬品を中心に～.  
第34回日本DDS学会学術集会 (2018.6.22)

木吉真人, ホセカヴェイロ<sup>\*1,2</sup>, 多田稔, 田村浩子<sup>\*1</sup>, 田中亨<sup>\*3</sup>, 寺尾陽介<sup>\*3</sup>, コルドモランテ<sup>\*1</sup>, 原園景, 橋井則貴, 柴田寛子, 黒田大祐<sup>\*1</sup>, 長門石曉<sup>\*1</sup>, 大江正剛<sup>\*3</sup>, 井出輝彦<sup>\*3</sup>, 津本浩平<sup>\*1</sup>, 石井明子: 熱力学的パラメーターを用いた抗体医薬品糖鎖バリエーションの物性評価.  
日本蛋白質科学会年会 (2018.6.26)

<sup>\*1</sup> 東京大学大学院工学系研究科,

<sup>\*2</sup> 九州大学大学院薬学研究科

<sup>\*3</sup> 東ソー (株)

Shibata H, Nishimura K, Miyama C, Ishii-Watabe A, Okamoto-Uchida Y, Saito Y, Kawai S<sup>\*</sup>, Yamada S<sup>\*</sup>, Nanki T<sup>\*</sup>: Factors influencing production of anti-drug antibodies against biopharmaceuticals in rheumatoid arthritis patients.  
18<sup>th</sup> world congress of basic and clinical pharmacology (2018.7.4)

<sup>\*</sup> Toho University School of Medicine

Shibata H, Kiyoshi M, Harazono A, Torisu T<sup>\*1</sup>, Maruno T<sup>\*2</sup>, Akimaru M<sup>\*3</sup>, Asano Y<sup>\*4</sup>, Hirokawa M<sup>\*5</sup>, Ikemoto K<sup>\*5</sup>, Itakura Y<sup>\*1</sup>, Iwura T<sup>\*6</sup>, Kikitsu A<sup>\*7</sup>, Kumagai T<sup>\*8</sup>, Mori N<sup>\*5</sup>, Murase H<sup>\*4</sup>, Nishimura H<sup>\*9</sup>, Oda A<sup>\*10</sup>, Ogawa T<sup>\*11</sup>, Ojima T<sup>\*3</sup>, Okabe S<sup>\*4</sup>, Saito S<sup>\*3</sup>, Saitoh S<sup>\*12</sup>, Suetomo H<sup>\*6</sup>, Takegami K<sup>\*11</sup>, Takeuchi M<sup>\*7</sup>, Yasukawa H<sup>\*4</sup>, Uchiyama S<sup>\*13</sup>, Ishii-Watabe A: Collaborative study for analysis of subvisible particles using flow imaging and light obscuration: experience in Japanese biopharmaceutical consortium.  
2018 Workshop on Protein Aggregation and Immunogenicity (2018.8.1)

<sup>\*1</sup> Takeda Pharmaceutical Co., Ltd.

<sup>\*2</sup> U-Medico Inc.

<sup>\*3</sup> Daiichi Sankyo Co., Ltd.

<sup>\*4</sup> JCR Pharmaceuticals Co., Ltd.

<sup>\*5</sup> Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation

<sup>\*6</sup> Kyowa Hakko Kirin Co., Ltd.

<sup>\*7</sup> Nippon Kayaku Co., Ltd

<sup>\*8</sup> Astellas Pharma Inc.

<sup>\*9</sup> Mochida Pharmaceutical Co., Ltd.

<sup>\*10</sup> Ono Pharmaceutical Co., Ltd.

<sup>\*11</sup> Toray Research Center, Inc.

<sup>\*12</sup> Chugai Pharma Manufacturing

<sup>\*13</sup> Graduate School of Engineering, Osaka University

石井明子: バイオシミラーの開発と規制に関する国際的動向と今後の課題 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 第12回学術集会 (2018.8.26)

橋井則貴, 原園景, 石井明子: Site-specific O-glycosylation analysis of etanercept by LC/MS.

第37回日本糖質学会年会 (2018.8.29-30)

西村和子, 柴田寛子, 若林弘樹<sup>\*1</sup>, 森民樹<sup>\*1</sup>, 中村隆広<sup>\*2</sup>, 野村達希<sup>\*2</sup>, 齊藤哲<sup>\*3</sup>, 箕浦恭子<sup>\*3</sup>, 青山宗夫<sup>\*4</sup>, 細木淳<sup>\*5</sup>, 相馬雅子<sup>\*6</sup>, 角辻賢太<sup>\*7</sup>, 西宮一尋<sup>\*8</sup>, 坂本典久<sup>\*9</sup>, 香取典子, 齋藤嘉朗, 石井明子: バイオ医薬品の免疫原性評価に関する技術的要件.

第8回レギュラトリーサイエンス学会 (2018.9.8)

<sup>\*1</sup> (株) LSIメディエンス

<sup>\*2</sup> (株) 新日本科学

<sup>\*3</sup> アステラス製薬 (株)

<sup>\*4</sup> エーザイ (株)

<sup>\*5</sup> 協和発酵キリン (株)

<sup>\*6</sup> 第一三共 (株)

<sup>\*7</sup> 大日本住友製薬 (株)

<sup>\*8</sup> 中外製薬 (株)

<sup>\*9</sup> 立川中央病院

青山道彦, 多田稔, 石井明子: FcγRIIa/FcγRIIIb 共発現レポーター細胞株を用いた抗体医薬品による免疫細胞活性化評価.

第4回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2018.9.15)

石井明子, 西村和子, 柴田寛子, 若林弘樹<sup>\*1</sup>, 森民樹<sup>\*1</sup>, 中村隆広<sup>\*2</sup>, 野村達希<sup>\*2</sup>, 齊藤哲<sup>\*3</sup>, 箕浦恭子<sup>\*3</sup>, 青山宗夫<sup>\*4</sup>, 細木淳<sup>\*5</sup>, 相馬雅子<sup>\*6</sup>, 角辻賢太<sup>\*7</sup>, 西宮一尋<sup>\*8</sup>, 坂本典久<sup>\*9</sup>, 香取典子, 齋藤嘉朗: バイオ医薬品の免疫原性評価に用いられる抗薬物抗体分析法の構築と評価手法.

第25回日本免疫毒性学会 (2018.9.18)

<sup>\*1</sup> (株) LSIメディエンス

<sup>\*2</sup> (株) 新日本科学

<sup>\*3</sup> アステラス製薬 (株)

<sup>\*4</sup> エーザイ (株)

<sup>\*5</sup> 協和発酵キリン (株)

<sup>\*6</sup> 第一三共 (株)

<sup>\*7</sup> 大日本住友製薬 (株)

<sup>\*8</sup> 中外製薬 (株)

<sup>\*9</sup> 立川中央病院

橋井則貴, 三澤隆史, 鈴木琢雄, 出水庸介, 石井明子: 液体クロマトグラフィー/多段階質量分析を利用した特殊環状ペプチドの構造解析.

第91回日本生化学会大会 (2018.9.24)

橋井則貴, 月村亘<sup>\*</sup>, 青山道彦, 大隅賢二<sup>\*</sup>, 木吉真人, 多田稔, 松田昭生<sup>\*</sup>, 石井明子: 抗体医薬品糖鎖の  $\alpha$ -1,6-マンノース側鎖に結合する末端ガラクトースが補体依存性細胞傷害活性に重要である.

第91回日本生化学会大会 (2018.9.25)

<sup>\*</sup> (公財) 野口研究所

石井明子: バイオ医薬品の製造と品質管理に関する最近の話題

日本質量分析学会第149回関東談話会 バイオ医薬品製造と分析技術 ~質量分析と周辺技術 (2018.9.28)

Ishii-Watabe A, Shibata H, Nishimura K, Hosogi J<sup>\*1</sup>, Aoyama M<sup>\*2</sup>, Nishimiya K<sup>\*3</sup>, Saito Y: Immunogenicity of therapeutic protein products: current considerations for anti-drug antibody assay in Japan.

2018 International meeting on 22nd Microsomal Drug Oxidations and 33rd JSSX (2018.10.2)

<sup>\*1</sup> Kyowa Hakko Kirin Co., Ltd.

<sup>\*2</sup> Eisai Co., Ltd.

<sup>\*3</sup> Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.

森本和滋, 小林哲, 柴田寛子, 石井明子: 我が国発バイオ医薬品のFDAとEMAでの承認の有無について.

日本薬史学会2018年会 (2018.10.27)

小林哲, 森本和滋, 柴田寛子, 石井明子: 日本発バイオ医薬品の個別症例安全性報告の総数とその年次変化.

日本薬史学会2018年会 (2018.10.27)

Ishii-Watabe A: Regulatory Perspective on Immunogenicity Risk Management of Therapeutic Proteins in Japan.

The 31st annual and international meeting of JAACT (2018.11.5)

原園景, 小笠原勝<sup>\*</sup>, 柴田寛子, 石井明子: インスリンペプチドマップ法を例に用いたバイオ医薬品の試験における分析条件変更管理に関する研究.

第29回クロマトグラフィー科学会議 (2018.11.8)

<sup>\*</sup> 富山県薬事総合研究開発センター

石井明子: 抗薬物抗体の測定と臨床的意義

第28回日本医療薬学会年会 シンポジウム (2018.11.24)

Shibata H: Evaluation of Protein Aggregates/Subvisible Particles in Therapeutic Protein Injections  
CMC Strategy Forum Japan 2018 (2018.12.3)

柴田寛子, 西村和子, 宮間ちづる, 石井明子, 齋藤嘉朗,  
川合眞一\*, 山田壯一\*, 南木敏宏\*: エタネルセプト投  
与関節リウマチ患者における抗薬物抗体の評価.  
第10回JBFシンポジウム (2019.2.13)

\* 東邦大学医学部

西村和子, 柴田寛子, 宮間ちづる, 石井明子, 齋藤嘉朗,  
川合眞一\*, 山田壯一\*, 南木敏宏\*: 関節リウマチの治  
療に用いられるバイオ医薬品に対する抗薬物抗体分析法  
の構築と評価  
第10回JBFシンポジウム (2019.2.13)

\* 東邦大学医学部

西村和子, 柴田寛子, 若林弘樹<sup>\*1</sup>, 森民樹<sup>\*2</sup>, 中村隆  
広<sup>\*2</sup>, 野村達希<sup>\*2</sup>, 齊藤哲<sup>\*3</sup>, 箕浦恭子<sup>\*3</sup>, 青山宗夫<sup>\*4</sup>,  
細木淳<sup>\*5</sup>, 相馬雅子<sup>\*6</sup>, 角辻賢太<sup>\*7</sup>, 西宮一尋<sup>\*8</sup>, 坂本  
典久<sup>\*9</sup>, 香取典子, 齋藤嘉朗: バイオ医薬品の免疫原性  
評価に用いられる抗薬物抗体分析法の信頼性確保のため  
の留意事項.  
第10回JBFシンポジウム (2019.2.13)

<sup>\*1</sup> (株) LSIメディエンス

<sup>\*2</sup> (株) 新日本科学

<sup>\*3</sup> アステラス製薬 (株)

<sup>\*4</sup> エーザイ (株)

<sup>\*5</sup> 協和発酵キリン (株)

<sup>\*6</sup> 第一三共 (株)

<sup>\*7</sup> 大日本住友製薬 (株)

<sup>\*8</sup> 中外製薬 (株)

<sup>\*9</sup> 立川中央病院

Kiyoshi M: Assessing the Heterogeneity of the Fc-  
Glycan of a Therapeutic Antibody Using an engineered  
FcγReceptor IIIa-Immobilized Column  
Antibody Engineering & Therapeutics ASIA  
(2019.2.27-28)

Aoyama M, Hashii N, Tsukimura W\*, Osumi K\*, Harazono  
A, Tada M, Kiyoshi M, Matsuda A\*, Ishii-Watabe A.:  
Effects of Fc-glycan isomers with a terminal galactose on  
the effector functions of monoclonal antibodies.

Antibody Engineering & Therapeutics ASIA (2019.2.27-  
28)

\* The Noguchi Institute

小村純子\*, 小林哲: 乾癬治療に用いられる抗体医薬品  
の安全性の比較 ―特に感染症について―  
日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\* 摂南大学薬学部

石井明子: 日本薬局方と生物薬品  
日本薬学会第139年会 シンポジウム (2019.3.21)

鈴木建<sup>\*1</sup>, 清水芳実<sup>\*2</sup>, 白砂圭崇<sup>\*1</sup>, 米田宏平<sup>\*1</sup>, 多田  
稔, 石井明子, 花田賢太郎<sup>\*1</sup>, 八木清仁<sup>\*2</sup>, 近藤昌夫<sup>\*2</sup>,  
深澤征義<sup>\*1</sup>: C型肝炎ウイルス感染阻害活性を有する  
occludin抗体のdrugability向上に向けた検討  
日本薬学会第139年会 (2019.3.22)

<sup>\*1</sup> 国立感染症研究所

<sup>\*2</sup> 大阪大学

柴田寛子, 木吉真人, 原園景, 鳥巢哲生<sup>\*1</sup>, 丸野孝浩<sup>\*2</sup>,  
井浦貴文<sup>\*3</sup>, 喜々津彩<sup>\*4</sup>, 熊谷崇<sup>\*5</sup>, 森直樹<sup>\*6</sup>, 西村仁  
孝<sup>\*7</sup>, 小田淳史<sup>\*8</sup>, 齋藤俊太郎<sup>\*9</sup>, 齋藤智<sup>\*10</sup>, 末友裕  
行<sup>\*3</sup>, 小川泰一郎<sup>\*11</sup>, 安川秀仁<sup>\*12</sup>, 内山 進<sup>\*13</sup>, 石井  
明子: タンパク質医薬品注射剤の凝集体及び不溶性微粒  
子評価法の確立のためのフローイメージング法と光遮蔽  
法を使った共同測定  
日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

<sup>\*1</sup> 武田薬品工業 (株)

<sup>\*2</sup> (株) ユー・メディコ

<sup>\*3</sup> 協和発酵キリン (株)

<sup>\*4</sup> 日本化薬 (株)

<sup>\*5</sup> アステラス製薬 (株)

<sup>\*6</sup> 田辺三菱製薬

<sup>\*7</sup> 持田製薬 (株)

<sup>\*8</sup> 小野薬品工業 (株)

<sup>\*9</sup> 第一三共 (株)

<sup>\*10</sup> 中外製薬工業 (株)

<sup>\*11</sup> (株) 東レリサーチセンター

<sup>\*12</sup> JCRファーマ (株)

<sup>\*13</sup> 大阪大学

橋井則貴, 新井浩司<sup>\*1</sup>, 井上則子<sup>\*2</sup>, 奥蘭剛<sup>\*3</sup>, 川端光

彦<sup>\*4</sup>, 合田竜弥<sup>\*5</sup>, 重山拓摩<sup>\*6</sup>, 立木秀尚<sup>\*3</sup>, 千原光貴<sup>\*1</sup>, 中井恵子<sup>\*1</sup>, 中井大介<sup>\*5</sup>, 中辻美央<sup>\*2</sup>, 山岡真理子<sup>\*2</sup>, 夏目徹<sup>\*7,8</sup>, 橋爪研太<sup>\*3</sup>, 八田知久<sup>\*7</sup>, 松熊研司<sup>\*7</sup>, 松村剛<sup>\*4</sup>, 家木克典<sup>\*4</sup>, 山口建<sup>\*6</sup>, 山根真一<sup>\*3</sup>, 齋藤嘉朗, 石井明子: PAC-LC/MSを利用したヒト血清中抗体医薬品の薬物濃度測定.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

<sup>\*1</sup> (株) LSIメディエンス

<sup>\*2</sup> 東和薬品 (株)

<sup>\*3</sup> 積水メディカル (株)

<sup>\*4</sup> (株) 新日本科学

<sup>\*5</sup> 第一三共 (株)

<sup>\*6</sup> (株) 住化分析センター

<sup>\*7</sup> ロボティック・バイオロジー・インスティテュート(株)

<sup>\*8</sup> (国研) 産業技術総合研究所

鈴木琢雄, 橋井則貴, 多田稔, 石井明子: FcRn 親和性 改変抗体等のFc  $\gamma$ 受容体結合性や高次構造に関する研究.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

日向昌司, 池田陽介<sup>\*1</sup>, 小島昌太<sup>\*2</sup>, 小紫嘉一<sup>\*3</sup>, 佐藤優次<sup>\*4</sup>, 塩入優紀<sup>\*5</sup>, 富田正浩<sup>\*6</sup>, 湊雄一<sup>\*7</sup>, 多田稔, 石井明子: 宿主細胞由来タンパク質 (HCP) 試験法に用いる抗HCP抗体の適格性評価法と技術的留意点.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

<sup>\*1</sup> 中外製薬工業 (株)

<sup>\*2</sup> 持田製薬 (株)

<sup>\*3</sup> JCRファーマ (株)

<sup>\*4</sup> 田辺三菱製薬 (株)

<sup>\*5</sup> 第一三共 (株)

<sup>\*6</sup> (株) 免疫生物研究所

<sup>\*7</sup> 協和発酵キリン (株)

多田稔, 鈴木琢雄, 石井明子: リツキシマブに対する ADAパネルの構築

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

青山道彦, 多田稔, 石井明子: Fc $\gamma$ RIIa/Fc $\gamma$ RIIIb 共発現レポーター細胞株を用いた抗体医薬品による免疫細胞活性化評価

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

小田口浩<sup>\*1</sup>, 関根麻理子<sup>\*1</sup>, 日向須美子<sup>\*1</sup>, 楊金緯<sup>\*2</sup>, 日向昌司, 小林義典<sup>\*1</sup>, 袴塚高志, 熊谷雄治<sup>\*3,4</sup>, 花輪

壽彦<sup>\*1</sup>: 今後臨床応用を目指すエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) の安全性を検証する臨床試験.

第69回日本東洋医学会学術総会 (2018.6.9)

<sup>\*1</sup> 北里大学東洋医学総合研究所

<sup>\*2</sup> (株) 常磐植物化学研究所

<sup>\*3</sup> 北里大学病院臨床試験センター

<sup>\*4</sup> 北里大学医学部

李任時<sup>\*1</sup>, 福森良<sup>\*2</sup>, 武田知起<sup>\*1</sup>, 宋穎霞<sup>\*1</sup>, 森元聡<sup>\*1</sup>, 渡邊和人<sup>\*3</sup>, 有竹浩介<sup>\*3</sup>, 山口拓<sup>\*2</sup>, 花尻 (木倉) 瑠理, 田中嘉孝<sup>\*1</sup>, 山本経之<sup>\*2</sup>, 石井祐次<sup>\*1</sup>: 合成カンナビノイドJWH-018による学習記憶障害機構: DNAマイクロアレイ解析.

日本法中毒学会第37年会 (2018.7.6)

<sup>\*1</sup> 九州大学大学院薬学研究院

<sup>\*2</sup> 長崎国際大薬学部

<sup>\*3</sup> 第一薬科大学

南方かよ子<sup>\*</sup>, 長谷川弘太郎<sup>\*</sup>, 山岸格<sup>\*</sup>, 野澤秀樹<sup>\*</sup>, 花尻 (木倉) 瑠理, 阿民勿日他<sup>\*</sup>, 権守邦夫<sup>\*</sup>, 鈴木修<sup>\*</sup>, 渡部加奈子<sup>\*</sup>: 4名の尿中5F-PB-22とその3種の代謝物 (5F-PB-22 3-carboxyindole, PB-22 N-5-hydroxypentyl, PB-22 N-pentanoic acid) のLC-MS/MSによる高感度分析.

日本法中毒学会第37年会 (2018.7.6)

<sup>\*</sup> 浜松医科大学

森田いずみ<sup>\*</sup>, 大山浩之<sup>\*</sup>, 田中理恵, 花尻 (木倉) 瑠理, 小林典裕<sup>\*</sup>: 幻覚性キノコ成分シロシンのオンサイト分析を目的とする新規モノクローナル抗体の作製.

日本法中毒学会第37年会 (2018.7.6)

<sup>\*</sup> 神戸薬科大学

田中理恵, 水谷佐久美, 河村麻衣子, 瀧野裕之<sup>\*</sup>, 川原信夫<sup>\*</sup>, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: LC-Q-TOF-MSを用いた大麻草 (*Cannabis sativa* L.) のカンナビノイドの分析 - 第2報 -.

日本法中毒学会第37年会 (2018.7.7)

<sup>\*</sup> (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

河村麻衣子, 合田隆大\*, 増田潤一\*, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: オンラインSFE-SFC-MSを用いたヒト頭髮中薬物測定.

日本法中毒学会第37年会 (2018.7.7)

\* 株式会社島津製作所

最所和宏, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: いわゆる健康食品中の無承認無許可医薬品成分含有調査について.

第40回日本中毒学会 (2018.7.20)

Kikura-Hanajiri R, Kawamura M, Hakamatsuka T: Screening and quantitative analyses of new psychoactive substances in 11 emergency/fatal cases using UPLC-Q-TOFMS coupled with ion mobility separation.

2018 TIAFT Annual Meeting (2018.8.27)

Kikura-Hanajiri R, Kawamura M, Goda T\*, Masuda J\*, Hakamatsuka T: Rapid and sensitive analysis of synthetic cannabinoids and their metabolites in human hair by online SFE-SFC-MS/MS.

2018 TIAFT Annual Meeting (2018.8.27)

\* Shimadzu, Co.

Uchiyama N, Tsujimoto T, Yoshitomi T, Maruyama T, Yamamoto Y\*, Hakamatsuka T: Comparison of NMR and LC-MS for metabolic profiling of Citrus-type crude drugs.

The 66<sup>th</sup> Annual Meeting of the Society for Medicinal Plant and Natural Product Research (2018.8.28)

\* Tochimoto Tenkaido Co., Ltd.

Tanaka R, Kawamura M, Kikura-Hanajiri R, Hakamatsuka T: Study on distribution of cannabinoids in cannabis plants by desorption electrospray ionization mass spectrometry imaging.

2018 TIAFT Annual Meeting (2018.8.30)

王子泰<sup>\*1</sup>, 奥津果優<sup>\*2</sup>, 二神泰基<sup>\*2</sup>, 吉崎由美子<sup>\*2</sup>, 玉置尚徳<sup>\*2</sup>, 丸山卓郎, 小松かつ子<sup>\*3</sup>, 高峯和則<sup>\*2</sup>: 中国及び韓国産「神麴」の菌叢構造と有用成分の実態調査.

第35回和漢医薬学会学術大会 (2018.9.1)

\*<sup>1</sup> 鹿児島大学大学院農学研究科

\*<sup>2</sup> 鹿児島大学農学部 焼酎・発酵学教育研究センター

\*<sup>3</sup> 富山大学和漢医薬学総合研究所

君島伸<sup>\*1</sup>, 當銘一文<sup>\*1</sup>, 張含培<sup>\*1</sup>, 朱姝<sup>\*1</sup>, 何毓敏<sup>\*2</sup>, 蔡少青<sup>\*3</sup>, 袴塚高志, 丸山卓郎, 小松かつ子<sup>\*1</sup>: 骨碎補の品質標準化を指向した成分分析 (2).

第35回和漢医薬学会学術大会 (2018.9.1)

\*<sup>1</sup> 富山大学和漢医薬学総合研究所

\*<sup>2</sup> 三峡大学医学院

\*<sup>3</sup> 北京大学医学部

吉見嵩志\*, 堀井周文\*, 小此木明\*, 高橋隆二\*, 鎌倉浩之, 袴塚高志, 合田幸広: 葛根湯エキス製剤及び湯剤の同等性に関する研究.

第35回和漢医薬学会学術大会 (2018.9.2)

\* クラシエ製薬株式会社漢方研究所

日向須美子\*, 日向昌司, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩\*, 花輪壽彦\*: c-Met阻害作用を有する麻黄エキスとc-Met阻害剤SU11274の作用様式の比較.

第35回和漢医薬学会学術総会 (2018.9.2)

\* 北里大学東洋医学総合研究所

李任時<sup>\*1</sup>, 福森良<sup>\*2</sup>, 武田知起<sup>\*1</sup>, 森元聡<sup>\*1</sup>, 渡邊和人<sup>\*3</sup>, 有竹浩介<sup>\*3</sup>, 山口拓<sup>\*2</sup>, 花尻 (木倉) 瑠理, 田中嘉孝<sup>\*1</sup>, 山本経之<sup>\*2</sup>, 石井祐次<sup>\*1</sup>: 合成カンナビノイドによる内因性カンナビノイドの増加および生体影響.

フォーラム2018: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2018.9.10)

\*<sup>1</sup> 九州大学大学院薬学研究院

\*<sup>2</sup> 長崎国際大薬学部

\*<sup>3</sup> 第一薬科大学

Li R<sup>\*1</sup>, Fukumori R<sup>\*2</sup>, Takeda T<sup>\*1</sup>, Morimoto S<sup>\*1</sup>, Watanabe K<sup>\*3</sup>, Aritake K<sup>\*3</sup>, Yamaguchi T<sup>\*2</sup>, Kikura-Hanajiri R, Tanaka Y<sup>\*1</sup>, Yamamoto T<sup>\*2</sup>, Ishii Y<sup>\*1</sup>: Elevation of the anandamide and 2-arachidonoylglycerol in mouse brain by synthetic cannabinoid JWH-018: the mechanism of recognition memory impairment.

フォーラム2018: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2018.9.10)

\*<sup>1</sup> 九州大学大学院薬学研究院

\*<sup>2</sup> 長崎国際大薬学部

\*<sup>3</sup> 第一薬科大学

内倉崇\*, 杉脇秀美\*, 好村守生\*, 増本直子, 内山奈穂子, 袴塚高志, 天倉吉章\*: TLCによる白首烏と異葉牛皮消の比較検討.

日本生薬学会第65回年会 (2018.9.16)

## \* 松山大学薬学部

大嶋直浩<sup>\*1</sup>, 山下忠俊<sup>\*2</sup>, 日向須美子<sup>\*3</sup>, 天倉吉章<sup>\*4</sup>, 日向昌司, 中森俊輔<sup>\*3,5</sup>, 内山奈穂子, 楊金緯<sup>\*2</sup>, 伊東秀之<sup>\*6</sup>, 小林義典<sup>\*5</sup>, 袴塚高志, 小田口浩<sup>\*3</sup>, 合田幸広: 麻黄の産地の違いを反映する非アルカロイド (2).

日本生薬学会第65回年会 (2018.9.16)

\*<sup>1</sup> 東京理科大学薬学部\*<sup>2</sup> (株) 常磐植物化学研究所\*<sup>3</sup> 北里大学東洋医学総合研究所\*<sup>4</sup> 松山大学薬学部\*<sup>5</sup> 北里大学薬学部\*<sup>6</sup> 岡山県立大学保健福祉学部

平澤祐介\*, 清水雅祐美\*, 内山奈穂子, Alfarius Eko Nugroho\*, 金田利夫\*, 袴塚高志, 森田博史\*: ゴボウシより単離した新規リグナンの構造.

日本生薬学会第65回年会 (2018.9.16)

## \* 星薬科大学

辻本恭, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 徳本廣子, 安食菜穂子<sup>\*1</sup>, 林茂樹<sup>\*1</sup>, 三宅克典<sup>\*2</sup>, 川原信夫<sup>\*1</sup>, 袴塚高志: 高分解能LC-MSを用いたCassia属ハネセンナ及びセンナの分析に関する研究.

日本生薬学会第65回年会 (2018.9.16)

\*<sup>1</sup> (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター\*<sup>2</sup> 東京薬科大学

丸山卓郎, 吉富太一, 西尾雅世\*, 横倉胤夫\*, 袴塚高志: ジョテイシ (女貞子) の確認試験と指標スポットの同定について.

日本生薬学会第65回年会 (2018.9.17)

## \* 日本粉末薬品 (株)

増井涼\*, 石崎昌洋\*, 川崎武志\*, 神本敏弘\*, 菊地祐

一\*, 近藤誠三\*, 竹中勝彦\*, 玉木智生\*, 中尾慎治\*, 成川佑次\*, 日向野太郎\*, 正谷大地\*, 山本豊\*, 吉村真理子\*, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 川原信夫\*, 袴塚高志, 合田幸広, 木内文之\*: クリーンアナリシスを指向した「サフラン」のTLC純度試験法の検討.

日本生薬学会第65回年会 (2018.9.17)

## \* TLC研究班

小林里沙<sup>\*1</sup>, 多田百花<sup>\*1</sup>, 日坂真輔<sup>\*1</sup>, 政田さやか, 袴塚高志, 本間真人<sup>\*2</sup>, 能勢充彦<sup>\*1</sup>: 漢方処方の科学的解析 (第24報) 各種麻黄配合処方におけるエフェドリン系アルカロイド含有量ならびにその抽出効率について.

日本生薬学会第65回年会 (2018.9.17)

\*<sup>1</sup> 名城大学薬学部\*<sup>2</sup> 筑波大学附属病院

政田さやか: 一般用漢方製剤の安全使用に資する情報提供ツールおよびウェブサイトに関する研究.

セルフメディケーション推進協議会学術フォーラム2018 仙台 (2018.10.13)

政田さやか, 内山奈穂子, 袴塚高志: 一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究 (9): 「漢方セルフメディケーション」ホームページの開設と利用状況.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

最所和宏, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 平成29年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について - 強壮用健康食品等 -.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

緒方潤, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: ジメチルトリプタミン (DMT) が検出される植物細片のDNA分析.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

田中理恵, 河村麻衣子, 水谷佐久美, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 大麻由来製品のカンナビノイド成分の分析.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

王子泰<sup>\*1</sup>, 奥津果優<sup>\*2</sup>, 二神泰基<sup>\*2</sup>, 吉崎由美子<sup>\*2</sup>, 玉置尚徳<sup>\*2</sup>, 丸山卓郎, 小松かつ子<sup>\*3</sup>, 高峯和則<sup>\*2</sup>: 漢方用薬「神麴」の菌叢構造と含有成分の実態調査.

日本生物工学会第25回九州支部大会 (2018.12.1)

\*<sup>1</sup> 鹿児島大学大学院農学研究科

\*<sup>2</sup> 鹿児島大学農学部 焼酎・発酵学教育研究センター

\*<sup>3</sup> 富山大学和漢医薬学総合研究所

政田さやか, 辻巖一郎, 新井玲子, 内山奈穂子, 出水庸介, 袴塚高志, 堤智昭, 穂山浩, 阿部康弘, 伊豆津健一, 合田幸広, 奥田晴宏: HPLCによるバルサルタン中 *N*-nitrosodimethylamine (NDMA) の迅速定量法.  
日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

田中理恵, 河村麻衣子, 渕野裕之\*, 川原信夫\*, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: Desorption Electrospray Ionization mass spectrometry (DESI-MS) イメージングによる大麻草 (*Cannabis sativa* L.) のカンナビノイドの分析.  
日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\* (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

河村麻衣子, 最所和宏, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: イオンモビリティ質量分析計を用いたフェンタニル類スクリーニング分析法の検討.  
日本薬学会第138年会 (2019.3.21)

水谷佐久美, 河村麻衣子, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: LC-QTOF-MS及びGC-QTOF-MSを用いた合成カンナビノイド位置異性体の識別法の検討.  
日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

森田いずみ\*, 大山浩之\*, 小栗明莉\*, 藤本奈津美\*, 田中理恵, 花尻 (木倉) 瑠理, 小林典裕\*: 幻覚性キノコ成分のオンサイト分析を目的とする新規モノクローナル抗体の作製.  
日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\* 神戸薬科大学

片桐遼<sup>\*1</sup>, 成川佑次<sup>\*1</sup>, 川原信夫<sup>\*2</sup>, 袴塚高志, 木内文之<sup>\*1</sup>: Methylophiopogonanone Aの合成.  
日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\*<sup>1</sup> 慶応義塾大学薬学部

\*<sup>2</sup> (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

尤文頡<sup>\*1</sup>, 文勝煥<sup>\*1</sup>, 山村映美莉<sup>\*1</sup>, 河野徳昭<sup>\*2</sup>, 政田さやか, 袴塚高志, 新井一郎<sup>\*1</sup>, 川原信夫<sup>\*2</sup>: 生薬・薬

用植物に関する国際調和に向けた各国薬局方の比較研究 – 第17改正日本薬局方と中国薬典2015における生薬成分の定量法の比較 –.

日本薬学会第139年会 (2019.3.22)

\*<sup>1</sup> 日本薬科大学

\*<sup>2</sup> (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

文勝煥<sup>\*1</sup>, 尤文頡<sup>\*1</sup>, 山村映美莉<sup>\*1</sup>, 河野徳昭<sup>\*2</sup>, 政田さやか, 袴塚高志, 新井一郎<sup>\*1</sup>, 川原信夫<sup>\*2</sup>: 生薬・薬用植物に関する国際調和に向けた各国薬局方の比較研究 – 第17改正日本薬局方と大韓民国薬典2014における生薬成分の定量法の比較 –.

日本薬学会第139年会 (2019.3.22)

\*<sup>1</sup> 日本薬科大学

\*<sup>2</sup> (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

十亀真実\*, 植木洋子\*, 佐々木隆宏\*, 関雅晴\*, 横田和義\*, 政田さやか, 袴塚高志: 国内のチェストベリー配合医薬品及び健康食品における品質評価.  
日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* ゼリア新薬工業

内山奈穂子, 増本直子, 丸山卓郎, 合田幸広, 袴塚高志, 伊藤雅文<sup>\*1</sup>, 若林健一<sup>\*2</sup>, 武田修己<sup>\*3</sup>, 小栗志織<sup>\*3</sup>, 佐々木隆宏<sup>\*4</sup>, 岡秀樹<sup>\*4</sup>, 白鳥誠<sup>\*5</sup>, 秋田幸子<sup>\*6</sup>, 植村清美<sup>\*6</sup>, 塩本秀己<sup>\*7</sup>, 浅野年紀<sup>\*7</sup>, 日向野太郎<sup>\*7</sup>, 須藤慶一<sup>\*8</sup>, 近藤誠三<sup>\*9</sup>, 西川加奈子<sup>\*10</sup>, 中田孝之<sup>\*11</sup>, 山田修嗣<sup>\*11</sup>, 山本豊<sup>\*12</sup>, 玉木智生<sup>\*13</sup>, 木内文之<sup>\*14</sup>, 東田千尋<sup>\*15</sup>, 竹林憲司<sup>\*16</sup>, 中村高敏, 西尾雅世<sup>\*13</sup>, 中川和也<sup>\*13</sup>, 横倉胤夫<sup>\*13</sup>, 神本敏弘<sup>\*3</sup>, 田辺章二<sup>\*17</sup>, 土屋久美<sup>\*18</sup>, 高尾正樹<sup>\*3</sup>, 高橋喜久美<sup>\*3</sup>, 松本和弘<sup>\*3</sup>, 嶋田康男<sup>\*19</sup>, 佐々木博<sup>\*13</sup>, 川原信夫<sup>\*20</sup>: 局外生規2018に新規収載された単味生薬エキス等について.  
日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\*<sup>1</sup> 大幸薬品 (株)

\*<sup>2</sup> 小林製薬 (株)

\*<sup>3</sup> (株) ツムラ

\*<sup>4</sup> ゼリア新薬工業 (株)

\*<sup>5</sup> (株) ウチダ和漢薬

\*<sup>6</sup> ロート製薬 (株)

\*<sup>7</sup> 大正製薬 (株)

\*<sup>8</sup> 救心製薬 (株)

\*<sup>9</sup> 小太郎漢方製薬 (株)

\*<sup>10</sup> 松浦薬業 (株)

\*<sup>11</sup> アルプス薬品工業 (株)

\*<sup>12</sup> (株) 栃本天海堂

\*<sup>13</sup> 日本粉末薬品 (株)

\*<sup>14</sup> 慶應大学薬学部

\*<sup>15</sup> 富山大学和漢医薬学総合研究所

\*<sup>16</sup> 富山県薬事総合研究開発センター

\*<sup>17</sup> 養命酒製造 (株)

\*<sup>18</sup> 日野薬品 (株)

\*<sup>19</sup> 三星製薬 (株)

\*<sup>20</sup> (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

徳本廣子, 辻本恭, 新井玲子, 白鳥誠<sup>\*1</sup>, 山本豊<sup>\*2</sup>, 丸山卓郎, 内山奈穂子, 袴塚高志: 蛍光顕微鏡観察および蛍光指紋を利用した鹿茸の鑑別法の検討.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\*<sup>1</sup> (株) 栃本天海堂

\*<sup>2</sup> (株) ウチダ和漢薬

新井玲子, 内山奈穂子, 玉木智生<sup>\*</sup>, 丸山卓郎, 袴塚高志, 単味生薬研究班: HPLCを用いた単味生薬エキス: トウキエキスの品質評価法に関する研究.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 日本粉末薬品 (株)

辻本恭, 内山奈穂子, 新井玲子, 吉富太一, 丸山卓郎, 山本豊<sup>\*</sup>, 袴塚高志: 柑橘系生薬水抽出エキスのメタボローム解析に関する研究.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* (株) 栃本天海堂

後藤佑斗, 辻本恭, 吉富太一, 若菜大悟<sup>\*1</sup>, 内山奈穂子, 白畑辰弥<sup>\*2</sup>, 袴塚高志, 丸山卓郎, 小林義典<sup>\*2</sup>: <sup>1</sup>H-NMRメタボロームによるサンシシの品質多様性評価.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\*<sup>1</sup> 星薬科大学

\*<sup>2</sup> 北里大学薬学部

吉富太一, 新村萌<sup>\*</sup>, 田辺章二<sup>\*</sup>, 丸山卓郎, 袴塚高志:

TLCを用いたハンピの確認試験の設定とその指標成分の構造解析.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 養命酒製造 (株)

黄雪丹<sup>\*1,2</sup>, 安藤真紀<sup>\*1</sup>, 尾野颯哉<sup>\*1</sup>, 張葉琳<sup>\*1</sup>, 日向須美子<sup>\*2</sup>, 竹元裕明<sup>\*2,6</sup>, 山下忠俊<sup>\*3</sup>, 楊金緯<sup>\*3</sup>, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩<sup>\*4</sup>, 天倉吉章<sup>\*5</sup>, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩<sup>\*2</sup>, 花輪壽彦<sup>\*2</sup>, 小林義典<sup>\*1,2</sup>: 麻黄に含まれるエフェドリンアルカロイドの自発運動能に対する作用の解析.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\*<sup>1</sup> 北里大学薬学部

\*<sup>2</sup> 北里大学東洋医学総合研究所

\*<sup>3</sup> (株) 常磐植物化学研究所

\*<sup>4</sup> 東京理科大学薬学部

\*<sup>5</sup> 松山大学薬学部

\*<sup>6</sup> 東邦大学薬学部

宮嶋直紀<sup>\*1,2</sup>, 中森俊輔<sup>\*1,2</sup>, 日向須美子<sup>\*2</sup>, 南可恵<sup>\*1,2</sup>, 楊金緯<sup>\*3</sup>, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩<sup>\*4</sup>, 天倉吉章<sup>\*5</sup>, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩<sup>\*2</sup>, 花輪壽彦<sup>\*2</sup>, 小林義典<sup>\*1,2</sup>: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) によるCFA誘発関節炎モデルマウスの機械刺激に対する感受性の低下.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\*<sup>1</sup> 北里大学薬学部

\*<sup>2</sup> 北里大学東洋医学総合研究所

\*<sup>3</sup> (株) 常磐植物化学研究所

\*<sup>4</sup> 東京理科大学薬学部

\*<sup>5</sup> 松山大学薬学部

山路誠一<sup>\*</sup>, 丸山卓郎, 徳本廣子, 袴塚高志: イチイ属植物由来生薬の鑑別に関する研究.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 日本薬科大学

Sato Y: "MEASURE" A Multi-site Validation Study of Test Methods for Assessing Tumorigenicity of Pluripotent Stem Cell-Derived Products.

ISCT Global Regulatory Perspectives (2018.5.2)

Sato Y: HESI CT-TRACS: an international platform for

discussions on tracking, circulation and safety of cell therapy products.

IABS-CIRM Cell Therapy Conference (2018.6.6)

Kuroda T, Yasuda S, Tachi S<sup>\*1</sup>, Matsuyama S<sup>\*2</sup>, Kusakawa S, Tano K, Miura T, Matsuyama A<sup>\*2</sup>, Sato Y: Identification and characterization of potential marker genes for prediction of differentiation propensity of human induced pluripotent stem cell lines.

International society for stem cell research 2019 annual meeting. (2018.6.21)

---

<sup>\*1</sup> Nagoya City University

<sup>\*2</sup> Fujita Health University

Kono K, Sawada R, Yasuda S, Kuroda T, Matsuyama S, Sato Y: Development of selective cytotoxic viral vectors for concentration of undifferentiated pluripotent stem cells in cardiomyocytes derived from human iPS cells.

International Society for Stem Cell Research 2018 (2018.6.21)

Sawada R, Kono K, Tanaka K, Sato Y, Kidoaki S<sup>\*</sup>: Investigation of marker genes predicting osteogenic differentiation potential of human mesenchymal stem cells.

International Society for Stem Cell Research 2018 (2018.6.22)

---

<sup>\*</sup> Institute for Materials Chemistry and Engineering, Kyushu University

Sato Y: Quality of Biological Raw Materials for Manufacturing of Cell-Based and Gene Therapy Products. 第24回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2018.7.28)

Koujitani T<sup>\*1</sup>, Kusakawa S, Yasuda S, Sato T<sup>\*2</sup>, Nanya K<sup>\*3</sup>, Tanaka N<sup>\*4</sup>, Azuma A<sup>\*5</sup>, Mochizuki H<sup>\*6</sup>, Kunieda M<sup>\*7</sup>, Numano T<sup>\*8</sup>, Itoh T<sup>\*9</sup>, Kanemitsu H<sup>\*10</sup>, Sato Y: [MEASURE] 1. *In vivo* preliminary study for tumorigenicity evaluation of residual undifferentiated pluripotent stem cells.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

---

<sup>\*1</sup> Sumitomo Dainippon Pharma Co., Ltd.

<sup>\*2</sup> Astellas Pharma Inc.

<sup>\*3</sup> Kyowa Hakko Kirin Co., Ltd.

<sup>\*4</sup> TERUMO CORPORATION

<sup>\*5</sup> FUJIFILM Corporation

<sup>\*6</sup> Ina Research Inc.

<sup>\*7</sup> CMIC Pharma Science Co., Ltd.

<sup>\*8</sup> DIMS Institute of Medical Science, Inc.

<sup>\*9</sup> Nihon Bioresearch Inc.

<sup>\*10</sup> BoZo Research Center Inc.

Watanabe T<sup>\*1</sup>, Yasuda S, Kusakawa S, Furukawa H<sup>\*2</sup>, Futamura M<sup>\*3</sup>, Ogawa M<sup>\*4</sup>, Kikkawa E<sup>\*5</sup>, Mochizuki H<sup>\*6</sup>, Nagaoka M<sup>\*7</sup>, Sato Y: [MEASURE] 2. *In vitro* detection of undifferentiated pluripotent stem cells - Preliminary studies of highly efficient culture assay -. 第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

---

<sup>\*1</sup> Takeda Pharmaceutical Company Limited

<sup>\*2</sup> Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.

<sup>\*3</sup> BoZo Research Center Inc.

<sup>\*4</sup> CMIC Pharma Science Co., Ltd.

<sup>\*5</sup> HEALIOS K.K.

<sup>\*6</sup> Ina Research Inc.

<sup>\*7</sup> Tosoh Corporation

Azuma A<sup>\*1</sup>, Kuroda T, Terai O<sup>\*2</sup>, Tomura D<sup>\*3</sup>, Nakano S<sup>\*4</sup>, Morita M<sup>\*5</sup>, Watanabe T<sup>\*6</sup>, Sato Y: [MEASURE] 3. *In vitro* detection of undifferentiated pluripotent stem cells - Preliminary studies of Droplet Digital PCR assay -. 第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

---

<sup>\*1</sup> FUJIFILM Corporation

<sup>\*2</sup> Sumika Chemical Analysis Service, Ltd.

<sup>\*3</sup> TAKARA BIO INC.

<sup>\*4</sup> RIKEN GENESIS Co., LTD.

<sup>\*5</sup> Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.

<sup>\*6</sup> Takeda Pharmaceutical Company Limited

Bando K<sup>\*1</sup>, Kusakawa S, Saito J<sup>\*2</sup>, Adachi H<sup>\*1</sup>, Yotsumoto T<sup>\*3</sup>, Toriumi K<sup>\*4</sup>, Yamamoto K<sup>\*5</sup>, Doi A<sup>\*6</sup>, Kitanaka A<sup>\*7</sup>, Watanabe T<sup>\*8</sup>, Morita M<sup>\*9</sup>, Sato Y: [MEASURE] 4. *In vitro* detection of transformed cells - Preliminary studies of Digital soft agar colony formation assay -. 第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

---

<sup>\*1</sup> Sumitomo Dainippon Pharma Co., Ltd.

<sup>\*2</sup> Astellas Pharma Inc.

<sup>\*3</sup> Asubio Pharma Co., Ltd.

\*<sup>4</sup> GE Healthcare

\*<sup>5</sup> LSI Medience Corporation

\*<sup>6</sup> Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation

\*<sup>7</sup> Sumika Chemical Analysis Service, Ltd.

\*<sup>8</sup> Takeda Pharmaceutical Company Limited

\*<sup>9</sup> Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.

Watanabe S<sup>\*1</sup>, Kono K, Takahashi C<sup>\*2</sup>, Hata S<sup>\*3</sup>, Suzuki M<sup>\*4</sup>, Sato Y, Shiraishi N<sup>\*4</sup>: [MEASURE] 5. *In vitro* detection of transformed cells - Preliminary studies of cellular immortality testing -.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

\*<sup>1</sup> HEALIOS K.K.

\*<sup>2</sup> BoZo Research Center Inc.

\*<sup>3</sup> Ig-M Co.

\*<sup>4</sup> Kyowa Hakko Kirin Co., Ltd.

Kamiyama Y<sup>\*1</sup>, Naritomi Y<sup>\*1</sup>, Uchiyama A<sup>\*2</sup>, Hanada T<sup>\*3</sup>, Moriya Y<sup>\*4</sup>, Kitahashi T<sup>\*5</sup>, Yahata M<sup>\*6</sup>, Noumaru A<sup>\*7</sup>, Higuchi T<sup>\*8</sup>, Ito M<sup>\*9</sup>, Komatsu H<sup>\*10</sup>, Yasuda S, Sato Y: [MEASURE] 6. Evaluation of Biodistribution Study in Cell Therapy Products - Preliminary quantitative PCR assay -.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

\*<sup>1</sup> Astellas Pharma Inc.

\*<sup>2</sup> Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.

\*<sup>3</sup> Asubio Pharma Co., Ltd.

\*<sup>4</sup> Takeda Pharmaceutical Company Limited

\*<sup>5</sup> FUJIFILM Corporation

\*<sup>6</sup> Sumitomo Dainippon Pharma Co., Ltd.

\*<sup>7</sup> LSI Medience Corporation

\*<sup>8</sup> Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.

\*<sup>9</sup> BoZo Research Center Inc.

\*<sup>10</sup> CMIC Pharma Science Co., Ltd.

Sato Y, Yasuda S, Bando H<sup>\*1</sup>, Tanaka N<sup>\*2</sup>, Azuma A<sup>\*3</sup>, Watanabe T<sup>\*1</sup>, Bando K<sup>\*4</sup>, Shiraishi N<sup>\*5</sup>, Kamiyama Y<sup>\*6</sup>, Nishigaki F<sup>\*6</sup>: MEASURE: Identifying and optimizing methodologies to evaluate cell therapy safety: predictive methods to assess the tumorigenicity of human cell-based therapeutic products.

5<sup>th</sup> Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society World Congress-2018 (2018.9.4)

\*<sup>1</sup> Takeda Pharmaceutical Co., Ltd.

\*<sup>2</sup> Terumo Corporation

\*<sup>3</sup> FUJIFILM Corporation

\*<sup>4</sup> Sumitomo Dainippon Pharma Co., Ltd.

\*<sup>5</sup> Kyowa Hakko Kirin Co., Ltd.

\*<sup>6</sup> Astellas Pharma Inc.

Sawada R, Moriyama K<sup>\*</sup>, Tanaka K, Kono K, Sato Y, Ebata H<sup>\*</sup>, Sasaki S<sup>\*</sup>, Kuboki T<sup>\*</sup>, Kidoaki S<sup>\*</sup>: 3. Comprehensive gene expression analysis of human mesenchymal stem cells cultured on the micro elastically triangle patterned gel matrix.

TERMIS World Congress 2018 (2018.9.6)

\* Institute for Materials Chemistry and Engineering, Kyushu University

Ohashi F<sup>\*1,2</sup>, Miyagawa S<sup>\*1</sup>, Yasuda S, Miura T, Kuroda T, Itoh M<sup>\*3</sup>, Kawaji H<sup>\*3</sup>, Saito A<sup>\*1</sup>, Yoshida S<sup>\*1</sup>, Ito E<sup>\*1</sup>, Sameshima T<sup>\*2</sup>, Kawai J<sup>\*3</sup>, Sawa Y<sup>\*1</sup>, Yoji Sato CXCL4/PF4 is a Predictive Biomarker of Cardiac Differentiation Propensity of Human Induced Pluripotent Stem Cells

American Heart Association 2018 (2018.11.11)

\*<sup>1</sup> Osaka University

\*<sup>2</sup> Terumo Corporation

\*<sup>3</sup> RIKEN Center

森山幸祐<sup>\*</sup>, 久保木タツサニーヤ<sup>\*</sup>, 澤田留美, 辻ゆきえ<sup>\*</sup>, 江端宏之<sup>\*</sup>, 佐々木沙織<sup>\*</sup>, 山本安希<sup>\*</sup>, 田中和沙, 河野健, 木戸秋悟<sup>\*</sup>: 非一様弾性場・非定住培養による間葉系幹細胞の品質保持.

第40回日本バイオマテリアル学会大会 (2018.11.13)

\* 九州大学先端物質化学研究所

Kuroda T, Yasuda S, Tachi S<sup>\*1</sup>, Matsuyama S, Kusakawa S, Tano K, Miura T, Matsuyama A<sup>\*2</sup>, Sato Y: Characterization of potential marker genes for prediction of differentiation propensity of human induced pluripotent stem cell lines. Cell symposia. (2018.12.3)

\*<sup>1</sup> Nagoya City University

\*<sup>2</sup> Fujita Health University

Sato Y: Updates on Japan's regulation for regenerative medicine and cell therapy.

2019 World Stem Cell Summit & 2019 Phacilitate Leaders World. (2019.1.24)

Sato Y: Development of Methods for Ensuring the Quality and Safety of hPSC-Based Therapeutic Product.

2019 World Stem Cell Summit & 2019 Phacilitate Leaders World. (2019.1.25)

森山幸祐\*, 久保木タツサニーヤ\*, 澤田留美, 辻ゆきえ\*, 江端宏之\*, 佐々木沙織\*, 山本安希\*, 田中和沙, 河野健, 木戸秋悟\*: 非一様弾性場・非定住培養による間葉系幹細胞の品質保持.

化学工学会第84年会 (2019.3.14)

\* 九州大学先端物質化学研究所

佐藤陽治: 再生医療等データ登録システム (NRMD) の目的と運用について.

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.21)

澤田留美, 田中和沙, 河野健, 佐藤陽治, 木戸秋悟\*: ヒト間葉系幹細胞の骨分化能を簡便かつ早期に予測できる評価系の開発.

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.21)

\* 九州大学先端物質化学研究所

大橋文哉<sup>\*1,2</sup>, 宮川繁<sup>\*1</sup>, 安田智, 三浦巧, 黒田拓也, 伊藤昌可<sup>\*3</sup>, 川路英哉<sup>\*3</sup>, 伊東絵望子<sup>\*1</sup>, 吉田昇平<sup>\*1</sup>, 齋藤充弘<sup>\*1</sup>, 大山賢二<sup>\*1,2</sup>, 松田勇<sup>\*1,2</sup>, 鮫島正<sup>\*2</sup>, 河合純<sup>\*3</sup>, 澤芳樹<sup>\*1</sup>, 佐藤陽治: 心筋細胞に分化指向性を有するiPS細胞株を選択するためのバイオマーカーの探索.

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.21)

<sup>\*1</sup> 大阪大学

<sup>\*2</sup> テルモ社

<sup>\*3</sup> 理化学研究所

佐藤陽治: 再生医療の規制科学と社会の関係.

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.22)

遊佐敬介, 前田洋助<sup>\*1</sup>, 佐藤陽治, 苑宇哲<sup>\*2</sup>

次世代シーケンサーによる細胞加工製品製造用セルバンク, セルストックのウイルス試験法の確立

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.22)

<sup>\*1</sup> 熊本大学

<sup>\*2</sup> 神戸大学

平井孝昌<sup>\*1</sup>, 河野健, 澤田留美, 安田智, 黒田拓也, 松山さと子, 小泉直也<sup>\*1</sup>, 宇都口直樹<sup>\*1</sup>, 水口裕之<sup>\*2</sup>, 佐藤陽治: 選択的細胞傷害性ウイルスベクターを利用した未分化iPS細胞の高感度検出法の有用性評価

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.22)

<sup>\*1</sup> 昭和薬科大学

<sup>\*2</sup> 大阪大学

佐藤陽治: 細胞加工製品の原料となる細胞の品質特性指標探索法の開発.

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.23)

草川森士, 鎌田敦音<sup>\*1</sup>, 安田智, 黒田拓也, 西野泰斗<sup>\*2</sup>, 大塚敬一郎<sup>\*2</sup>, 佐藤光利<sup>\*1</sup>, 佐藤陽治: 簡便な三次元培養法を利用した再生医療等製品の造腫瘍性関連試験の検討.

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.23)

<sup>\*1</sup> 明治薬科大学

<sup>\*2</sup> 日産化学株式会社

佐藤陽治: MEASURE (細胞加工製品の造腫瘍性評価に関する多施設共同研究) の活動概況.

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.23)

安田智, 田中直子\*: 造腫瘍性細胞の検出を目的としたin vivo試験の多施設検証

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.23)

\* テルモ (株)

内藤幹彦: 標的タンパク質を分解する新しい創薬技術, プロテインノックダウン法の開発.

第91回日本内分泌学会学術総会 (2018.4.27)

Nishikawa K\*, T. Suzuki T: Resistome analysis of surface water from two ponds and two rivers in Tokyo SETAC Europe 28th Annual Meeting (2018.5.14)

\* 中央大学

内藤幹彦: IAPによる細胞死・細胞周期制御とIAPのユビキチンリガーゼ活性を利用したプロテインノックダウ

ン法の開発.

平成29年度日本がん分子標的治療学会 鶴尾隆賞 受賞  
講演 (2018.5.17)

大岡伸通, 服部隆行, 内藤幹彦: SNIPERのIAPリガン  
ド誘導体化によるプロテインノックダウン活性及び抗がん  
活性の改善

第22回日本がん分子標的治療学会学術集会 (2018.5.18)

麓伸太郎\*, 西川元也\*, 秋田英万\*, 浅井知浩\*, 井上  
貴雄, 上田恵津子\*, 奥直人\*, 櫻井文教\*, 高島由季\*,  
永原俊治\*, 根岸洋一\* (日本薬剤学会 核酸・遺伝子医  
薬フォーカスグループ): 微粒子製剤の粒子径測定方法  
の標準化に向けた標準製剤の多施設合同測定

日本薬剤学会第33年会 (2018.5.30)

\* 日本薬剤学会 核酸・遺伝子医薬フォーカスグループ

井上貴雄: 核酸医薬品の規制整備の現状

日本薬剤学会第33年会 (2018.5.30)

井上貴雄: 核酸医薬品の開発動向と課題

日本薬剤学会第33年会 (2018.5.31)

Suzuki T, Tsukumo Y, Kohara A\*, Naito M: Regulatory  
considerations on the evaluation of companion diagnostics  
(CDx) in Japan

Personalized and Precision Medicine International  
Conference 2018 (2018.6.26)

\* 医薬基盤・健康・栄養研究所 細胞バンク

鈴木孝昌, 築茂由則, 内藤幹彦, 笠井文生\*, 小原有弘\*:  
遺伝子パネル検査における標準物質としての変異細胞株  
パネルの作製

第25回日本遺伝子診療学会大会 (2018.7.13)

\* 医薬基盤・健康・栄養研究所 細胞バンク

山本誠司<sup>\*1</sup>, 堀内祥行<sup>\*1</sup>, 吉田徳幸, 内藤幹彦, 小比賀  
聡<sup>\*2</sup>, 奥井文<sup>\*1\*</sup>, 植村英俊<sup>\*1</sup>, 井上貴雄: 自然免疫活  
性化に対する糖部修飾核酸の影響

日本核酸医薬学会第4回年会 (2018.7.9)

<sup>\*1</sup> 扶桑薬品工業株式会社

<sup>\*2</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

羽淵貴紀<sup>\*1</sup>, 山口卓男<sup>\*1</sup>, 笠原勇矢<sup>\*2</sup>, 吉田徳幸, 井  
上貴雄, 小比賀聡<sup>\*1</sup>: チオアミド架橋型人工核酸  
thioAmNA の合成と物性評価

日本核酸医薬学会第4回年会 (2018.7.9)

<sup>\*1</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

<sup>\*2</sup> 医薬基盤健康栄養研究所

小村英恵<sup>\*1</sup>, 高橋有己<sup>\*1</sup>, 井上貴雄, 高倉喜信<sup>\*1</sup>, 西川  
元也<sup>\*2</sup>: TLR7/8を標的とした高次構造化RNA/DNAア  
ジュバントの開発

日本核酸医薬学会第4回年会 (2018.7.10)

<sup>\*1</sup> 京都大学大学院薬学研究科

<sup>\*2</sup> 東京理科大学薬学部

吉田徳幸, 佐々木澄美, 内藤幹彦, 小比賀聡<sup>\*1</sup>, 井上貴  
雄: ハイブリダイゼーション依存的オフターゲット効果  
の予測/評価法に関する研究

日本核酸医薬学会第4回年会 (2018.7.10)

<sup>\*1</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

山口照英<sup>\*1,2</sup>, 内田恵理子: mRNA製品の品質・安全性  
評価について

日本核酸医薬学会第4回年会 (2018.7.10)

<sup>\*1</sup> 金沢工業大学

<sup>\*2</sup> 日本薬科大学

内田恵理子: ゲノム編集遺伝子治療の概論と安全性評価  
戦略

第45回日本毒性学会学術集会 (2018.7.20)

Uchida E, Naito Y\*, Ono R, Hirabayashi Y, Sato Y, Inoue  
T: Safety assessment of CRISPR-Cas9 genome editing  
for human gene therapy

第24回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2018.7.27)

\* ライフサイエンス統合データベースセンター

Uchida E: Environmental assessments and shedding  
studies for gene therapy products in the US and in the  
EU

第24回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2018.7.27)

堀内祥行<sup>\*1</sup>, 山本誠司<sup>\*1</sup>, 吉田徳幸, 内藤幹彦, 小比賀

聡<sup>\*2</sup>, 奥井文<sup>\*1</sup>, 植村英俊<sup>\*1</sup>, 井上貴雄: アンチセンス  
医薬による自然免疫活性化の評価法に関する研究  
第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

<sup>\*1</sup> 扶桑薬品工業株式会社

<sup>\*2</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

井上貴雄: Consideration for safety assesment of  
hybridization-dependent off-target effects of oligonucleotide  
therapeutics  
第10回日本RNAi研究会 (2018.8.30)

吉田徳幸, 内藤雄樹<sup>\*1</sup>, 佐々木澄美, 内田恵理子, 内藤  
幹彦, 小比賀聡<sup>\*2</sup>, 井上貴雄: アンチセンス医薬品のオ  
フターゲット候補遺伝子数の解析  
第10回日本RNAi研究会 (2018. 8.29)

<sup>\*1</sup> ライフサイエンス統合データベースセンター

<sup>\*2</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

Mikihiko Naito: Recent Advances in Bifunctional  
Degradar Molecules (e.g. SNIPER) for Targeted Protein  
Degradation via the Ubiquitin Proteasome System;  
Status and Outlook., EFMC-ISMCM 2018 (2018.9.3)

西川可穂子\*, 鈴木孝昌: 河川の環境DNAから読み解く  
薬剤耐性の現状とその考え方  
第12回日本水環境学会シンポジウム (2018.9.4)

\* 中央大学

内藤幹彦: 標的タンパク質を分解するプロテインノック  
ダウン技術の開発と創薬への応用.  
第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.15)

大岡伸通, 服部隆行, 内藤幹彦: SNIPERのIAPリガン  
ド誘導体化によるプロテインノックダウン活性及び抗がん  
活性の改善  
第77回日本癌学会学術総会 (2018.9.28)

柴田識人, 大岡伸通, 服部隆行, 内藤幹彦: 発がん因子  
BCR-ABLのタンパク質分解誘導剤とキナーゼ阻害剤の  
薬理学的相違  
第77回日本癌学会学術総会 (2018.9.28)

Obika S<sup>\*1</sup>, Habuchi T<sup>\*1</sup>, Yamaguchi T<sup>\*1</sup>, Kasahara Y<sup>\*2</sup>,  
Yoshida T, Inoue T: Synthesis and Properties of a

Novel Bridged Nucleic Acid, thioAmNA.  
14th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutics  
Society (2018.9.30)

<sup>\*1</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

<sup>\*2</sup> 医薬基盤健康栄養研究所

Yoshida T, Naito Y<sup>\*1</sup>, Sasaki K, Uchida E, Naito M,  
Obika S<sup>\*2</sup>, Inoue T: Estimated number of off-target  
candidate sites for antisense oligonucleotides in human  
mRNA sequences.  
14th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutics  
Society (2018.9.30)

<sup>\*1</sup> ライフサイエンス統合データベースセンター

<sup>\*2</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

内田恵理子: 日本における遺伝子治療・ウイルス療法の  
規制科学  
第56回日本癌治療学会 (2018.10.19)

降旗千恵, 豊田武士, 小川久美子, 鈴木孝昌: RNA-Seq  
による1,4-ジオキサン (DO) のラット肝臓における遺  
伝子発現プロファイル遺伝毒性および非遺伝毒性肝発がん  
物質との比較  
日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.2)

井上貴雄: Gapmer 型アンチセンスの肝毒性低減に関す  
る研究  
日本核酸医薬学会生物セッション第3回サテライトシン  
ポジウム (2018.11.10)

Inoue T: Trend of development and regulation of  
oligonucleotide therapeutics,  
15th DIA Japan Annual Meeting 2018 (2018.11.12)

Mikihiko Naito: Development of Protein Knockdown  
Technology to Induce Selective Degradation of Target  
Proteins  
薬物動態懇話会第41回年会 (2018.11.16)

Obika S<sup>\*1</sup>, Yoshida T, Kasahara Y<sup>\*2</sup>, Morihiro K<sup>\*2</sup>,  
Inoue T: Reduction of Hepatotoxicity of LNA Gapmers  
by Chemical Modification. Functional Nucleic Acids:  
From Laboratory to Targeted Molecular Therapy  
(2018.11.23)

\*<sup>1</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

\*<sup>2</sup> 医薬基盤健康栄養研究所

大岡伸通, 辻巖一郎, 正田卓司, 藤里卓磨, 出水庸介, 内藤幹彦: 芳香族炭化水素受容体ユビキチンリガーゼを利用する新しいプロテインノックダウン技術の開発  
第41回日本分子生物学会年会 (2018.11.28)

長田雅也\*<sup>1</sup>, 高橋美帆\*<sup>1</sup>, 島崎健太郎\*<sup>2</sup>, 柴田識人, 内藤幹彦, 西川喜代孝: p210型BCR-ABL PHドメインのリガンドを標的とした新規ペプチド性CML治療薬の開発

第41回日本分子生物学会年会 (2018.11.28)

\*<sup>1</sup> 同志社大学生命医科学部

\*<sup>2</sup> 国立感染症研究所

Mikihiko Naito: Inducing target-specific protein degradation by SNIPER compounds recruiting IAP ubiquitin ligases

第41回日本分子生物学会年会 (2018.11.30)

大岡伸通: 新たなユビキチンリガーゼを利用して標的タンパク質を分解するキメラ化合物の開発

第2回ユビキチン研究会 (2019.1.15)

柴田識人: 発がん因子BCR-ABLの蛋白質分解, 第2回ユビキチン研究会 (2019.1.15)

吉田徳幸: 核酸医薬品の安全性確保のためのオフターゲット作用の評価技術開発

創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.2.26)

井上貴雄: 核酸医薬品の安全性確保のためのオフターゲット作用の評価技術開発

創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.2.26)

大岡伸通, 辻巖一郎, 正田卓司, 出水庸介, 内藤幹彦: 新たなユビキチンリガーゼを標的タンパク質にリクルートして分解するキメラ化合物の開発

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

Shibata N, Ohoka N, Naito M: A novel strategy for destabilization of oncogenic fusion protein BCR-ABL to inhibit growth of CML.

5<sup>th</sup> International Symposium for Medicinal Sciences, 139<sup>th</sup> Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of

Japan (2019.3.22)

内藤幹彦: キメラ型タンパク質分解薬SNIPERの開発.  
日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

内田恵理子, 内藤雄樹\*, 小野竜一: ゲノム編集技術を用いた遺伝子治療用製品の安全性評価  
第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.23)

\* ライフサイエンス統合データベースセンター

吉田徳幸, 佐々木澄美, 内藤幹彦, 小比賀聡, 井上貴雄: ハイブリダイゼーション依存的オフターゲット効果の予測/評価法に関する研究

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

\* 大阪大学大学院薬学研究科

植松美幸, 青見茂之\*<sup>1</sup>, 山崎健二\*<sup>1</sup>, 岩崎清隆\*<sup>2</sup>, 梅津光生\*<sup>2</sup>, 飯村浩\*<sup>1</sup>, 村垣善浩\*<sup>1</sup>, 伊関洋\*<sup>1</sup>, 中岡竜介, 靱島由二: 手術リスクを低減するためのナビゲーションシステム: 10年間の大動脈手術の経験から得たこと.

第57回日本生体医工学会大会 (2018.6.19)

\*<sup>1</sup> 東京女子医科大学

\*<sup>2</sup> 早稲田大学

野村祐介, 渡邊なつき\*<sup>1</sup>, 木名瀬智章\*<sup>1</sup>, 永田崇\*<sup>2</sup>, 片平正人\*<sup>2</sup>, 原田和雄\*<sup>3</sup>, 坂本泰一\*<sup>1</sup>: HIV-1 RRE由来のRNA断片と人工ペプチドの相互作用の解析.

第20回RNA学会年会 (2018.7.10)

\*<sup>1</sup> 千葉工業大学

\*<sup>2</sup> 京都大学

\*<sup>3</sup> 東京学芸大学

中岡竜介, 坂口圭介\*, 靱島由二: 医療機器の生物学的安全性評価に関する国際標準化状況.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18)

\* テルモ株式会社

宮島敦子, 比留間瞳, 迫田秀行, 相澤雅美, 上田麻子, 中岡竜介, 靱島由二: プラスチック製医療機器の生物学的安全性に関する薬剤の影響評価について.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

Miyajima-Tabata A, Komoriya K, Tanaka M\*, Hiruma H, Kato R, Haishima Y: Evaluation of biomarkers for haemocompatibility of polymer biomaterials. EuroTOX 2018 (2018.9.3)

\* Kyushu University

野村祐介, 河上強志, 福井千恵, 森下裕貴, 岡本吉弘, 靛島由二: ラベルシール剤に含まれる可塑剤のPVC製バッグ保存血液への移行.

第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.15)

岡本吉弘, 山家弘雄\*, 植松美幸, 迫田秀行, 靛島由二: 血管塞栓物質を安全に使用するための非臨床試験によるカテーテル接着性評価.

第56回日本人工臓器学会大会 (2018.11.2)

\* 昭和大学

植松美幸, 青見茂之\*, 園口浩史\*, 首藤尚美\*, 山下賢次\*, 丁毅文\*: 医療従事者の協働による大血管手術ナビゲーションシステム運用支援.

第28回日本コンピュータ外科学会大会 (2018.11.10)

\* 綾瀬循環器病院

加藤玲子, 小森谷薫, 宮島敦子, 靛島由二: *In vitro*皮膚刺激性試験に用いる再構築ヒト表皮モデルの性能評価.

第40回日本バイオマテリアル学会大会 (2018.11.12)

宮島敦子, 小森谷薫, 比留間瞳, 野村祐介, 森下裕貴, 加藤玲子, 井上祐貴<sup>\*1</sup>, 鮫島啓<sup>\*2</sup>, 松橋祐輝<sup>\*2</sup>, 青山祐介<sup>\*2</sup>, 熊谷直紀<sup>\*2</sup>, 保延慶紀<sup>\*2</sup>, 頼卓然<sup>\*2</sup>, 平井晴香<sup>\*3</sup>, 小林慎吾<sup>\*3</sup>, 田中賢<sup>\*3</sup>, 岩崎清隆<sup>\*2</sup>, 石原一彦<sup>\*1</sup>, 靛島由二: 空気非接触/拍動循環型閉鎖系回路による高分子材料の血液適合性評価.

第40回日本バイオマテリアル学会大会 (2018.11.13)

<sup>\*1</sup> 東京大学

<sup>\*2</sup> 早稲田大学

<sup>\*3</sup> 九州大学

靛島由二, 井上祐貴<sup>\*1</sup>, 鮫島啓<sup>\*2</sup>, 松橋祐輝<sup>\*2</sup>, 保延慶紀<sup>\*2</sup>, 福井千恵, 戸井田瞳, 野村祐介, 森下裕貴, 平井晴香<sup>\*3</sup>, 小林慎吾<sup>\*3</sup>, 秦信子<sup>\*4</sup>, 森下明彦<sup>\*4</sup>, 財前絹子<sup>\*5</sup>, 宮浦英樹<sup>\*6</sup>, 橘田久美子<sup>\*7</sup>, 松田仁美<sup>\*8</sup>, 田中賢<sup>\*3</sup>, 岩

崎清隆<sup>\*2</sup>, 石原一彦<sup>\*1</sup>: 高分子材料の血液適合性評価マーカーの性能検証.

第40回日本バイオマテリアル学会大会 (2018.11.12)

<sup>\*1</sup> 東京大学

<sup>\*2</sup> 早稲田大学

<sup>\*3</sup> 九州大学

<sup>\*4</sup> Ig-M

<sup>\*5</sup> LSIメディエンス

<sup>\*6</sup> 化学物質評価研究機構

<sup>\*7</sup> シミックファーマサイエンス

<sup>\*8</sup> 日精バイリス

野村祐介, 河上強志, 福井千恵, 森下裕貴, 岡本吉弘, 靛島由二: ラベル貼着剤に含まれる可塑剤成分のPVC製バッグ保存血液への移行.

第40回日本バイオマテリアル学会大会 (2018.11.12)

野村祐介, 藤澤彩乃<sup>\*1</sup>, 松下幸平, 豊田武士, 福井千恵, 森下裕貴, 小川久美子, 鄭雄一<sup>\*1</sup>, 中村義一<sup>\*2,3</sup>, 靛島由二: RNAアプタマーを用いた新規骨再生用材料の*in vivo*性能評価.

第40回日本バイオマテリアル学会大会 (2018.11.12)

<sup>\*1</sup> 東京大学

<sup>\*2</sup> 株式会社リボミック

<sup>\*3</sup> 東京大学医科学研究所

森下裕貴, 野村祐介, 福井千恵, 中村義一<sup>\*1,2</sup>, 靛島由二: 血管内皮細胞増殖因子捕捉型RNAアプタマー修飾材料の性能評価.

第40回日本バイオマテリアル学会大会 (2018.11.13)

<sup>\*1</sup> 株式会社リボミック

<sup>\*2</sup> 東京大学医科学研究所

中岡竜介, 岩下紘子<sup>\*1</sup>, 堀裕一<sup>\*1</sup>, 馬淵清資<sup>\*2</sup>, 酒井利奈<sup>\*2</sup>, 氏平政伸<sup>\*2</sup>, 松永透<sup>\*3</sup>, 靛島由二: カラーコンタクトレンズの摩擦特性に関する予備的検討.

第40回日本バイオマテリアル学会大会 (2018.11.13)

<sup>\*1</sup> 東邦大学大学院医学系研究科 眼科学講座

<sup>\*2</sup> 北里大学 医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻

<sup>\*3</sup> 株式会社シード 研究開発部

迫田秀行, 岡本吉弘, 靛島由二, 菅野伸彦\*: ダイナミック超微小硬度計により測定した超高分子量ポリエチレン

製コンポーネント内部の力学特性分布.

第45回日本臨床バイオメカニクス学会 (2018.11.17)

\* 大阪大学

Simon TUPIN<sup>\*1</sup>, Shin-ichiro SUGIYAMA<sup>\*1,2</sup>, Kaihong YU<sup>\*1</sup>, Yasutomo SHIMIZU<sup>\*1</sup>, Takanobu YAGI<sup>\*3</sup>, Yoshihiro OKAMOTO, Yasushi MATSUMOTO<sup>\*3</sup>, Makoto OHTA<sup>\*1</sup>: Pre-operative FD deployment experiment using a PVA-H model.

第33回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2018.11.22)

<sup>\*1</sup> 東北大学

<sup>\*2</sup> 広南病院

<sup>\*3</sup> 早稲田大学

中村浩規<sup>\*1</sup>, 鮎澤純子<sup>\*2</sup>, 佐藤景二<sup>\*3</sup>, 嶋森好子<sup>\*4</sup>, 眞野成康<sup>\*5</sup>, 杉浦伸一<sup>\*6</sup>, 靱島由二, 藤盛啓成<sup>\*5</sup>: 医薬品と医療機器の相互作用に関する情報管理体制の検討.

第13回医療の質・安全学会学術大会 (2018.11.24)

<sup>\*1</sup> 東北公済病院

<sup>\*2</sup> 九州大学

<sup>\*3</sup> 静岡市立静岡病院

<sup>\*4</sup> 岩手医科大学

<sup>\*5</sup> 東北大学

<sup>\*6</sup> 同志社女子大学

迫田秀行, 上田麻子, 戸井田瞳, 中岡竜介, 宮島敦子, 靱島由二: 薬剤との相互作用によるプラスチック製医療機器の破損機構.

第13回医療の質・安全学会学術集会 (2018.11.24)

矢田部優貴<sup>\*1</sup>, 吉田尚恵<sup>\*2</sup>, 関口真裕<sup>\*2</sup>, 秋田一雅<sup>\*3</sup>, 猪股恵美礼<sup>\*3</sup>, 中村義一<sup>\*3</sup>, 野村祐介, 石川岳志<sup>\*4</sup>, 山岸賢司<sup>\*2</sup>, 坂本泰一<sup>\*1</sup>: 抗体に結合する化学修飾アプタマーの熱力学的解析.

第41回日本分子生物学会 (2018.11.29)

<sup>\*1</sup> 千葉工業大学

<sup>\*2</sup> 日本大学

<sup>\*3</sup> 株式会社リボミック

<sup>\*4</sup> 長崎大学

中岡竜介, 加藤玲子, 靱島由二: 次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業における人工知能分野審査

WGの活動について.

第1回日本メディカルAI学会学術集会 (2019.1.25)

迫田秀行, 上田麻子, 比留間瞳, 中岡竜介, 宮島敦子, 靱島由二: 薬剤との相互作用によるプラスチック製医療機器の破損機構の解明.

第31回バイオエンジニアリング講演会 (2018.12.15)

Sakoda H, Sugano N<sup>\*</sup>, Okamoto Y, Haishima Y: Surface softening of retrieved ultra-high molecular weight polyethylene components detected by micro indentation tests.

Orthopaedic Research Society, 65th Annual Meeting (2019.2.2)

\* 大阪大学

Sakoda H, Uematsu M, Okamoto Y, Haishima Y: Delamination resistance of PEEK and CFR-PEEK materials evaluated using accelerated in-vitro test.

Orthopaedic Research Society, 65th Annual Meeting (2019.2.4)

迫田秀行, 植松美幸, 岡本吉弘, 靱島由二: 新規試験法を使用したピーク材料のデラミネーション特性評価.

第49回 日本人工関節学会 (2019.2.15)

岡本吉弘, 福井千恵, 戸井田瞳, 森下裕貴, 植松美幸, 加藤玲子, 迫田秀行, 野村祐介, 中岡竜介, 宮島敦子, 靱島由二: 次世代医療機器・再生医療等製品評価指標と医療機器開発ガイドライン ～役立った例と今後の課題～.

日本医工学治療学会第35回学術大会 (2019.2.23)

迫田秀行, 岡本吉弘, 靱島由二: 新規デラミネーション試験法の国際標準化.

第39回バイオトライボロジシンポジウム (2019.3.9)

迫田秀行, 菅野伸彦<sup>\*</sup>, 岡本吉弘, 靱島由二: 生体脂質による超高分子量ポリエチレンの力学特性への影響の可能性.

第39回バイオトライボロジシンポジウム (2019.3.9)

\* 大阪大学

中岡竜介, 岩下紘子<sup>\*1</sup>, 堀裕一<sup>\*1</sup>, 馬淵清資<sup>\*2</sup>, 酒井利奈<sup>\*2</sup>, 氏平政伸<sup>\*2</sup>, 松永透<sup>\*3</sup>, 靱島由二: カラーコンタ

クトレンズの摩擦係数－色素の影響について－。  
第39回バイオトライボロジシンポジウム (2019.3.9)

\*<sup>1</sup> 東邦大学大学院医学系研究科 眼科学講座

\*<sup>2</sup> 北里大学 医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻

\*<sup>3</sup> 株式会社シード 研究開発部

馬淵清資\*, 酒井利奈\*, 吉田和弘\*, 氏平政伸\*, 中岡竜介, 靛島由二: コンタクトレンズの振子式摩擦測定における滑り速度の限界。

第39回バイオトライボロジシンポジウム (2019.3.9)

\* 北里大学 医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻

野村祐介, 藤澤彩乃<sup>\*1</sup>, 松下幸平, 豊田武士, 福井千恵, 森下裕貴, 小川久美子, 鄭 雄一<sup>\*1</sup>, 中村義一<sup>\*2,3</sup>, 靛島由二: RNAアプタマーを利用した機能性医療材料開発。

日本薬学会第139年会 (2019.3.22)

\*<sup>1</sup> 東京大学

\*<sup>2</sup> 株式会社リボミック

\*<sup>3</sup> 東京大学医科学研究所

小林憲弘: 質量分析を用いた水道水質検査方法の開発。  
日本質量分析学会・日本プロテオーム学会 2018年合同大会 セッション「環境分析における質量分析の利用と期待」(2018.5.17)

五十嵐良明, 河上強志, 西以和貴\*, 久保田領志, 小濱とも子, 酒井信夫, 田原麻衣子, 重田善之, 森田健: 人工芝グラウンド用ゴムチップの成分分析及び諸外国における研究状況。

第27回環境化学討論会 (2018.5.22)

\* 神奈川県衛生研究所

久保田領志, 小濱とも子, 五十嵐良明: 人工芝グラウンド用ゴムチップの成分分析—金属類—。  
第27回環境化学討論会 (2018.5.23)

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: マイクロ波分解—ICP—MSを用いた市販化粧品中の微量金属不純物の含有実態調査。

第27回環境化学討論会 (2018.5.23)

西以和貴\*, 河上強志, 大森清美\*: 多環芳香族炭化水素類混合物の組成がBhas 42細胞形質転換におけるフォーカス形成に与える影響。

第27回環境化学討論会 (2018.5.23)

\* 神奈川県衛生研究所

西以和貴\*, 上村仁\*, 河上強志, 五十嵐良明: 人工芝グラウンド用ゴムチップの成分分析—多環芳香族炭化水素類—。

第27回環境化学討論会 (2018.5.23)

\* 神奈川県衛生研究所

河上強志, 小濱とも子, 五十嵐良明: 人工芝グラウンド用ゴムチップの成分分析—ゴム添加剤類—。

第27回環境化学討論会 (2018.5.23)

田原麻衣子, 酒井信夫, 五十嵐良明: 人工芝グラウンド用ゴムチップの成分分析—揮発性有機化合物—。

第27回環境化学討論会 (2018.5.23)

安達史恵\*, 吉田仁\*, 高木総吉\*, 小泉義彦\*, 中島孝江\*, 北村雅世\*, 鳥居将士\*, 吉田直志\*, 小林憲弘: 水道原水および浄水中における農薬類代謝物の分析方法の検討および実態調査。

第27回環境化学討論会 (2018.5.24)

\* (地独) 大阪健康安全基盤研究所

高木総吉<sup>\*1</sup>, 小林憲弘, 宮脇崇<sup>\*2</sup>, 安達史恵<sup>\*1</sup>, 吉田仁<sup>\*1</sup>, 木下輝昭<sup>\*3</sup>, 中川慎也<sup>\*3</sup>, 梅津萌子<sup>\*3</sup>, 仲野富美<sup>\*4</sup>, 辻清美<sup>\*4</sup>, 上村仁<sup>\*4</sup>, 大窪かおり<sup>\*5</sup>, 門上希和夫<sup>\*6</sup>: ガスクロマトグラフィー質量分析計を用いた水道水中農薬類のスクリーニング分析法の検討。

第27回環境化学討論会 (2018.5.24)

\*<sup>1</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所

\*<sup>2</sup> 福岡県保健環境研究所

\*<sup>3</sup> 東京都健康安全研究センター

\*<sup>4</sup> 神奈川県衛生研究所

\*<sup>5</sup> 佐賀県衛生薬業センター

\*<sup>6</sup> 北九州市立大学

小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉<sup>\*1</sup>, 宮脇崇<sup>\*2</sup>, 門上希和夫<sup>\*3</sup>, 五十嵐良明: GC/MSスクリーニング分析法を用いた水道原水・水道水中農薬の実態調査。

## 第27回環境化学討論会 (2018.5.24)

\*<sup>1</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所\*<sup>2</sup> 福岡県保健環境研究所\*<sup>3</sup> 北九州市立大学

Tranquet O<sup>\*1</sup>, Gaudin JC<sup>\*1</sup>, Teshima R<sup>\*2</sup>, Sakai S, Larré C<sup>\*1</sup>, Denery-Papini S<sup>\*1</sup>: A chimeric IgE that mimics IgE from patients allergic to acid-hydrolyzed wheat proteins is a novel tool for in vitro allergenicity assessment of functionalized glutens.

The European Academy of Allergy and Clinical Immunology Congress 2018 (2018.5.28)

\*<sup>1</sup> Institut national de la recherche agronomique\*<sup>2</sup> Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

酒井信夫, 田原麻衣子, 阿曾幸男, 宮崎玉樹, 秋山卓美, 安達玲子, 手島玲子<sup>\*1</sup>, 小村純子<sup>\*2</sup>, 伏見環<sup>\*3</sup>, 合田幸広, 五十嵐良明: 医薬品等に含まれる食物アレルギー原因物質の情報提供について.

第67回日本アレルギー学会学術大会 (2018.6.22)

\*<sup>1</sup> 岡山理科大\*<sup>2</sup> 摂南大\*<sup>3</sup> 日本ジェネリック製薬協会

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: マイクロ波分解-誘導結合プラズマ質量分析法 (ICP-MS) による化粧品中の微量金属不純物分析法の検討.

第43回日本化粧品学会 (2018.6.29)

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Hotai M, Ikarashi Y: Environmental monitoring and fate prediction of human pharmaceuticals in Japanese river water.

Water and Environment Technology Conference 2018 (WET2018) (2018.7.15)

Kobayashi N, Ikarashi Y: Detection and kinetics of human medicine in the aquatic environment.

第45回日本毒性学会学術年会 シンポジウム「ヒト医薬品環境影響評価の新展開」(2018.7.19)

北條幹<sup>\*1</sup>, 小林憲弘, 長谷川悠子<sup>\*1</sup>, 安藤弘<sup>\*1</sup>, 久保喜一<sup>\*1</sup>, 海鉦藤文<sup>\*1</sup>, 田中和良<sup>\*1</sup>, 五十嵐海<sup>\*1</sup>, 村上詩歩<sup>\*1</sup>, 多田幸恵<sup>\*1</sup>, 生嶋清美<sup>\*1</sup>, 湯澤勝廣<sup>\*1</sup>, 坂本義光<sup>\*1</sup>, 前野愛<sup>\*1</sup>, 鈴木俊也<sup>\*1</sup>, 猪又明子<sup>\*1</sup>, 守安貴子<sup>\*1</sup>, 高橋祐次,

広瀬明彦, 中江大<sup>\*1</sup>: 多層カーボンナノチューブのマウス気管内投与による発生毒性と肺の炎症との関係.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

\*<sup>1</sup> 東京都健康安全研究センター\*<sup>2</sup> 東京農業大

仲川清隆<sup>\*1</sup>, 内野正, 伊藤隼哉<sup>\*1</sup>, 加藤俊治<sup>\*2</sup>, 永塚貴弘<sup>\*1</sup>, 今井浩孝<sup>\*3</sup>, 宮澤陽夫<sup>\*1,4</sup>, 秋山卓美, 五十嵐良明: ホスファチジルコリンヒドロペルオキシド (PCOOH) の代謝機構とPCOOHが惹起する細胞死との関係性.

日本過酸化脂質・抗酸化物質学会第26回年会 (2018.8.18)

\*<sup>1</sup> 東北大院農\*<sup>2</sup> 東海大医\*<sup>3</sup> 北里大薬\*<sup>4</sup> 東北大・未来科学技術共同研究センター

小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉<sup>\*1</sup>, 宮脇崇<sup>\*2</sup>, 門上希和夫<sup>\*3</sup>, 五十嵐良明: 水道水中農薬のGC/MSスクリーニング分析法の開発と実試料への適用.

第21回日本水環境学会シンポジウム (2018.9.4)

\*<sup>1</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所\*<sup>2</sup> 福岡県保健環境研究所\*<sup>3</sup> 北九州市立大学

Hojo M<sup>\*1</sup>, Kobayashi N, Hasegawa Y<sup>\*1</sup>, Sakamoto Y<sup>\*1</sup>, Murakami S<sup>\*1</sup>, Yamamoto Y<sup>\*1</sup>, Tada Y<sup>\*1</sup>, Taquahashi Y, Suzuki T<sup>\*1</sup>, Hirose A, Nakae D<sup>\*2</sup>: Relationship between developmental toxicity of multi-wall carbon nanotubes and lung inflammation in pregnant mice after repeated intratracheal instillation.

54th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2018) (2018.9.4)

\*<sup>1</sup> Tokyo Metropolitan Institute of Public Health\*<sup>2</sup> Tokyo University of Agriculture

小村純子<sup>\*1</sup>, 酒井信夫, 田原麻衣子, 手島玲子<sup>\*2</sup>, 五十嵐良明: EMAの医薬品添加物の安全性に関する添付文書への記載に関するガイドラインにおける各添加物の閾値の設定根拠に関する調査.

第8回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2018.9.8)

\*<sup>1</sup> 摂南大

\*<sup>2</sup> 岡山理科大

小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉<sup>\*1</sup>, 宮脇崇<sup>\*2</sup>, 門上希和夫<sup>\*3</sup>, 五十嵐良明: GC/MSスクリーニング分析による水道原水・水道水中の176農薬の実態調査.

環境科学会2018年会 (2018.9.10)

\*<sup>1</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所

\*<sup>2</sup> 福岡県保健環境研究所

\*<sup>3</sup> 北九州市立大学

小林憲弘, 保田井美智子, 土屋裕子, 五十嵐良明: LC/MS/MSによるヒト用医薬品55種の水環境モニタリング調査.

環境科学会2018年会 (2018.9.10)

香川 (田中) 聡子<sup>\*1</sup>, 斎藤育江<sup>\*2</sup>, 酒井信夫, 河上強志, 田原麻衣子, 上村仁<sup>\*3</sup>, 千葉真弘<sup>\*4</sup>, 武内伸治<sup>\*4</sup>, 大貫文<sup>\*2</sup>, 大泉詩織<sup>\*4</sup>, 磯部隆史<sup>\*1</sup>, 越智定幸<sup>\*1</sup>, 大河原晋<sup>\*1</sup>, 五十嵐良明, 埴岡伸光<sup>\*1</sup>, 神野透人<sup>\*5</sup>: 室内空气中Dibutyl phthalateおよびDi (2-ethylhexyl) phthalate標準試験法の構築と妥当性評価.

フォーラム2018 衛生薬学・環境トキシコロジー (2018.9.10)

\*<sup>1</sup> 横浜薬科大

\*<sup>2</sup> 東京都健康安全研究センター

\*<sup>3</sup> 神奈川県衛生研究所

\*<sup>4</sup> 北海道立衛生研究所

\*<sup>5</sup> 名城大

河上強志, 伊佐間和郎<sup>\*1</sup>, 五十嵐良明, 神野透人<sup>\*2</sup>: Direct peptide reactivity assay (DPRA) を用いた揮発性及び準揮発性有機化合物類の感作性評価.

第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.15)

\*<sup>1</sup> 帝京平成大学薬学部

\*<sup>2</sup> 名城大学薬学部

藤巻日出夫\*, 秋山卓美, 五十嵐良明: 化粧品中の防腐剤ブチルカルバミン酸ヨウ化プロピニルの定量法開発. 第4回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2018.9.15)

\* 民生科学協会

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Takagi S<sup>\*1</sup>, Miyawaki T<sup>\*2</sup>, Kadokami K<sup>\*3</sup>, Yoshiaki Ikarashi: Monitoring of 176 agricultural chemicals in raw water and tap water by GC/MS screening analytical method.

SETAC North America 39th Annual Meeting (2018.11.5)

\*<sup>1</sup> Osaka Institute of Public Health

\*<sup>2</sup> Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

\*<sup>3</sup> University of Kitakyushu

Takagi S<sup>\*1</sup>, Kobayashi N, Miyawaki T<sup>\*2</sup>, Adachi F<sup>\*1</sup>, Yoshida J<sup>\*1</sup>, Tsuchiya Y, Kadokami K<sup>\*3</sup>: Development of an analytical screening method for agricultural chemicals in drinking water using GC-MS.

SETAC North America 39th Annual Meeting (2018.11.5)

\*<sup>1</sup> Osaka Institute of Public Health

\*<sup>2</sup> Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

\*<sup>3</sup> University of Kitakyushu

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 放散型家庭用品等に使用されるイソチアゾリノン系防腐剤について.

第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会 (2018.11.17)

藤樹祐未<sup>\*1</sup>, 村山直也<sup>\*1</sup>, 岩永聡<sup>\*1</sup>, 富村沙織<sup>\*1</sup>, 竹中基<sup>\*1</sup>, 室田浩之<sup>\*1</sup>, 河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明, 鈴木加余子<sup>\*2</sup>: リストバンドによるアレルギー性接触皮膚炎の1例.

第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会 (2018.11.17)

\*<sup>1</sup> 長崎大学医学部

\*<sup>2</sup> 藤田医科大学ばんだね病院

大村玲奈<sup>\*1</sup>, 大迫順子<sup>\*1</sup>, 岳崎彩香<sup>\*1</sup>, 立石千晴<sup>\*1</sup>, 深井和吉<sup>\*1,2</sup>, 河上強志, 田原麻衣子, 鶴田大輔<sup>\*1</sup>: 家庭用創傷パッドによる接触皮膚炎の1例.

第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会 (2018.11.17)

\*<sup>1</sup> 大阪市立大学医学研究科

\*<sup>2</sup> 大阪市立総合医療センター

香川（田中）聡子<sup>\*1</sup>，長谷川達也<sup>\*2</sup>，武内伸治<sup>\*3</sup>，斎藤育江<sup>\*4</sup>，酒井信夫，河上強志，田原麻衣子，上村仁<sup>\*5</sup>，千葉真弘<sup>\*3</sup>，大貫文<sup>\*4</sup>，大泉詩織<sup>\*3</sup>，磯部隆史<sup>\*1</sup>，越智定幸<sup>\*1</sup>，五十嵐良明，大河原晋<sup>\*1</sup>，埴岡伸光<sup>\*1</sup>，神野透人<sup>\*6</sup>：ハウスダストを介した金属類の曝露に関する研究。メタルバイオサイエンス研究会2018（2018.11.17）

<sup>\*1</sup> 横浜薬科大

<sup>\*2</sup> 山梨県富士山科学研究所

<sup>\*3</sup> 北海道立衛生研究所

<sup>\*4</sup> 東京都健康安全研究センター

<sup>\*5</sup> 神奈川県衛生研究所

<sup>\*6</sup> 名城大

小池真生子<sup>\*</sup>，長谷川有紀<sup>\*</sup>，安達史恵<sup>\*</sup>，吉田仁<sup>\*</sup>，高木総吉<sup>\*</sup>，小泉義彦<sup>\*</sup>，中島孝江<sup>\*</sup>，北村雅世<sup>\*</sup>，鳥居将士<sup>\*</sup>，吉田直志<sup>\*</sup>，小林憲弘：水環境における農薬代謝物の検出状況と浄水処理評価。

第55回全国衛生化学技術協議会年会（2018.11.29）

<sup>\*</sup>（地独）大阪健康安全基盤研究所

長谷川有紀<sup>\*</sup>，小池真生子<sup>\*</sup>，高木総吉<sup>\*</sup>，安達史恵<sup>\*</sup>，吉田仁<sup>\*</sup>，小林憲弘：水環境における除外農薬類の検出特性。

第55回全国衛生化学技術協議会年会（2018.11.29）

<sup>\*</sup>（地独）大阪健康安全基盤研究所

土屋裕子，小林憲弘，高木総吉<sup>\*1</sup>，宮脇崇<sup>\*2</sup>，門上希和夫<sup>\*3</sup>，五十嵐良明：水道原水・水道水中の176農薬のGC/MSスクリーニング分析による実態調査。

第55回全国衛生化学技術協議会年会（2018.11.29）

<sup>\*1</sup>（地独）大阪健康安全基盤研究所

<sup>\*2</sup> 福岡県保健環境研究所

<sup>\*3</sup> 北九州市立大学

小濱とも子，五十嵐良明：化粧品中ジエタノールアミンまたは水銀の含有実態調査。

第55回全国衛生化学技術協議会年会（2018.11.30）

酒井信夫，田原麻衣子，遠山友紀，吉野由美子，五十嵐良明，奥田晴宏，千葉真弘<sup>\*1</sup>，柴田めぐみ<sup>\*2</sup>，佐々木陽<sup>\*3</sup>，佐藤由紀<sup>\*4</sup>，竹熊美貴子<sup>\*5</sup>，横山結子<sup>\*6</sup>，大竹正芳<sup>\*7</sup>，角田徳子<sup>\*8</sup>，上村仁<sup>\*9</sup>，田中礼子<sup>\*10</sup>，高居久義<sup>\*11</sup>，反町守<sup>\*12</sup>，川尻千賀子<sup>\*13</sup>，小林浩<sup>\*14</sup>，鈴木光

彰<sup>\*15</sup>，山本優子<sup>\*16</sup>，大野浩之<sup>\*17</sup>，岡田万喜子<sup>\*18</sup>，中嶋智子<sup>\*19</sup>，吉田俊明<sup>\*20</sup>，古市裕子<sup>\*21</sup>，八木正博<sup>\*22</sup>，伊達英代<sup>\*23</sup>，荒尾真砂<sup>\*24</sup>，松本弘子<sup>\*25</sup>，塩川敦司<sup>\*26</sup>：平成29年度 室内空気環境汚染に関する全国実態調査。第55回全国衛生化学技術協議会年会（2018.11.30）

<sup>\*1</sup> 北海道立衛生研究所

<sup>\*2</sup> 青森県環境保健センター

<sup>\*3</sup> 岩手県環境保健研究センター

<sup>\*4</sup> 宮城県保健環境センター

<sup>\*5</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>\*6</sup> 千葉県衛生研究所

<sup>\*7</sup> 千葉市環境保健研究所

<sup>\*8</sup> 東京都健康安全研究センター

<sup>\*9</sup> 神奈川県衛生研究所

<sup>\*10</sup> 横浜市衛生研究所

<sup>\*11</sup> 川崎市健康安全研究所

<sup>\*12</sup> 新潟県保健環境科学研究所

<sup>\*13</sup> 富山県衛生研究所

<sup>\*14</sup> 山梨県衛生環境研究所

<sup>\*15</sup> 静岡県環境衛生科学研究所

<sup>\*16</sup> 愛知県衛生研究所

<sup>\*17</sup> 名古屋市衛生研究所

<sup>\*18</sup> 滋賀県衛生科学センター

<sup>\*19</sup> 京都府保健環境研究所

<sup>\*20</sup>（地独）大阪健康安全基盤研究所

<sup>\*21</sup> 大阪市立環境科学研究センター

<sup>\*22</sup> 神戸市環境保健研究所

<sup>\*23</sup> 広島県立総合技術研究所保健環境センター

<sup>\*24</sup> 高知県衛生研究所

<sup>\*25</sup> 福岡市保健環境研究所

<sup>\*26</sup> 沖縄県衛生環境研究所

久保田領志，小濱とも子，五十嵐良明：人工芝グラウンド用ゴムチップ中の金属類の分析。

第55回全国衛生化学技術協議会年会（2018.11.30）

久保田領志，秋山卓美，五十嵐良明：市販化粧品中微量不純物の含有実態調査－金属類－。

第55回全国衛生化学技術協議会年会（2018.11.30）

久保田領志，秋山卓美，五十嵐良明：化粧品中の紫外線吸収剤の一斉分析法の開発と平成29年度一斉監視指導検査の結果。

第55回全国衛生化学技術協議会年会（2018.11.30）

内野正，土屋裕子，小林憲弘，五十嵐良明：平成29年度

厚生労働省水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用品規制法で指定されている溶剤3種の基準値に関する検討.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 多環芳香族炭化水素類のGC-MS分析条件の検討と諸外国規制状況等について.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

田原麻衣子, 酒井信夫, 五十嵐良明: 子供向けラグから放散される揮発性有機化合物に関する研究.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

千葉真弘<sup>\*1</sup>, 大泉詩織<sup>\*1</sup>, 武内伸治<sup>\*1</sup>, 斎藤育江<sup>\*2</sup>, 大貫文<sup>\*2</sup>, 田原麻衣子, 酒井信夫: 溶媒抽出法を用いた室内空气中揮発性有機化合物の分析における副生成物について.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

<sup>\*1</sup> 北海道立衛生研究所

<sup>\*2</sup> 東京都健康安全研究センター

菱木麻佑<sup>\*1</sup>, 大貫文<sup>\*1</sup>, 千葉真弘<sup>\*2</sup>, 大泉詩織<sup>\*2</sup>, 田原麻衣子, 酒井信夫, 斎藤育江<sup>\*1</sup>, 小西浩之<sup>\*1</sup>, 守安貴子<sup>\*1</sup>: 固相吸着/溶媒抽出法によるTVOC試験法の検討.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

<sup>\*1</sup> 東京都健康安全研究センター

<sup>\*2</sup> 北海道立衛生研究所

高木総吉<sup>\*1</sup>, 小林憲弘, 宮脇崇<sup>\*2</sup>, 安達史恵<sup>\*1</sup>, 吉田仁<sup>\*1</sup>, 土屋裕子, 木下輝昭<sup>\*3</sup>, 中川慎也<sup>\*3</sup>, 梅津萌子<sup>\*3</sup>, 仲野富美<sup>\*4</sup>, 辻清美<sup>\*4</sup>, 上村仁<sup>\*4</sup>, 大窪かおり<sup>\*5</sup>, 門上希和夫<sup>\*6</sup>: 176種農薬を対象としたGC-MSによるスクリーニング分析法の定量精度について.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

<sup>\*1</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所

<sup>\*2</sup> 福岡県保健環境研究所

<sup>\*3</sup> 東京都健康安全研究センター

<sup>\*4</sup> 神奈川県衛生研究所

<sup>\*5</sup> 佐賀県衛生薬業センター

<sup>\*6</sup> 北九州市立大学

保田井美智子, 土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: ヒト用医薬品55種のLC/MS/MSによる水環境モニタリング調査.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

大嶋智子<sup>\*</sup>, 味村真弓<sup>\*</sup>, 山口之彦<sup>\*</sup>, 河上強志: 家庭用品規制法における防炎加工剤の試験法の検討について.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

<sup>\*</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所

西以和貴<sup>\*</sup>, 上村仁<sup>\*</sup>, 河上強志: 家庭用品規制法における繊維製品中の防虫加工剤試験法改正に向けた検討.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

<sup>\*</sup> 神奈川県衛生研究所

菅谷なえ子<sup>\*1</sup>, 大嶋智子<sup>\*2</sup>, 田原麻衣子, 河上強志: 家庭用品規制法における溶剤3種類(テトラクロロエチレン, トリクロロエチレン及びメタノール)の試験法の検討について.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

<sup>\*1</sup> 横浜市衛生研究所

<sup>\*2</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所

大泉詩織<sup>\*1</sup>, 千葉真弘<sup>\*1</sup>, 斎藤育江<sup>\*2</sup>, 大貫文<sup>\*2</sup>, 香川(田中)聡子<sup>\*3</sup>, 神野透人<sup>\*4</sup>, 田原麻衣子, 酒井信夫: 溶媒抽出法による室内空气中のグリコールエーテル類及び環状シロキサン類分析の検討.

平成30年室内環境学会学術大会 (2018.12.6)

<sup>\*1</sup> 北海道立衛生研究所

<sup>\*2</sup> 東京都健康安全研究センター

<sup>\*3</sup> 横浜薬科大

<sup>\*4</sup> 名城大

香川(田中)聡子<sup>\*1</sup>, 斎藤育江<sup>\*2</sup>, 酒井信夫, 河上強志, 田原麻衣子, 上村仁<sup>\*3</sup>, 千葉真弘<sup>\*4</sup>, 武内伸治<sup>\*4</sup>, 大貫文<sup>\*2</sup>, 大泉詩織<sup>\*4</sup>, 磯部隆史<sup>\*1</sup>, 越智定幸<sup>\*1</sup>, 大河原晋<sup>\*1</sup>, 五十嵐良明, 埴岡伸光<sup>\*1</sup>, 神野透人<sup>\*5</sup>: 室内空气中フタル酸エステル類の固相吸着-溶媒抽出法を用いたGC/MS標準試験法の確立.

平成30年室内環境学会学術大会 (2018.12.6)

<sup>\*1</sup> 横浜薬科大

<sup>\*2</sup> 東京都健康安全研究センター

\*<sup>3</sup> 神奈川県衛生研究所

\*<sup>4</sup> 北海道立衛生研究所

\*<sup>5</sup> 名城大

小林憲弘, 土屋裕子, 保田井美智子, 五十嵐良明: 水環境中のヒト用医薬品の一斉分析方法の開発と全国モニタリング.

第53回日本水環境学会年会 (2019.3.8)

五十嵐良明, 小濱とも子: 界面活性剤及び化粧品中のジエタノールアミンの分析.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

酒井信夫, 田原麻衣子, 安達玲子, 手島玲子<sup>\*1</sup>, 小村純子<sup>\*2</sup>, 伏見環<sup>\*3</sup>, 池島幸男<sup>\*4</sup>, 市原正人<sup>\*5</sup>, 秋山卓美, 宮崎玉樹, 山本栄一, 伊豆津健一, 五十嵐良明, 合田幸広: 医薬品添付文書における食物アレルギーに関する情報提供について.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\*<sup>1</sup> 岡山理科大

\*<sup>2</sup> 摂南大

\*<sup>3</sup> 日本ジェネリック製薬協会

\*<sup>4</sup> 日本製薬工業協会

\*<sup>5</sup> 日本製薬団体連合会

斎藤育江<sup>\*1</sup>, 大貫文<sup>\*1</sup>, 酒井信夫, 遠藤治<sup>\*2</sup>, 杉田和俊<sup>\*2</sup>, 外山尚紀<sup>\*3</sup>, 鳥羽陽<sup>\*4</sup>, 中島大介<sup>\*5</sup>, 星純也<sup>\*6</sup>, 河上強志, 田原麻衣子, 上村仁<sup>\*7</sup>, 千葉真弘<sup>\*8</sup>, 大泉詩織<sup>\*8</sup>, 磯部隆史<sup>\*9</sup>, 大河原晋<sup>\*9</sup>, 五十嵐良明, 埴岡伸光<sup>\*9</sup>, 神野透人<sup>\*10</sup>, 香川 (田中) 聡子<sup>\*9</sup>: 空気試験法 フタル酸ジ-n-ブチルおよびフタル酸ジ-2-エチルヘキシル.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\*<sup>1</sup> 東京都健康安全研究センター

\*<sup>2</sup> 麻布大

\*<sup>3</sup> 東京労働安全衛生センター

\*<sup>4</sup> 金沢大

\*<sup>5</sup> 国立環境研究所

\*<sup>6</sup> 東京都環境科学研究所

\*<sup>7</sup> 神奈川県衛生研究所

\*<sup>8</sup> 北海道立衛生研究所

\*<sup>9</sup> 横浜薬科大

\*<sup>10</sup> 名城大

外山尚紀<sup>\*1</sup>, 遠藤治<sup>\*2</sup>, 斎藤育江<sup>\*3</sup>, 酒井信夫, 杉田和俊<sup>\*2</sup>, 鳥羽陽<sup>\*4</sup>, 中島大介<sup>\*5</sup>, 星純也<sup>\*6</sup>, 香川 (田中)

聡子<sup>\*7</sup>, 神野透人<sup>\*8</sup>: 空気試験法 石綿 (アスベスト).  
日本薬学会第139年会 (2019.3.20)

\*<sup>1</sup> 東京労働安全衛生センター

\*<sup>2</sup> 麻布大

\*<sup>3</sup> 東京都健康安全研究センター

\*<sup>4</sup> 金沢大

\*<sup>5</sup> 国立環境研究所

\*<sup>6</sup> 東京都環境科学研究所

\*<sup>7</sup> 横浜薬科大

\*<sup>8</sup> 名城大

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: 市販化粧品中微量金属類の含有実態調査.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

河上強志, 田原麻衣子, 大村玲奈<sup>\*</sup>, 五十嵐良明: 接触皮膚炎の要因とされた家庭用創傷パッド中のロジン関連化合物の化学分析.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\* 大阪市立大学医学研究科

田原麻衣子, 河上強志, 酒井信夫, 五十嵐良明: スプレー製品中フタル酸エステル類の室内空気への負荷.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

西以和貴<sup>\*</sup>, 上村仁<sup>\*</sup>, 河上強志: 繊維製品中のデイルドリンおよびDTTB試験法の開発.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\* 神奈川県衛生研究所

志田 (齊藤) 静夏, 根本了, 穂山浩: 農産物中の酸性農薬一斉分析法の開発.

日本食品化学学会第24回総会・学術大会 (2018.5.18)

宮内佑子<sup>\*1</sup>, 川嶋文人<sup>\*2</sup>, 堤智昭, 濱田典明<sup>\*2</sup>, 高橋知史<sup>\*1</sup>, 足立利華, 穂山 浩: 環境サンプル中の総PCB分析のための金属修飾アルミナを用いた簡易・迅速精製法.

第27回環境化学討論会 (2018.5.22)

\*<sup>1</sup> 三浦工業株式会社

\*<sup>2</sup> 愛媛大学大学院農学研究科

堤智昭, 川嶋文人<sup>\*</sup>, 濱田典明<sup>\*</sup>, 足立利華, 穂山 浩:

PCB 分析前処理装置を用いた魚介類中の総PCB分析の性能評価.

第27回環境化学討論会 (2018.5.23)

\* 愛媛大学大学院農学研究科

Kikuchi H, Sakai T, Okura T, Nemoto S, Akiyama H: Total determination of triclabendazole and its metabolites in bovine tissues by LC-MS/MS.

132<sup>nd</sup> AOAC Annual Meeting & Exposition (2018.8.28)

杉浦淳吉<sup>\*1</sup>, 吉川肇子<sup>\*2</sup>, 穂山浩, 織朱實<sup>\*3</sup>, 高木彩<sup>\*4</sup>, 竹村和久<sup>\*5</sup>: 食品安全のリスクコミュニケーションにおける参加型手法の開発と実践.

日本シミュレーション&ゲーミング学会2018年春期全国大会 (2018.5.26)

\*<sup>1</sup> 慶應義塾大学文学部

\*<sup>2</sup> 慶應義塾大学商学部

\*<sup>3</sup> 上智大学大学院地球環境学研究科

\*<sup>4</sup> 千葉工業大学社会システム科学部

\*<sup>5</sup> 早稲田大学文学部

Tsutsumi T, Kawashima A\*, Hamada N\*, Adachi R, Akiyama H: Analytical performance of a polychlorinated biphenyl clean-up system followed by gas chromatography tandem mass spectrometry for polychlorinated biphenyls in fish and shellfish.

38th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2018) (2018.8.30)

\* Graduate School of Agriculture, Ehime University

Imamura M, Takatsuki S, Tsutsumi T, Maeda T, Akiyama H: Estimated dioxin intakes from commercial baby foods in Japan.

38th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2018) (2018.8.30)

志田 (齊藤) 静夏, 永田万里\*, 根本了, 穂山浩: ガスクロマトグラフィー/大気圧化学イオン化質量分析による残留農薬分析の検討.

日本農薬学会第41回農薬残留分析研究会 (2018.10.11)

\* 日本ウォーターズ株式会社

小杉正樹\*, 伊佐川聡\*, 根本了: LC-MS/MSによる畜

産物中のプロチオコナゾール分析法の検討.

日本農薬学会第41回農薬残留分析研究会 (2018.10.11)

\* 一般財団法人日本食品分析センター

神奈川芳行<sup>\*1</sup>, 赤羽学<sup>\*1</sup>, 加藤礼識<sup>\*1</sup>, 山口健太郎<sup>\*2</sup>, 池田佳代子<sup>\*2</sup>, 穂山浩, 高畑能久<sup>\*3</sup>, 今村知明<sup>\*1</sup>: 大規模イベントに向けた食品防御対策ガイドラインと教育用媒体の検討と課題について.

第77回日本公衆衛生学会総会 (2018.10.25)

\*<sup>1</sup> 奈良県立医科大学

\*<sup>2</sup> (株) 三菱総合研究所

\*<sup>3</sup> 大阪成蹊大学

高畑能久<sup>\*1</sup>, 赤羽学<sup>\*2</sup>, 神奈川芳行<sup>\*2</sup>, 穂山浩, 今村知明<sup>\*2</sup>: わが国の食品製造業における食品防御対策の現状調査について.

第77回日本公衆衛生学会総会 (2018.10.25)

\*<sup>1</sup> 大阪成蹊大学

\*<sup>2</sup> 奈良県立医科大学

志田 (齊藤) 静夏, 塩野弘二, 成島純平, 根本了, 穂山浩: 畜水産物中のフロルフェニコール分析法の開発.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

岡部亮\*, 久保田晶子\*, 柿本洋一郎\*, 根本了, 青柳光敏\*: 畜産物中のアルベンダゾール代謝物の分析法.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

\* 北海道立衛生研究所

今井浩一\*, 吉田栄充\*, 三宅定明\*, 石井里枝\*, 根本了, 穂山浩: LC-MS/MSによる畜産物中のスピロジクロフェン分析法の検討.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

\* 埼玉県衛生研究所

朝倉敬行\*, 北村真理子\*, 関亘\*, 柏原和広\*, 中里光男\*, 安田和男\*, 根本了: 農産物中のフルエンシルホン分析法.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

\* (一財) 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター

朝倉敬行\*, 熊井康人\*, 北村真理子\*, 飯田智成\*, 中里光男\*, 安田和男\*, 根本了: 畜産物中のヘキシチアゾックス分析法.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

\* (一財) 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター

鍋師裕美, 堤智昭, 前田朋美, 松田りえ子, 今村正隆, 蜂須賀暁子, 穂山浩: マーケットバスケット方式による放射性セシウムおよびストロンチウム90の預託実効線量の推定 (2016年 (平成28年) 度調査のまとめ).

日本食品衛生学会第114回学術講演会 (2018.11.15)

片岡洋平, 渡邊敬浩, 林恭子, 穂山浩: 少量の試料を用いた清涼飲料水中のヒ素・鉛分析法の検討.

日本食品衛生学会第114回学術講演会 (2018.11.15)

坂井隆敏, 縄田裕美, 菊地博之, 根本了, 穂山浩: LC-MS/MSを用いた畜産物中のナラシン分析法.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.16)

上野英二<sup>\*1</sup>, 渡邊美奈恵<sup>\*1</sup>, 梅村優子<sup>\*2</sup>, 戸塚昌子<sup>\*1</sup>, 小池恭子<sup>\*1</sup>, 伊藤良央<sup>\*1</sup>, 大寫雄二<sup>\*1</sup>, 根本了: GC/MS及びLC/MSによる農薬等の系統試験法 (畜水産物) の開発.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.16)

<sup>\*1</sup> 愛知県衛生研究所

<sup>\*2</sup> 愛知県衣浦東部保健所

穂山浩, 能勢克彦<sup>\*1</sup>, 吉松嘉代<sup>\*2</sup>: 人工水耕栽培システムより生産した生薬の品質保証.

第55回植物化学シンポジウム (2018.11.20)

<sup>\*1</sup> 名城大学薬学部

<sup>\*2</sup> (国研) 医薬健康研

杉浦淳吉<sup>\*1</sup>, 吉川肇子<sup>\*2</sup>, 穂山浩, 織朱實<sup>\*3</sup>, 高木彩<sup>\*4</sup>, 竹村和久<sup>\*5</sup>: 食品安全のリスクコミュニケーションにおける参加型手法の開発と実践.

日本質的心理学会第15回大会 (2018.11.24)

<sup>\*1</sup> 慶應義塾大学文学部

<sup>\*2</sup> 慶應義塾大学商学部

<sup>\*3</sup> 上智大学大学院地球環境学研究科

<sup>\*4</sup> 千葉工業大学社会システム科学部

<sup>\*5</sup> 早稲田大学文学部

穂山浩: 食物アレルギーの現状と対応.

日本調理科学会関東支部平成30年度講演会 (2018.11.24)

根本了, 坂井隆敏, 鳥海栄輔<sup>\*1</sup>, 平川佳則<sup>\*2</sup>, 大倉知子, 志田 (齊藤) 静夏, 菊地博之, 穂山浩: LC/MSによる農薬等の一斉試験法Ⅲ (畜水産物) の妥当性評価結果について.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

<sup>\*1</sup> (一財) 日本食品分析センター

<sup>\*2</sup> (一財) 食品環境検査協会

坂井隆敏, 縄田裕美, 菊地博之, 根本了, 穂山浩: 鶏卵中のフィプロニル分析法の検討.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

菊地博之, 坂井隆敏, 大倉知子, 根本了, 穂山浩: 畜産食品中の残留抗生物質を対象としたバイオアッセイ法とLC-MS/MSの比較.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

堤智昭, 川嶋文人\*, 濱田典明\*, 足立利華, 穂山浩: PCB分析前処理装置を用いた魚介類中の総PCB分析.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

\* 愛媛大学大学院農学研究科

今村正隆, 堤智昭, 高附巧, 前田朋美, 伊佐川聡\*, 柳俊彦\*, 飯塚誠一郎\*, 穂山浩: マーケットバスケット方式によるダイオキシン類の一日摂取量調査 (平成29年度).

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

\* (一財) 日本食品分析センター

鍋師裕美, 堤智昭, 高附巧, 穂山浩: スピルリナ加工食品への熱ルミネッセンス (TL) 法の適用性の検討.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

片岡洋平, 渡邊敬浩, 林恭子, 穂山浩: ミネラルウォーター類の各種元素濃度の実態調査.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

宮内佑子<sup>\*1</sup>, 川嶋文人<sup>\*2</sup>, 堤智昭, 濱田典明<sup>\*2</sup>, 高橋知史<sup>\*1</sup>, 足立利華, 穂山浩: 環境サンプル中のPCB分析のための簡易・迅速法の開発.

広島県環境計量証明事業協会 平成30年度研究発表会

(2019.2.15)

\*<sup>1</sup> 三浦工業株式会社

\*<sup>2</sup> 愛媛大学大学院農学研究科

永山敏廣<sup>\*1</sup>, 高取 聡<sup>\*2</sup>, 根本了, 藤本啓<sup>\*3</sup>, 高橋正幸<sup>\*3</sup>, 村上太郎<sup>\*2</sup>, 大城直雅, 小木曾基樹<sup>\*4</sup>, 小島尚<sup>\*5</sup>, 高野伊知郎<sup>\*1</sup>, 松本宏晃<sup>\*6</sup>, 三宅司郎<sup>\*7</sup>, 宮下隆<sup>\*8</sup>, 望月直樹<sup>\*9</sup>: 衛生試験法・注解 高速液体クロマトグラフィーによるコルヒチンまたは下痢性貝毒の定性および定量. 日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\*<sup>1</sup> 明治薬科大学

\*<sup>2</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所

\*<sup>3</sup> 北海道立衛生研究所

\*<sup>4</sup> (一財) 日本食品分析センター

\*<sup>5</sup> 帝京科学大学

\*<sup>6</sup> サントリーホールディングス (株)

\*<sup>7</sup> 麻布大学

\*<sup>8</sup> キューピー (株)

\*<sup>9</sup> 横浜薬科大学

堤智昭, 穂山浩, 出水庸介, 内山奈穂子, 政田さやか, 新井玲子, 阿部康弘, 袴塚高志, 辻巖一郎, 伊豆津健一, 合田幸広, 奥田晴宏: GC-MS を用いたバルサルタン中の不純物である*N*-nitrosodimethylamine の分析. 日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

石川和樹\*, 小松薫平\*, 太田千裕\*, 橋元誠\*, 田口貴章, 市瀬浩志\*: Actinorhodin生合成に関与する立体特異的エノイル還元酵素の機能解析.

日本薬学会第139回年会 (2019.3.22)

\* 武蔵野大学薬学部

Tsutsumi T: Assessment of the effectiveness of food safety measures by the Japanese government. OECD/NEA symposium on decommissioning, reconstruction, rehabilitation, and food safety: rebuilding post-accident confidence (2019.3.26)

佐野雄基<sup>\*1</sup>, 矢野竹男<sup>\*2</sup>, 穂山浩, 黒瀬光一<sup>\*1</sup>: Real-Time PCRを用いたサバ属全4種検出法. 平成31年度日本水産学会春季大会 (2019.3.27)

\*<sup>1</sup> 東京海洋大学

\*<sup>2</sup> 三重大学

Tada A, Masumoto N, Nakajima K, Tatebe C, Nishizaki Y, Kubota H, Sugimoto N, Sato K: Validation of a quantification method using gas chromatography-mass spectrometry.

AOAC 132<sup>nd</sup> Annual Meeting (2018.8.29)

多田敦子, 堀江正一<sup>\*1</sup>, 関戸晴子<sup>\*2</sup>, 橋口成喜<sup>\*3</sup>, 小林千種<sup>\*4</sup>, 勝原美紀<sup>\*5</sup>, 大槻崇<sup>\*6</sup>, 中島安基江<sup>\*7</sup>, 高橋直矢<sup>\*8</sup>, 久保田浩樹, 建部千絵, 寺見祥子, 杉本直樹, 佐藤恭子: 食品中の食品添加物分析法改正に向けた検討. 第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

\*<sup>1</sup> 大妻女子大学家政学部

\*<sup>2</sup> 神奈川県衛生研究所

\*<sup>3</sup> 川崎市健康安全研究所

\*<sup>4</sup> 東京都健康安全研究センター

\*<sup>5</sup> 名古屋市衛生研究所

\*<sup>6</sup> 日本大学生物資源科学部

\*<sup>7</sup> 広島県立総合技術研究所保健環境センター

\*<sup>8</sup> 横浜市衛生研究所

久保田浩樹, 滝川香織<sup>\*1</sup>, 関根百合子<sup>\*2</sup>, 佐藤陸実<sup>\*2</sup>, 氏家あけみ<sup>\*3</sup>, 安永恵<sup>\*3</sup>, 中島安基江<sup>\*4</sup>, 井原紗弥香<sup>\*4</sup>, 小川尚孝<sup>\*5</sup>, 川原るみ子<sup>\*5</sup>, 泉水由美子<sup>\*6</sup>, 高嶺朝典<sup>\*6</sup>, 恵飛須則明<sup>\*6</sup>, 寺見祥子, 佐野誠, 建部千絵, 五十嵐敦子, 古庄紀子, 多田敦子, 佐藤恭子: 平成29年度マーケットバスケット方式による食品添加物の一日摂取量調査. 第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

\*<sup>1</sup> 札幌市衛生研究所

\*<sup>2</sup> 仙台市衛生研究所

\*<sup>3</sup> 香川県環境保健研究センター

\*<sup>4</sup> 広島県立総合技術研究所保健環境センター

\*<sup>5</sup> 長崎市保健環境試験所

\*<sup>6</sup> 沖縄県衛生環境研究所

建部千絵, 藤原由美子, 久保田浩樹, 多田敦子, 佐藤恭子: リン酸塩類の硫酸塩試験法に関する検討. 日本食品化学学会第24回総会・学術大会 (2018.5.17)

建部千絵, 鐘熙寧, 久保田浩樹, 多田敦子, 佐藤恭子: 鉄共沈法を用いた鉛及びヒ素の同時分析法の妥当性評価及び食品添加物への適用. 第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

寺見祥子, 多田敦子, 久保田浩樹, 佐野誠, 鈴木一平\*, 建部千絵, 杉本直樹, 佐藤恭子: 試薬中のノルビキシ

及びピキシン簡易濃度測定法の検討.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

\* (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

古庄紀子, 建部千絵, 久保田浩樹, 多田敦子, 佐藤恭子:  
亜セレン酸ナトリウムの規格試験法の検討.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

北村陽二<sup>\*1</sup>, 佐藤恭子, 多田敦子, 小川数馬<sup>\*2</sup>, 小阪孝史<sup>\*1</sup>, 中島美由紀<sup>\*1</sup>, 高橋茉衣夏<sup>\*3</sup>, 上出茉歩<sup>\*4</sup>, 濱本萌風<sup>\*4</sup>, 吉田楓<sup>\*4</sup>, 池田朝海<sup>\*4</sup>, 斎藤寛<sup>\*5</sup>, 柴和弘<sup>\*1</sup>:  
食品添加物確認試験の赤外スペクトル測定へのATR法の適用に関する検討.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

<sup>\*1</sup> 金沢大学学際科学実験センター

<sup>\*2</sup> 金沢大学新学術創成研究科

<sup>\*3</sup> 金沢大学医薬保健学域

<sup>\*4</sup> 金沢大学保健学類

<sup>\*5</sup> 岡山大学薬学部

Sugimoto N, Nishizaki Y, Masumoto N, Sato K, Suematsu T<sup>\*1</sup>, Miura T<sup>\*2</sup>, Yamada Y<sup>\*2</sup>, Kitamaki Y<sup>\*3</sup>, Yamazaki T<sup>\*3</sup>, Kuroe M<sup>\*3</sup>, Numata M<sup>\*3</sup>, Ihara T<sup>\*3</sup>: Development of single reference liquid chromatography quantitative analysis based on relative molar sensitivity.

AOAC 132nd Annual Meeting (2018.8.29)

<sup>\*1</sup> 日本電子 (株)

<sup>\*2</sup> 富士フイルム和光純薬工業 (株)

<sup>\*3</sup> (国研) 産業技術総合研究所

西崎雄三, 鈴木綾乃\*, 良永裕子\*, 増本直子, 石附京子, 中島馨, 原園景, 木吉真人, 石井明子, 杉本直樹, 佐藤恭子: ペプチドを指標にした既存添加物の基原同定法の検討 (1) ~ 酵素製品について ~.

日本食品化学学会第24回総会・学術大会 (2018.5.17)

\* 麻布大学生命・環境科学部

増本直子, 西崎雄三, 中島馨, 石附京子, 杉本直樹, 佐藤恭子: フォトダイオードアレイ検出器による測定値のばらつきの原因.

第55回全国衛生科学技術協議会年会 (2018.11.30)

増本直子: 相対モル感度を利用したシングルリファレン

スHPLC分析法の応用.

第55回全国衛生科学技術協議会年会 (2018.11.30)

増本直子, 西崎雄三, 丸山剛史<sup>\*1</sup>, 五十嵐靖<sup>\*1</sup>, 中島馨, 山崎太一<sup>\*2</sup>, 黒江美穂<sup>\*2</sup>, 沼田雅彦<sup>\*2</sup>, 井原俊英<sup>\*2</sup>, 杉本直樹, 佐藤恭子: 相対モル感度を利用したペリルアルデヒド定量法の検討.

定量NMRクラブ第7回会合 (2018.12.14)

<sup>\*1</sup> (株) ツムラ

<sup>\*2</sup> (国研) 産業技術総合研究所

石附京子, 杉本直樹, 佐藤恭子: 既存添加物・シタン色素の成分解析.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

中島馨, 西崎雄三, 増本直子, 石附京子, 多田敦子, 杉本直樹, 佐藤恭子: 既存添加物トウガラシ水性抽出物の抗菌成分の特定.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

鈴木綾乃\*, 西崎雄三, 良永裕子\*, 増本直子, 石附京子, 中島馨, 原園景, 木吉真人, 石井明子, 杉本直樹, 佐藤恭子: ペプチドを指標にした既存添加物の基原同定法の検討 (2) ~ 酵素製品について ~.

日本食品化学学会第24回総会・学術大会 (2018.5.18)

\* 麻布大学生命・環境科学部

高橋未来\*, 西崎雄三, 増本直子, 石附京子, 中島馨, 杉本直樹, 佐藤恭子, 井之上浩一\*: Single Reference HPLC法によるセサモール, セサミン, エピセサミン, セサモリンの一斉分析法の検討.

日本食品化学学会第24回総会・学術大会 (2018.5.17)

\* 立命館大学大学院薬学研究科

高橋未来\*, 西崎雄三, 杉本直樹, 増本直子, 石附京子, 中島馨, 佐藤恭子, 井之上浩一\*: シングルリファレンスHPLC法によるゴマリグナン類の相対感度定量法の開発と食品応用.

第78回分析化学討論会 (2018.5.27)

\* 立命館大学大学院薬学研究科

Takahashi M\*, Nishizaki Y, Sugimoto N, Sato K, Inoue K\*: HPLC using single reference standard with relative

molar sensitivity for the determination of natural components from products and foods.  
PITTCON2019 (2019.3.19)

\* 立命館大学大学院薬学研究科

森美保菜\*, 寺倉理央奈\*, 間瀬貴巳\*, 藤原裕未\*, 永津明人\*, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子: 定量NMR ( $^1\text{H}$ -qNMR) を応用したベニバナ赤色素・carthaminの定量.

新規素材探索研究会第17回セミナー (2018.6.8)

\* 金城学院大学薬学部

森美保菜\*, 寺倉理央奈\*, 間瀬貴巳\*, 藤原裕未\*, 永津明人\*, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子: 定量NMR法を応用したベニバナ赤色素carthaminの吸光係数の検証.

第64回日本薬学会東海支部総会・大会 (2018.6.30)

\* 金城学院大学薬学部

佐々木伸大<sup>\*1,2</sup>, 根本圭一郎<sup>\*1</sup>, 西崎雄三, 杉本直樹, 田崎啓介<sup>\*1,3</sup>, 渡辺藍子<sup>\*1</sup>, 樋口敦美<sup>\*1</sup>, Ed Morgan<sup>\*4</sup>, 日影考志<sup>\*5</sup>, 西原昌宏<sup>\*1</sup>: 赤花リンドウからの新規キサントン分子種の単離.

第36回日本植物細胞分子生物学会 (2018.8.26)

<sup>\*1</sup> (公財) 岩手生物工学研究センター

<sup>\*2</sup> 東洋大学食環境科学部

<sup>\*3</sup> 東京農業大学農学部

<sup>\*4</sup> The New Zealand Institute for Plant & Food Research Ltd.

<sup>\*5</sup> 八幡平市花き研究開発センター

根本圭一郎<sup>\*1</sup>, 佐々木伸大<sup>\*1,2</sup>, 西崎雄三, 杉本直樹, 田崎啓介<sup>\*1,3</sup>, 渡辺藍子<sup>\*1</sup>, 樋口敦美<sup>\*1</sup>, Ed Morgan<sup>\*4</sup>, 日影考志<sup>\*5</sup>, 西原昌宏<sup>\*1</sup>: 赤花リンドウにおける新規なキサントン生合成酵素遺伝子の同定と機能解析.

第36回日本植物細胞分子生物学会 (2018.8.27)

<sup>\*1</sup> (公財) 岩手生物工学研究センター

<sup>\*2</sup> 東洋大学食環境科学部

<sup>\*3</sup> 東京農業大学農学部

<sup>\*4</sup> The New Zealand Institute for Plant & Food Research Ltd.

<sup>\*5</sup> 八幡平市花き研究開発センター

大槻崇<sup>\*1</sup>, 松田美優<sup>\*1</sup>, 松下明里<sup>\*1</sup>, 小島豪<sup>\*1</sup>, 松岡聖朗<sup>\*1</sup>, 西崎雄三, 増本直子, 山崎太一<sup>\*2</sup>, 黒江美穂<sup>\*2</sup>, 沼田雅彦<sup>\*2</sup>, 井原俊英<sup>\*2</sup>, 杉本直樹, 佐藤恭子, 松藤寛<sup>\*2</sup>:  $^1\text{H}$ -qNMRに基づく相対モル感度を用いたラカンカ抽出物中のモグロシドV分析法の確立.

日本薬学会第139回年会 (2019.3.21)

<sup>\*1</sup> 日本大学生物資源科学部

<sup>\*2</sup> (国研) 産業技術総合研究所

黒江美穂\*, 斎藤直樹\*, 増本直子, 西崎雄三, 杉本直樹, 沼田雅彦\*, 井原俊英\*: 非イオン界面活性剤の簡易定量に向けたHPLC-RIにおける相対モル感度の頑健性評価.

日本化学会年会第99春期年会 (2019.3.16)

\* (国研) 産業技術総合研究所

六鹿元雄, 佐藤環<sup>\*1</sup>, 中西徹<sup>\*2</sup>, 阿部智之<sup>\*3</sup>, 阿部裕, 安藤景子<sup>\*3</sup>, 石原絹代<sup>\*2</sup>, 牛山温子<sup>\*3</sup>, 内田晋作<sup>\*3</sup>, 大坂郁恵<sup>\*3</sup>, 大野浩之<sup>\*3</sup>, 大野雄一郎<sup>\*3</sup>, 尾崎麻子<sup>\*3</sup>, 木村亜莉沙<sup>\*3</sup>, 小林千恵<sup>\*3</sup>, 小林尚<sup>\*3</sup>, 近藤貴英<sup>\*3</sup>, 柴田博<sup>\*3</sup>, 関戸晴子<sup>\*3</sup>, 高坂典子<sup>\*3</sup>, 竹中佑<sup>\*3</sup>, 田中葵<sup>\*3</sup>, 田中秀幸<sup>\*3</sup>, 野村千枝<sup>\*3</sup>, 服部靖子<sup>\*3</sup>, 花澤耕太郎<sup>\*3</sup>, 羽石奈穂子<sup>\*3</sup>, 早川雅人<sup>\*3</sup>, 三浦俊彦<sup>\*3</sup>, 山口未来, 渡辺一成<sup>\*3</sup>, 佐藤恭子: おもちゃにおける着色料試験の試験室間共同試験<その1>.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

<sup>\*1</sup> 福岡県保健環境研究所

<sup>\*2</sup> (一財) 日本食品分析センター

<sup>\*3</sup> その他の試験機関, 衛生研究所等

六鹿元雄, 河村葉子, 有蘭幸司<sup>\*1</sup>, 大野浩之<sup>\*2</sup>, 尾崎麻子<sup>\*3</sup>, 金子令子<sup>\*4</sup>, 中西徹<sup>\*5</sup>, 羽石奈穂子<sup>\*6</sup>, 松井秀俊<sup>\*7</sup>, 渡辺一成<sup>\*8</sup>: 生活用品試験法 器具・容器包装および玩具試験法 ゴム製品からのN-ニトロソアミン類の溶出試験法.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

<sup>\*1</sup> 熊本県立大学環境共生学部

<sup>\*2</sup> 名古屋市衛生研究所

<sup>\*3</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所

<sup>\*4</sup> 前東京健康安全研究センター

<sup>\*5</sup> (一財) 日本食品分析センター

<sup>\*6</sup> 東京健康安全研究センター

<sup>\*7</sup> 東洋製罐 (株)

\*<sup>8</sup> (一財) 化学研究戦略機構

阿部裕, 六鹿元雄, 佐藤恭子: 乳幼児用おもちゃにおけるフタル酸エステル試験へのqNMRの適用.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

山口未来, 阿部裕, 六鹿元雄, 松山重倫\*, 大畑昌輝\*, 田中秀幸\*, 城野克広\*, 佐藤恭子: 器具・容器包装の金属の試験における標準原液の調製精度に関する研究.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

## \* (国研) 産業技術総合研究所

佐藤環<sup>\*1</sup>, 六鹿元雄, 中西徹<sup>\*2</sup>, 阿部智之<sup>\*3</sup>, 阿部裕, 安藤景子<sup>\*3</sup>, 石原絹代<sup>\*2</sup>, 牛山温子<sup>\*3</sup>, 内田晋作<sup>\*3</sup>, 大坂郁恵<sup>\*3</sup>, 大野浩之<sup>\*3</sup>, 大野雄一郎<sup>\*3</sup>, 尾崎麻子<sup>\*3</sup>, 木村亜莉沙<sup>\*3</sup>, 小林千恵<sup>\*3</sup>, 小林尚<sup>\*3</sup>, 近藤貴英<sup>\*3</sup>, 柴田博<sup>\*3</sup>, 関戸晴子<sup>\*3</sup>, 高坂典子<sup>\*3</sup>, 竹中佑<sup>\*3</sup>, 田中葵<sup>\*3</sup>, 田中秀幸<sup>\*3</sup>, 野村千枝<sup>\*3</sup>, 服部靖子<sup>\*3</sup>, 花澤耕太郎<sup>\*3</sup>, 羽石奈穂子<sup>\*3</sup>, 早川雅人<sup>\*3</sup>, 三浦俊彦<sup>\*3</sup>, 山口未来, 渡辺一成<sup>\*3</sup>, 佐藤恭子: おもちゃにおける着色料試験の試験室間共同試験<その2>.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

\*<sup>1</sup> 福岡県保健環境研究所\*<sup>2</sup> (一財) 日本食品分析センター\*<sup>3</sup> その他の試験機関, 衛生研究所等

中西徹<sup>\*1</sup>, 佐藤環<sup>\*2</sup>, 六鹿元雄, 阿部智之<sup>\*3</sup>, 阿部裕, 安藤景子<sup>\*3</sup>, 石原絹代<sup>\*1</sup>, 牛山温子<sup>\*3</sup>, 内田晋作<sup>\*3</sup>, 大坂郁恵<sup>\*3</sup>, 大野浩之<sup>\*3</sup>, 大野雄一郎<sup>\*3</sup>, 尾崎麻子<sup>\*3</sup>, 木村亜莉沙<sup>\*3</sup>, 小林千恵<sup>\*3</sup>, 小林尚<sup>\*3</sup>, 近藤貴英<sup>\*3</sup>, 柴田博<sup>\*3</sup>, 関戸晴子<sup>\*3</sup>, 高坂典子<sup>\*3</sup>, 竹中佑<sup>\*3</sup>, 田中葵<sup>\*3</sup>, 田中秀幸<sup>\*3</sup>, 野村千枝<sup>\*3</sup>, 服部靖子<sup>\*3</sup>, 花澤耕太郎<sup>\*3</sup>, 羽石奈穂子<sup>\*3</sup>, 早川雅人<sup>\*3</sup>, 三浦俊彦<sup>\*3</sup>, 山口未来, 渡辺一成<sup>\*3</sup>, 佐藤恭子: おもちゃにおける着色料試験の試験室間共同試験<その3>.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

\*<sup>1</sup> (一財) 日本食品分析センター\*<sup>2</sup> 福岡県保健環境研究所\*<sup>3</sup> その他の試験機関, 衛生研究所等

尾崎麻子\*, 岸映里\*, 大嶋智子\*, 角谷直哉\*, 阿部裕, 六鹿元雄, 山口之彦\*, 山野哲夫\*: ペットボトル入りミネラルウォーター中の揮発性物質.

食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

## \* (地独) 大阪健康安全基盤研究所

岸映里\*, 尾崎麻子\*, 大嶋智子\*, 阿部裕, 六鹿元雄, 山口之彦\*, 山野哲夫\*: ペットボトル入りミネラルウォーター中のアンチモン及びゲルマニウム.

食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

## \* (地独) 大阪健康安全基盤研究所

尾崎麻子<sup>\*1</sup>, 河村葉子, 有蘭幸司<sup>\*2</sup>, 大野浩之<sup>\*3</sup>, 金子令子<sup>\*4</sup>, 中西徹<sup>\*5</sup>, 羽石奈穂子<sup>\*6</sup>, 松井秀俊<sup>\*7</sup>, 六鹿元雄, 渡辺一成<sup>\*8</sup>: 生活用品試験法 器具・容器包装および玩具試験法 プラスチック製品の有機溶剤試験法.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

\*<sup>1</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所\*<sup>2</sup> 熊本県立大学環境共生学部\*<sup>3</sup> 名古屋市衛生研究所\*<sup>4</sup> 前東京健康安全研究センター\*<sup>5</sup> (一財) 日本食品分析センター\*<sup>6</sup> 東京健康安全研究センター\*<sup>7</sup> 東洋製罐 (株)\*<sup>8</sup> (一財) 化学研究評価機構

Asakura H: Genomic variation substantiates strain-to-strain diversity of biofilm formation in *Campylobacter jejuni*.

日本微生物生態学会第32回大会 (2018.7)

Yamamoto S, Asakura H: Temperature effect and characteristics of biofilm formation by *Listeria monocytogenes*.

日本微生物生態学会第32回大会 (2018.7)

田中温奈<sup>\*1</sup>, 池田碧<sup>\*1</sup>, 佐藤真伍<sup>\*1</sup>, 丸山総一<sup>\*1</sup>, 朝倉宏, 杉山広<sup>\*2</sup>, 高井伸二<sup>\*3</sup>, 壁谷英則<sup>\*1</sup>: わが国の野生鳥獣肉処理施設で処理された枝肉の衛生評価.

第161回日本獣医学会学術集会 (2018.9)

\*<sup>1</sup> 日本大学\*<sup>2</sup> 国立感染症研究所\*<sup>3</sup> 北里大学

内海優子<sup>\*1</sup>, 藤本翼<sup>\*1</sup>, 佐藤真伍<sup>\*1</sup>, 丸山総一<sup>\*1</sup>, 奈良崎孝一郎<sup>\*2</sup>, 奈良崎和孝<sup>\*2</sup>, 鶴田忠<sup>\*3</sup>, 横山栄二<sup>\*4</sup>, 朝倉宏, 杉山広<sup>\*5</sup>, 高井伸二<sup>\*6</sup>, 壁谷英則<sup>\*1</sup>: わが国の鹿・猪における志賀毒素産生大腸菌の保菌状況およびO157

分離株の全ゲノム解析.

第161回日本獣医学会学術集会 (2018.9)

\*<sup>1</sup> 日本大学

\*<sup>2</sup> 奈良崎動物医療センター

\*<sup>3</sup> 鶴田家畜医院

\*<sup>4</sup> 千葉県衛生研究所

\*<sup>5</sup> 国立感染症研究所

\*<sup>6</sup> 北里大学

朝倉宏, 森田幸雄<sup>\*1</sup>, 中馬猛久<sup>\*2</sup>, 中村寛海<sup>\*3</sup>: 食鳥肉におけるカンピロバクター汚染制御と汚染探知への次世代シーケンサーの活用.

第161回日本獣医学会学術集会シンポジウム (2018.9)

\*<sup>1</sup> 東京家政大学

\*<sup>2</sup> 鹿児島大学

\*<sup>3</sup> 大阪健康安全基盤研究所

川瀬遵<sup>\*1</sup>, 朝倉宏, 黒崎守人<sup>\*2</sup>, 角森ヨシエ<sup>\*2</sup>, 川上優太<sup>\*2</sup>, 林美海<sup>\*2</sup>, 福岡愛子<sup>\*1</sup>, 酒井智建<sup>\*1</sup>, 小谷麻祐子<sup>\*1</sup>: Real-time PCRのCycle threshold値に基づく結果判定と培養成績との相関.

第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9)

\*<sup>1</sup> 鳥根県保健環境科学研究所

\*<sup>2</sup> 鳥根県保健所

中村寛海\*, 山元誠司\*, 朝倉宏, 梅田薫\*, 山本香織\*, 小笠原準\*: 生菌由来カンピロバクターDNAのふきとり材料からの定量的検出.

第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9)

\* 大阪健康安全基盤研究所

川瀬遵\*, 朝倉宏: Real-time PCR 法による糞便検体からの食中毒菌の検出と培養成績との相関.

第71回日本細菌学会中国・四国支部総会 (2018.10)

\* 鳥根県保健環境科学研究所

山本詩織, 川瀬遵<sup>\*1</sup>, 池田徹也<sup>\*2</sup>, 上間匡, 迫井千晶<sup>\*3</sup>, 秋元健一郎<sup>\*3</sup>, 山田研<sup>\*3</sup>, 朝倉宏: 国内における市販野生鳥獣由来食肉の微生物学的品質と低温加熱調理による微生物汚染低減効果に関する検討.

第22回腸管出血性大腸菌感染症研究会総会 (2018.11)

\*<sup>1</sup> 鳥根県保健環境科学研究所

\*<sup>2</sup> 北海道立衛生研究所

\*<sup>3</sup> 学校法人辻調理学館辻調理師専門学校

牧野有希<sup>\*1</sup>, 山本詩織, 大河内美穂<sup>\*2</sup>, 宮下隆<sup>\*2</sup>, 朝倉宏: カット野菜における細菌汚染実態調査について.

日本防菌防黴学会第45回年次大会 (2018.11)

\*<sup>1</sup> 日本食品検査

\*<sup>2</sup> キューピー (株)

山本詩織, 森篤志\*, 朝倉宏: 国内市販鶏挽肉におけるカルバペネム耐性腸内細菌科菌群の汚染実態に関する検討.

日本防菌防黴学会第45回年次大会 (2018.11)

\* (一財) 日本食品検査

山本詩織, 関享子\*, 朝倉宏: 低温加熱調理を通じた鶏肉における微生物汚染低減効果及び検体中心温度推移に関する検討.

日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2018.11)

\* 日本食品検査

朝倉宏, 岡村雅史<sup>\*1</sup>, 中馬猛久<sup>\*2</sup>, 中山達哉, 佐々木貴正, 村上覚史<sup>\*3</sup>, 朝倉宏: 野鳥由来*Campylobacter jejuni*は鶏腸管環境に適応するか?

第11回日本カンピロバクター研究会総会 (2018.12)

\*<sup>1</sup> 北里大学

\*<sup>2</sup> 鹿児島大学

\*<sup>3</sup> 東京農業大学

中村寛海\*, 山元誠司\*, 朝倉宏, 梅田薫\*, 山本香織\*, 小笠原準\*: 調理環境から採取したふきとり材料からのカンピロバクター遺伝子の検出.

第11回日本カンピロバクター研究会総会 (2018.12)

\* 大阪健康安全基盤研究所

Sasaki Y, Nakayama T, Momose Y, Okada Y, Asakura H: Broad-spectrum cephalosporin resistant *Salmonella* contamination of chicken meat products at a slaughterhouse. 52<sup>nd</sup> Session of the Joint UJNR Panel on Toxic Microorganisms Business Meeting (2018.4)

佐々木貴正：採卵鶏農場におけるカンピロバクター及びサルモネラ保有状況.

第20回関東鶏病臨床研究会 (2018.6)

佐々木貴正, 中山達哉, 岡田由美子, 百瀬愛佳, 朝倉宏, 五十君静信\*：採卵鶏農場におけるフルオロキノロン耐性カンピロバクター.

第161回日本獣医学会学術集会 (2018.9)

\* 東京農業大学

佐々木貴正, 岡田由美子, 上間匡, 朝倉宏, 野田衛：市販鶏肝臓のカンピロバクター汚染と高圧処理による殺菌効果.

第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9)

佐々木貴正：肉用鶏由来サルモネラの薬剤耐性.

2018年第2回東北鶏病臨床研究会 (2018.8)

佐々木貴正：肉用鶏由来サルモネラの薬剤耐性.

2018年第2回東北鶏病臨床研究会 (2018.8)

佐々木貴正, 中山達哉, 百瀬愛佳, 朝倉宏, 五十君静信\*：食鳥処理場における鶏肉の広域スペクトラムセファロスポリン耐性サルモネラ汚染.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11)

\* 東京農業大学

佐々木貴正, 五十君静信\*, 朝倉宏：食鳥処理場におけるカンピロバクター交差汚染.

第11回日本カンピロバクター研究会総会 (2018.12)

\* 東京農業大学

佐々木貴正：養鶏場における抗菌剤使用と鶏肉の薬剤耐性.

第21回関東鶏病臨床研究会 (2018.12)

中山達哉, 佐々木貴正, 山口貴弘<sup>\*1</sup>, 河原隆二<sup>\*1</sup>, 岡田由美子, 朝倉宏, 五十君静信<sup>\*2</sup>：採卵鶏農場における薬剤耐性大腸菌汚染実態調査.

第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9.27)

<sup>\*1</sup> 大阪健康安全基盤研究所

<sup>\*2</sup> 東京農業大学

中山達哉, 佐々木貴正, 朝倉宏, 五十君静信\*：食鳥処理場における薬剤耐性大腸菌の汚染実態.

日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2018.11.15)

\* 東京農業大学

Oshiro N, Nagasawa H<sup>\*1</sup>, Nishimura M<sup>\*2</sup>, Kuniyoshi K, Tanigawa T<sup>\*3</sup>, Sugita-Konishi Y<sup>\*1</sup>, Tachihara K<sup>\*2</sup>, Asakura H, Yasumoto T<sup>\*4</sup>: LC-MS Analysis of ciguatoxins in *Variola louti* collected off the Japanese Water

52nd UJNR Toxic Microorganisms Panel Scientific meeting (2018.4)

<sup>\*1</sup> Azabu University

<sup>\*2</sup> University of the Ryukyus

<sup>\*3</sup> Bonins a Pirates

<sup>\*3</sup> Japan Food Research Laboratories

大城直雅, 大久保博英<sup>\*1</sup>, 伊藤茉美<sup>\*2</sup>, 國吉杏子, 小島尚<sup>\*1</sup>, 立原一憲<sup>\*2</sup>, 朝倉宏, 安元健<sup>\*3</sup>：ドクウツボ筋肉および肝臓のシガトキシン類分析

日本食品化学学会 第24回総会・学術大会 (2018.)

<sup>\*1</sup> 帝京科学大学

<sup>\*2</sup> 琉球大学理学部

<sup>\*3</sup> (一財) 日本食品分析センター

Oshiro N, Kuniyoshi K, Yamamoto S<sup>\*1</sup>, Yamada T<sup>\*1</sup>, Hotta A<sup>\*1</sup>, Auzuki T<sup>\*1</sup>, Sugita N<sup>\*1</sup>, Matsuura K<sup>\*2</sup>, Nakashima A<sup>\*3</sup>, Anzai Y<sup>\*4</sup>, Asakura H: Analysis of tetrodotoxin in flesh of a pufferfish, *Takifugu flavipetris*, collected from the Seto Inland Sea, Japan

18th International Conference on Harmful Algae (2018.10)

<sup>\*1</sup> Meiji Pharmaceutical University

<sup>\*2</sup> National Museum of Nature and Science

<sup>\*3</sup> Health and Environment Center, Hiroshima Prefectural Technology Research Institute

<sup>\*4</sup> Hiroshima City Public Health Center

Oshiro N, Okubo H<sup>\*1</sup>, Ito M<sup>\*2</sup>, Kuniyoshi K, Kojima T<sup>\*1</sup>, Tachihara K<sup>\*2</sup>, Asakura H, Yasumoto T<sup>\*3</sup>: Determination of Ciguatoxins in the Moray Eel *Gymnothorax javanicus* from Okinawa and Amami Islands, Japan

18th International Conference on Harmful Algae (2018.10)

---

\*<sup>1</sup> Teikyo University of Science

\*<sup>2</sup> University of the Ryukyus

\*<sup>3</sup> Japan Food Research Laboratories

Nagae M\*, Igarashi T\*, Kuniyoshi K, Oshiro N, Yasumoto T\*: A single validation study on matrices-insensitive test procedure for quantitative analysis of the Pacific type ciguatoxins in fish

18th International Conference on Harmful Algae (2018.10)

---

\* Japan Food Research Laboratories

Tsumuraya T\*<sup>1</sup>, Sato T\*<sup>2</sup>, Oshiro N, Hirama M\*<sup>1</sup>, Fujii I\*<sup>1</sup>: Highly Sensitive and Practical Fluorescent Sandwich ELISA for Ciguatoxins

18th International Conference on Harmful Algae (2018.10)

---

\*<sup>1</sup> Osaka Prefecture University

\*<sup>2</sup> Cell Science Inc.

松田りえ子, 荒川史博\*<sup>1</sup>, 納屋隆行\*<sup>2</sup>, 大城直雅: ホタテガイ中オカダ酸分析技能試験プログラムの開発  
日本食品衛生学会第114回学術講演会 (2018.11)

---

\*<sup>1</sup> 日本ハム株式会社中央研究所

\*<sup>2</sup> (一財) 青森県薬剤師会食と水の検査センター

中島安基江\*, 福原亜美\*, 井原紗弥香\*, 安部かおり\*, 大城直雅: 瀬戸内海産コモナフグの毒性調査  
第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11)

---

\* 広島県立総合技術研究所保健環境センター

大城直雅: マリンバイオトキシンに関する話題  
平成30年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会研究発表会 (2018.11)

大城直雅: 魚介類摂取による横紋筋融解症  
第55回全国衛生化学技術協議会年会部門別研究会食品部門 (2018.11)

大城直雅: 水圏生物毒による食中毒  
地方衛生研究所全国協議会近畿支部第34回疫学情報部会定期研究会 (2018.12)

大城直雅: 話題提供

地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第31回理化学研究部会研究会 (2019.2)

大城直雅: 海産生物毒の規制と検査

日本薬学会第139年会 (2019.3)

岡田由美子, 鈴木穂高\*<sup>1</sup>, 吉田麻利江, 荻原博和\*<sup>2</sup>: 高圧処理による畜産食品中の食中毒原因菌の不活化.  
第161回日本獣医学会 (2018.9)

---

\*<sup>1</sup> 茨城大学

\*<sup>2</sup> 日本大学

Okada Y, Suzuki H\*<sup>1</sup>, Momose Y, Ogihara\*<sup>2</sup>: Inactivation of foodborne pathogens by HHP treatment in meats.  
HPBB2018 (2018.9)

---

\*<sup>1</sup> Ibaraki University

\*<sup>2</sup> Nihon University

岡田由美子, 鈴木穂高\*<sup>1</sup>, 吉田麻利江, 荻原博和\*<sup>2</sup>: 高圧処理を用いた食肉中の食中毒菌不活化の検討.  
第45回日本防菌防黴学会 (2018.11)

---

\*<sup>1</sup> 茨城大学

\*<sup>2</sup> 日本大学

斎藤博之\*, 秋野和華子\*, 野田衛, 上間匡: パンソルビンの再固定によるノロウイルスの回収率向上  
第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9)

---

\* 秋田県健康環境センター

秋野和華子\*, 斎藤博之\*, 野田衛, 上間匡: 市販アサリからのノロウイルス検出状況  
第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9)

---

\* 秋田県健康環境センター

高木弘隆\*, 永田文宏, 野田衛, 上間匡: 食品媒介性ウイルス及び介在性ウイルスに関する不活性化評価手法の策定に向けた検討 (2) - 代替ウイルス選定及び試験系に関する検討

第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9)

---

\* 国立感染症研究所

田村務\*, 新井礼子\*, 広川智香\*, 渡部香\*, 西田晶子\*, 林真由美\*, 野田衛, 上間匡:水溶性高分子ポリマーコーティングによる手指汚染の水洗いによる簡易除去  
第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9)

\* 新潟県保健環境科学研究所

斎藤博之<sup>\*1</sup>, 秋野和華子<sup>\*1</sup>, 佐藤寛子<sup>\*1</sup>, 清水優子<sup>\*2</sup>, 早川智<sup>\*2</sup>, 牛島廣治<sup>\*2</sup>, 野田衛, 上間匡:生カキ喫食後の胃腸炎症例から得られたノロウイルス感染の特徴,  
第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11)

<sup>\*1</sup> 秋田県健康環境センター

<sup>\*2</sup> 日本大学 医学部微生物学教室

永田文宏, 上間匡:低温加熱によるシカ肉中のウイルス感染価の変化,  
第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11)

門脇奈津子<sup>\*1</sup>, 大塚佳代子<sup>\*1</sup>, 大阪美紗<sup>\*1</sup>, 小西典子<sup>\*2</sup>, 工藤由起子:腸管毒素原性大腸菌のリアルタイムPCR法における各種検出機器及びクエンチャーでの検出感度の比較,  
第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

<sup>\*1</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>\*2</sup> 東京都健康安全研究センター

岩渕香織<sup>\*1</sup>, 土屋 彰彦<sup>\*2</sup>, 大塚佳代子<sup>\*3</sup>, 小西典子<sup>\*4</sup>, 山崎匠子<sup>\*5</sup>, 和田裕久<sup>\*6</sup>, 木全恵子<sup>\*7</sup>, 永井佑樹<sup>\*8</sup>, 吉田孝子<sup>\*9</sup>, 平塚貴大<sup>\*10</sup>, 森哲也<sup>\*11</sup>, 稲垣俊一<sup>\*12</sup>, 白石祥吾<sup>\*13</sup>, 甲斐明美<sup>\*14</sup>, 寺嶋淳<sup>\*15</sup>, 工藤由起子:腸管毒素原性大腸菌の食品での試験法のコラボレイティブスタディによる評価(1).  
第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9.28)

<sup>\*1</sup> 岩手県環境保健研究センター

<sup>\*2</sup> さいたま市健康科学研究センター

<sup>\*3</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>\*4</sup> 東京都健康安全研究センター

<sup>\*5</sup> 杉並区衛生検査センター

<sup>\*6</sup> 静岡市環境保健研究所

<sup>\*7</sup> 富山県衛生研究所

<sup>\*8</sup> 三重県保健環境研究所

<sup>\*9</sup> 奈良県保健研究センター

<sup>\*10</sup> 広島県立総合技術研究所保健環境センター

<sup>\*11</sup> (一財) 東京顕微鏡院

<sup>\*12</sup> 横浜検疫所

<sup>\*13</sup> 神戸検疫所

<sup>\*14</sup> (公社) 日本食品衛生協会

<sup>\*15</sup> 岩手大学

Hara-Kudo Y, Tanaka M<sup>\*1</sup>, Tomaru A, Terajima J<sup>\*2</sup>: Foodborne outbreaks of enterohemorrhagic *Escherichia coli* O157 associated with uncooked frozen cutlet and verification of the inactivation by cooking.

The 10th International Symposium on Shiga Toxin (Verocytotoxin) Producing *Escherichia Coli* Infections (2018.5.6-9)

<sup>\*1</sup> Shizuoka Prefectural Tobu Public Health and Welfare Centers

<sup>\*2</sup> Iwate University

小西典子<sup>\*1</sup>, 大塚佳代子<sup>\*2</sup>, 山崎匠子<sup>\*3</sup>, 和田裕久<sup>\*4</sup>, 磯部順子<sup>\*5</sup>, 永井佑樹<sup>\*6</sup>, 平塚貴大<sup>\*7</sup>, 森哲也<sup>\*8</sup>, 稲垣俊一<sup>\*9</sup>, 白石祥吾<sup>\*10</sup>, 土屋彰彦<sup>\*11</sup>, 吉田孝子<sup>\*12</sup>, 岩渕香織<sup>\*13</sup>, 甲斐明美<sup>\*14</sup>, 寺嶋淳<sup>\*15</sup>, 工藤由起子:食品を対象とした腸管毒素原性大腸菌検出法確立のためのコラボレイティブスタディによる評価,  
第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.16)

<sup>\*1</sup> 東京都健康安全研究センター

<sup>\*2</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>\*3</sup> 杉並区衛生検査センター

<sup>\*4</sup> 静岡市環境保健研究所

<sup>\*5</sup> 富山県衛生研究所

<sup>\*6</sup> 三重県保健環境研究所

<sup>\*7</sup> 広島県立総合技術研究所保健環境センター

<sup>\*8</sup> (一財) 東京顕微鏡院

<sup>\*9</sup> 横浜検疫所

<sup>\*10</sup> 神戸検疫所

<sup>\*11</sup> さいたま市健康科学研究センター

<sup>\*12</sup> 奈良県保健研究センター

<sup>\*13</sup> 岩手県環境保健研究センター

<sup>\*14</sup> (公社) 日本食品衛生協会

<sup>\*15</sup> 岩手大学

尾畑浩魅<sup>\*1</sup>, 小西典子<sup>\*1</sup>, 大塚佳代子<sup>\*2</sup>, 鈴木淳<sup>\*1</sup>, 貞升健志<sup>\*1</sup>, 甲斐明美<sup>\*3</sup>, 工藤由起子:食品を対象とした毒素原性大腸菌検出に用いる免疫磁気ビーズ作製方法と有用性の検討.

第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9.28)

\*<sup>1</sup> 東京都健康安全研究センター

\*<sup>2</sup> 埼玉県衛生研究所

\*<sup>3</sup> (公社) 日本食品衛生協会

吉田孝子<sup>\*1</sup>, 白石祥吾<sup>\*2</sup>, 稲垣俊一<sup>\*3</sup>, 森哲也<sup>\*4</sup>, 平塚貴大<sup>\*5</sup>, 永井佑樹<sup>\*6</sup>, 磯部順子<sup>\*7</sup>, 和田裕久<sup>\*8</sup>, 山崎匠子<sup>\*9</sup>, 小西典子<sup>\*10</sup>, 大塚佳代子<sup>\*11</sup>, 土屋彰彦<sup>\*12</sup>, 岩渕香織<sup>\*13</sup>, 甲斐明美<sup>\*14</sup>, 寺嶋淳<sup>\*15</sup>, 工藤由起子: 腸管毒素原性大腸菌の食品での試験法のコラボレイティブスタディによる評価(2).

第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9.28)

\*<sup>1</sup> 奈良県保健研究センター

\*<sup>2</sup> 神戸検疫所埼玉県衛生研究所

\*<sup>3</sup> 横浜検疫所

\*<sup>4</sup> (一財) 東京顕微鏡院静岡市環境保健研究所

\*<sup>5</sup> 広島県立総合技術研究所保健環境センター

\*<sup>6</sup> 三重県保健環境研究所

\*<sup>7</sup> 富山県衛生研究所

\*<sup>8</sup> 静岡市環境保健研究所

\*<sup>9</sup> 杉並区衛生検査センター

\*<sup>10</sup> 東京都健康安全研究センター

\*<sup>11</sup> 埼玉県衛生研究所

\*<sup>12</sup> さいたま市健康科学研究センター

\*<sup>13</sup> 岩手県環境保健研究センター

\*<sup>14</sup> (公社) 日本食品衛生協会

\*<sup>15</sup> 岩手大学

豊田淑江, 菊池裕, 内田恵理子, 山口照英: 血管内皮前駆細胞の*in vitro*管腔形成におけるinterferon-induced transmembrane protein 1 (IFITM-1) の役割.

第91回日本生化学会大会 (2018.9.26)

Kikuchi Y: Collaborative Study on the Bacterial Endotoxins Test Using Recombinant Factor C-based Procedure for Detection of Lipopolysaccharides. Recombinant bacterial endotoxin testing Kolloquium (2018.11.19)

Kikuchi Y: Collaborative Study on the Bacterial Endotoxins Test Using Recombinant Factor C-based Procedure for Detection of Lipopolysaccharides. PharmaLab 2018 (2018.11.21)

Kikuchi Y: Development of rapid microbial methods for the pharmaceutical process control/微生物迅速法の医薬品製造工程管理に対する応用.

EU-GMP Annex1 symposium in Japan (2019.2.12)

菊池裕: 総合討論.

第34回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム-微生物関連試験法, 微生物管理等の最新情報を踏まえて (2019.3.7)

湯之前雄太\*, 清水則夫\*, 関矢一郎\*, 菊池裕: 再生医療の安全性確保-マイコプラズマ否定試験の施設バリデーションに用いる参照菌株の検討.

第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.22)

\* 東京医科歯科大学

新井沙倉, 宮田晃一<sup>\*1</sup>, 西村秀郷<sup>\*1</sup>, 都丸亜希子, 後藤慶一<sup>\*1</sup>, 寺嶋淳<sup>\*2</sup>, 工藤由起子: 水産食品における *Photobacterium damsela* の増殖とヒスタミン生成の評価.

第39回日本食品微生物学会学術集会 (2018.9.28)

\*<sup>1</sup> 東海大学

\*<sup>2</sup> 岩手大学

Watanabe M, Onami J<sup>\*1</sup>, Yoshinari T, Hashimoto R<sup>\*2</sup>, Kitayama M<sup>\*3</sup>, Kamata Y<sup>\*4</sup>, Takahashi H, Kawakami H<sup>\*3</sup>, Terajima J<sup>\*5</sup>: Study on fumonisin-productivity of isolates of *Aspergillus* section *Nigri* derived from foods in Japanese markets and environment.

UJNR有毒微生物専門部会第52回大会日米合同部会 (2018.4.22-27)

\*<sup>1</sup> Japan Science and Technology agency, National Bioscience Database Center

\*<sup>2</sup> Chiba Prefectural Institute of Public Health

\*<sup>3</sup> Kyoritsu Women's University

\*<sup>4</sup> Koshien University

\*<sup>5</sup> Iwate University

押方智也子<sup>\*1</sup>, 渡辺麻衣子, 石田正嗣<sup>\*2</sup>, 小林誠一<sup>\*2</sup>, 栗山進一<sup>\*3</sup>, 金子猛<sup>\*4</sup>, 鎌田洋一<sup>\*5</sup>, 矢内勝<sup>\*2</sup>, 釣木澤尚実<sup>\*1,4</sup>: 宮城県石巻市における仮設住宅に居住歴のある住民を対象とした集団検診の喘息の有病率とダニアレルギー感作の推移.

第49回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会 (2018.7.20-21)

\*<sup>1</sup> 平塚市民病院

\*<sup>2</sup> 石巻日赤病院

\*<sup>3</sup> 東北大学災害科学国際研究所

\*<sup>4</sup> 横浜市立大学大学院

\*<sup>5</sup> 甲子園大学

渡辺麻衣子, 橋本一浩<sup>\*1</sup>, 小沼ルミ<sup>\*2</sup>, 川上裕司<sup>\*1</sup>, 窪崎敦隆, 伊澤和輝<sup>\*3</sup>, 秋山泰<sup>\*3</sup>, 菊池裕, 岩前篤<sup>\*4</sup>, 工藤由起子, 山崎朗子<sup>\*5</sup>, 鎌田洋一<sup>\*6</sup>, 伊香賀俊治<sup>\*7</sup>: 寝室ハウスタグ中の真菌およびニ相網羅的解析にける手法比較検討.

平成30年室内環境学会学術大会 (2018.12.6-7)

\*<sup>1</sup> エフシージー総合研究所

\*<sup>2</sup> 東京都産業技術研究所

\*<sup>3</sup> 東京工業大学情報理工学院

\*<sup>4</sup> 近畿大学理

\*<sup>5</sup> 岩手大学

\*<sup>6</sup> 甲子園大学

\*<sup>7</sup> 慶應義塾大学

渡辺麻衣子, 青木渉<sup>\*1</sup>, 渡邊雅樹<sup>\*1</sup>, 小林直樹<sup>\*1</sup>, 小西良子<sup>\*1</sup>, 寺嶋淳<sup>\*2</sup>, 近藤一成, 工藤由起子: ウラベニホテイシメジ類の有毒菌種に関する分子系統分類学的検討.

第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9.27-28)

\*<sup>1</sup> 麻布大学

\*<sup>2</sup> 岩手大学

小池義浩<sup>\*1</sup>, 吉成知也, 中川博之<sup>\*2</sup>, 上垣隆一<sup>\*3</sup>, 高橋治男, 清水公德<sup>\*1</sup>, 工藤由起子, 渡辺麻衣子: *Fusarium*属菌におけるフモニシン類産生性に関する分類学的検討.

日本マイコトキシン学会第82回学術講演会 (2018.8.24)

\*<sup>1</sup> 東京理科大学

\*<sup>2</sup> 農研機構食品研究部門

\*<sup>3</sup> 農研機構動物衛生研究部門

佐藤和貴<sup>\*1</sup>, 吉成知也, 窪崎敦隆, 小林直樹<sup>\*2</sup>, 小西良子<sup>\*2</sup>, 工藤由起子, 渡辺麻衣子: 国内流通穀類におけるステリグマトシスチン産生菌の分布に関する研究.

日本マイコトキシン学会第83回学術講演会 (2019.1.11)

\*<sup>1</sup> 東京バイオ専門学校

\*<sup>2</sup> 麻布大学

押方智也子<sup>\*1</sup>, 渡辺麻衣子, 松原博子<sup>\*2</sup>, 栗山進一<sup>\*2</sup>, 鎌田洋一<sup>\*3</sup>, 矢内勝<sup>\*4</sup>, 呉繁夫<sup>\*5</sup>, 釣木澤尚実<sup>\*1,6</sup>: 環境整備指導における自己成長エゴプログラムの活用. 第55回小児アレルギー学会 (2018.10.20-21)

\*<sup>1</sup> 平塚市民病院

\*<sup>2</sup> 東北大学災害科学国際研究所

\*<sup>3</sup> 甲子園大学

\*<sup>4</sup> 石巻日赤病院

\*<sup>5</sup> 東北大学大学院

\*<sup>6</sup> 横浜市立大学大学院

釣木澤尚実<sup>\*1,2</sup>, 押方智也子<sup>\*1</sup>, 渡辺麻衣子, 松原博子<sup>\*3</sup>, 栗山進一<sup>\*3</sup>, 嶋田貴志<sup>\*4</sup>, 鎌田洋一<sup>\*5</sup>, 金子猛<sup>\*2</sup>, 矢内勝<sup>\*6</sup>, 呉繁夫<sup>\*7</sup>: 石巻市小学校2年生を対象とした寝具ダニアレルギー環境整備指導介入の効果の検証.

第55回小児アレルギー学会 (2018.10.20-21)

\*<sup>1</sup> 平塚市民病院

\*<sup>2</sup> 横浜市立大学大学院

\*<sup>3</sup> 東北大学災害科学国際研究所

\*<sup>4</sup> ニチニチ製薬株式会社

\*<sup>5</sup> 甲子園大学

\*<sup>6</sup> 石巻日赤病院

\*<sup>7</sup> 東北大学大学院

押方智也子<sup>\*1</sup>, 渡辺麻衣子, 石田雅嗣<sup>\*2</sup>, 小林誠一<sup>\*2</sup>, 栗山進一<sup>\*3</sup>, 鎌田洋一<sup>\*4</sup>, 矢内勝<sup>\*2</sup>, 釣木澤尚実<sup>\*1,5</sup>: 宮城県石巻市応急仮設住宅に在住歴のある住民を対象とした喘息の有病率とダニアレルギー感作の推移.

第67回日本アレルギー学術大会 (2018.6.22-24)

\*<sup>1</sup> 平塚市民病院

\*<sup>2</sup> 石巻日赤病院

\*<sup>3</sup> 東北大学災害科学国際研究所

\*<sup>4</sup> 甲子園大学

\*<sup>5</sup> 横浜市立大学大学院

押方智也子<sup>\*1</sup>, 渡辺麻衣子, 石田雅嗣<sup>\*2</sup>, 小林誠一<sup>\*2</sup>, 鎌田洋一<sup>\*3</sup>, 栗山進一<sup>\*4</sup>, 矢内勝<sup>\*2</sup>, 釣木澤尚実<sup>\*1,5</sup>: 石巻市における応急仮設住宅に在住歴のある住民を対象とした気管支喘息発症のコホート研究.

第58回日本呼吸器学会学術大会 (2018.4.27-29)

\*<sup>1</sup> 平塚市民病院

\*<sup>2</sup> 石巻日赤病院

\*<sup>3</sup> 甲子園大学

\*<sup>4</sup> 東北大学災害科学国際研究所

\*<sup>5</sup> 横浜市立大学大学院

佐々木国玄\*, 小河内麻衣\*, 安澤洋子\*, 窪村亜希子\*, 阿部光一朗\*, 小嶋由香\*, 本間幸子\*, 岡部信彦\*, 大西貴弘: 当所における粘液胞子虫の検査状況について. 第84回神奈川県感染症医学会 (2018.9.1)

\* 川崎市健康安全研究所

大西貴弘, 小原徹也\*<sup>1</sup>, 新井沙倉, 吉成知也, 小西良子\*<sup>1</sup>, 寺嶋淳\*<sup>2</sup>, 工藤由起子: カンパチが原因食と疑われる有症苦情事例残品中の*Uncapsula seriola*寄生量の解析.

第39回日本食品微生物学会学術総会 (2018.9.28)

\*<sup>1</sup> 麻布大学

\*<sup>2</sup> 岩手大学

山本薫\*<sup>1</sup>, 中谷充志\*<sup>1</sup>, 前島圭\*<sup>1</sup>, 中田純子\*<sup>1</sup>, 口敏之\*<sup>1</sup>, 赤坂安司\*<sup>1</sup>, 奥田祐亮\*<sup>1</sup>, 和田安彦\*<sup>1</sup>, 寺杣文男\*<sup>2</sup>, 大西貴弘: サルコシステイス属を原因とする鹿刺しによる食中毒事例.

平成30年度獣医学術近畿地区学会 (2018.10.14)

\*<sup>1</sup> 和歌山県田辺保健所

\*<sup>2</sup> 和歌山県環境衛生研究センター

大西貴弘, 古屋晶美\*, 新井沙倉, 吉成知也, 後藤慶一\*, 工藤由起子: カテキンおよびカフェインのクドア不活化効果の検討.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

\* 東海大学

山本薫\*<sup>1</sup>, 中谷充志\*<sup>1</sup>, 前島圭\*<sup>1</sup>, 中田純子\*<sup>1</sup>, 口敏之\*<sup>1</sup>, 赤坂安司\*<sup>1</sup>, 奥田祐亮\*<sup>1</sup>, 和田安彦\*<sup>1</sup>, 寺杣文男\*<sup>2</sup>, 大西貴弘: サルコシステイス属が寄生していた鹿を生で喫食したことによる食中毒事例.

第34回和歌山県公衆衛生学会 (2018.11.5)

\*<sup>1</sup> 和歌山県田辺保健所

\*<sup>2</sup> 和歌山県環境衛生研究センター

井之口曜\*<sup>1</sup>, 古川智宏\*<sup>2</sup>, 吉成知也, 作田正平\*<sup>2</sup>: ホスファターゼ活性阻害とアフラトキシン生産の関係.

日本マイコトキシン学会第82回学術講演会 (2018.8.24)

\*<sup>1</sup> 東京大学

\*<sup>2</sup> 帝京大学

吉成知也, 渡辺麻衣子, 大西貴弘, 工藤由起子: フザリウム属菌のフモニシン生産に対するポリオキシン類の影響.

日本マイコトキシン学会第82回学術講演会 (2018.8.24)

吉成知也, 大西貴弘, 工藤由起子: フモニシンのモデルファイト化合物のリスク評価に関する研究.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

吉成知也, 小杉正樹\*<sup>1</sup>, 佐藤英子\*<sup>2</sup>, 七戸八重子\*<sup>3</sup>, 竹内浩\*<sup>4</sup>, 谷口賢\*<sup>5</sup>, 藤吉智治\*<sup>6</sup>, 脇ますみ\*<sup>7</sup>, 小西良子\*<sup>8</sup>, 大西貴弘, 工藤由起子: 国内流通食品におけるステリグマトシステインの汚染実態調査.

日本マイコトキシン学会第83回学術講演会 (2019.1.11)

\*<sup>1</sup> (一財) 日本食品分析センター

\*<sup>2</sup> 川崎市健康安全研究所

\*<sup>3</sup> (一財) 日本食品検査

\*<sup>4</sup> 三重県保健環境研究所

\*<sup>5</sup> 名古屋市衛生研究所

\*<sup>6</sup> (一財) 食品分析開発センターSUNATEC

\*<sup>7</sup> 神奈川県衛生研究所

\*<sup>8</sup> 麻布大学

田中佑弥\*<sup>1</sup>, 杉浦涼介\*<sup>1</sup>, 足立健太郎\*<sup>2</sup>, 新海航輝\*<sup>2</sup>, 前田一行\*<sup>1,3</sup>, 中嶋佑一\*<sup>1</sup>, 吉成知也, 金丸京子\*<sup>1</sup>, 小林哲夫\*<sup>1</sup>, 安藤直子\*<sup>2</sup>, 木村真\*<sup>1</sup>: フザリウムのトリコテセン経路酵素遺伝子の進化に伴う基質特異性の変化. 日本マイコトキシン学会第83回学術講演会 (2019.1.11)

\*<sup>1</sup> 名古屋大学

\*<sup>2</sup> 東洋大学

\*<sup>3</sup> 明治大学

加田睦月\*<sup>1</sup>, 内ヶ島美岐子\*<sup>2</sup>, 吉成知也, 三宅司郎\*<sup>1</sup>, 小林直樹\*<sup>1</sup>, 小西良子\*<sup>1</sup>: ステリグマトシステインのELISAによるスクリーニング法の開発.

日本マイコトキシン学会第83回学術講演会 (2019.1.11)

\*<sup>1</sup> 麻布大学

\*<sup>2</sup> (株) 堀場製作所

Sugita-Konishi Y\*, Takeda N\*, Watanabe M,

Kobayashi N\*, Yoshinari T : Development of an analytical method for the simultaneous detection of modified 4,15-diacetoxyscirpenol and its presence in Japanese retail food.

58<sup>th</sup> Annual Meeting and ToxExpo (2019.3.13)

\* Azabu University

出水庸介：ペプチドフォルダマー創薬研究.

日本薬学会第139回年会シンポジウム：フォルダマーの魅力—新たな創薬への可能性— (2019.3)

出水庸介：中分子ペプチド医薬品開発に向けた規制上の課題と取組.

第4回レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2019.2)

学会発表：国内 (20)，国際 (6) …合計 (26)

三澤隆史，出水庸介：ヘリカルテンプレートペプチドの合成とpost-modificationによる機能化.

日本薬学会第139年会 (2019.3)

後藤千尋，三澤隆史，菊池裕，出水庸介：ヘリカル構造に着目した抗菌ペプチドの開発とその毒性評価に関する研究.

日本薬学会第139年会 (2019.3)

池田健太郎，柳瀬雄太，辻巖一郎，出水庸介：環状アミン構造を基盤とした新規環状ジヌクレオチド誘導体の創製.

日本薬学会第139年会 (2019.3)

辻巖一郎，合田幸広，出水庸介：日本薬局方試験法における有害試薬排除の検討.

日本薬学会第139年会 (2019.3)

森谷俊介<sup>\*1</sup>，柴崎初音<sup>\*1</sup>，桑田啓子<sup>\*2</sup>，今村保忠<sup>\*3</sup>，出水庸介，栗原正明<sup>\*4</sup>，橘高敦史<sup>\*1</sup>，杉山亨<sup>\*1</sup>：新規カチオン性グアニンアナログをもつPNAオリゴマー.

日本薬学会第139回年会 (2019.3)

<sup>\*1</sup> 帝京大学薬学部

<sup>\*2</sup> 名古屋大学ITbM

<sup>\*3</sup> 工学院大学

<sup>\*4</sup> 国際医療大学薬学部

出水庸介：二次構造制御を基盤としたペプチド創薬研究. 第1回新学術「ケモユビキチン」班会議・第2回ユビキチン研究会合同会議 (2019.1)

三澤隆史，大岡伸通，大庭誠<sup>\*</sup>，田中正一<sup>\*</sup>，内藤幹彦，出水庸介：細胞膜高透過性ペプチドフォルダマーの開発と核酸デリバリーへの応用.

第36回メディシナルケミストリーシンポジウム (2018.11)

\* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

出水庸介，三澤隆史，大岡伸通，服部隆行，内藤幹彦：ペプチドリガンドを利用した標的タンパク質分解誘導剤の開発.

第44回反応と合成の進歩シンポジウム (2018.11)

辻巖一郎，杉本直樹，出水庸介：化学合成による既存添加物の定量用標品の供給に関する研究.

日本食品衛生学会第114回学術講演会 (2018.11)

杉山亨<sup>\*1</sup>，柴崎初音<sup>\*1</sup>，森谷俊介<sup>\*1</sup>，桑田啓子<sup>\*2</sup>，今村保忠<sup>\*3</sup>，出水庸介，栗原正明<sup>\*4</sup>，橘高敦史<sup>\*1</sup>：正電荷を帯びたグアニン誘導体を持つPNAオリゴマーの合成.

第36回メディシナルケミストリーシンポジウム (2018.11)

<sup>\*1</sup> 帝京大学薬学部

<sup>\*2</sup> 名古屋大学ITbM

<sup>\*3</sup> 工学院大学

<sup>\*4</sup> 国際医療大学薬学部

三澤隆史，大岡伸通，大庭誠<sup>\*</sup>，田中正一<sup>\*</sup>，内藤幹彦，出水庸介：細胞膜高透過性ペプチドフォルダマーの開発と核酸デリバリーへの応用.

第62回日本関東支部大会 (2018.9)

\* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

辻巖一郎，三澤隆史，出水庸介：ジフェニルヘプタン骨格を有するエストロゲン受容体アンタゴニストの構造活性相関研究.

第62回日本関東支部大会 (2018.9)

三澤隆史，大岡伸通，大庭誠<sup>\*</sup>，田中正一<sup>\*</sup>，内藤幹彦，出水庸介：核酸デリバリーを志向した細胞膜高透過性ペプチドフォルダマーの開発.

## 第12回バイオ関連化学シンポジウム 大阪 (2018.9)

\* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

江藤諒<sup>\*1</sup>, 大庭誠<sup>\*1</sup>, 上田篤志<sup>\*1</sup>, 土井光暢<sup>\*2</sup>, 出水庸介, 栗原正明<sup>\*3</sup>, 田中正一<sup>\*1</sup>: 側鎖上にキラルなアセタールを有する環状ジ置換アミノ酸よりなるペプチドの二次構造解析.

第48回複素環化学討論会 (2018.9)

<sup>\*1</sup> 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

<sup>\*2</sup> 大阪薬科大学

<sup>\*3</sup> 国際医療大学薬学部

出水庸介, 三澤隆史, 辻巖一郎: Post-modificationによる官能基修飾可能な  $\alpha$ ,  $\alpha$ -ジ置換アミノ酸の設計と合成.

第48回複素環化学討論会 (2018.9)

三澤隆史, 大岡伸通, 大庭誠, 田中正一, 内藤幹彦, 出水庸介: 二次構造制御を基軸とした細胞膜高透過性ペプチドの開発.

第50回若手ペプチド夏の勉強会 (2018.8)

三澤隆史, 大岡伸通, 大庭誠<sup>\*</sup>, 田中正一<sup>\*</sup>, 内藤幹彦, 出水庸介: 二次構造制御を基盤とした膜透過性ペプチドの開発と核酸デリバリーへの応用.

第34回DDS学会 (2018.7)

\* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

三澤隆史, 大岡伸通, 大庭誠<sup>\*</sup>, 田中正一<sup>\*</sup>, 内藤幹彦, 出水庸介: 核酸医薬を細胞に導入するオリゴペプチドの開発.

第13回ケミカルバイオロジー学会年会 (2018.6)

\* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

辻巖一郎, 三澤隆史, 出水庸介: Post-modificationによる官能基修飾可能な  $\alpha$ ,  $\alpha$ -ジ置換アミノ酸の設計と合成.

第13回ケミカルバイオロジー学会年会 (2018.6)

江藤諒<sup>\*1</sup>, 大庭誠<sup>\*1</sup>, 上田篤志<sup>\*1</sup>, 土井光暢<sup>\*2</sup>, 出水庸介, 栗原正明<sup>\*3</sup>, 田中正一<sup>\*1</sup>: 側鎖上にのみ不斉中心を持つ環状ジ置換アミノ酸よりなるヘリカルペプチドの巻き方制御.

## 第16回次世代を担う有機化学シンポジウム (2018. 5)

<sup>\*1</sup> 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

<sup>\*2</sup> 大阪薬科大学

<sup>\*3</sup> 国際医療大学薬学部

江藤諒<sup>\*1</sup>, 大庭誠<sup>\*1</sup>, 上田篤志<sup>\*1</sup>, 土井光暢<sup>\*2</sup>, 出水庸介, 栗原正明<sup>\*3</sup>, 田中正一<sup>\*1</sup>: 側鎖にキラルなアセタールを有する4員環状ジ置換アミノ酸よりなるペプチドのヘリックス二次構造.

第28回福岡万有シンポジウム (2018.5)

<sup>\*1</sup> 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

<sup>\*2</sup> 大阪薬科大学

<sup>\*3</sup> 国際医療大学薬学部

国際学会 (6)

Eto R<sup>\*1</sup>, Oba M<sup>\*1</sup>, Ueda A<sup>\*1</sup>, Doi M<sup>\*2</sup>, Demizu Y, Kurihara M<sup>\*3</sup>, Tanaka M<sup>\*1</sup>: Helical secondary structures of peptides composed of cyclic amino acids with a chiral acetal moiety.

10<sup>th</sup> International Peptide Symposium (2018.12)

<sup>\*1</sup> 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

<sup>\*2</sup> 大阪薬科大学

<sup>\*3</sup> 国際医療大学薬学部

Misawa T, Ohoka N, Oba M<sup>\*</sup>, Tanaka M<sup>\*</sup>, Naito M, Demizu Y: Development of cell penetrating peptide foldamers for siRNA delivery.

10<sup>th</sup> International Peptide symposium (2018.12)

\* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

Sugiyama T<sup>\*1</sup>, Shibasaki H<sup>\*1</sup>, Moriya S<sup>\*1</sup>, Kuwata K<sup>\*2</sup>, Imamura Y<sup>\*3</sup>, Demizu Y, Kurihara M<sup>\*4</sup>, Kittaka T<sup>\*1</sup>: PNA oligomers possessing PreQ1 as a cationic analogue of guanine.

10<sup>th</sup> International Peptide Symposium (2018.12)

<sup>\*1</sup> 帝京大学薬学部

<sup>\*2</sup> 名古屋大学ITbM

<sup>\*3</sup> 工学院大学

<sup>\*4</sup> 国際医療大学薬学部

Demizu Y, Misawa T, Tsuji G: Peptide foldamers in drug discovery.

*Bordeaux 2018 Symposium on Foldamers*, France (2018.9).

Oba M<sup>\*1</sup>, Furukawa K<sup>\*1</sup>, Toyama K<sup>\*1</sup>, Opiyo G O<sup>\*1</sup>, Demizu Y, Kurihara M<sup>\*2</sup>, Doi M<sup>\*3</sup>, Tanaka M<sup>\*1</sup>: **Low pH-responsive cyclic  $\alpha$ ,  $\alpha$ -disubstituted  $\alpha$ -amino acids for controlling secondary structures of peptide foldamers.**  
*Bordeaux 2018 Symposium on Foldamers*, France (2018.9).

<sup>\*1</sup> 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

<sup>\*2</sup> 国際医療大学薬学部

<sup>\*3</sup> 大阪薬科大学

Misawa T, Ohoka N, Oba M<sup>\*</sup>, Tanaka M<sup>\*</sup>, Naito M, Demizu Y : **Development of helix-stabilized amphipathic cell penetrating peptides for siRNA delivery.**  
35<sup>th</sup> European peptide symposium (2018. 8)

<sup>\*</sup> 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

山田崇裕<sup>\*</sup>, 蜂須賀暁子, 曾我慶介 : 非破壊式食品放射能測定装置を用いた食品中の放射性物質測定手法の評価.

第55回アイソトープ・放射線研究発表会 (2018.7.5)

<sup>\*</sup> 近畿大学

曾我慶介, 蜂須賀暁子, 近藤一成 : 食品中の天然放射性核種ポロニウム分析法の簡便化に向けた検討.

フォーラム2018衛生薬学・環境トキシコロジー (2018.9.10)

Yamada T<sup>\*</sup>, Hachisuka A, Soga K : **Performance evaluation of the equipment for measuring radioactivity in whole foodstuff without sample preparation techniques after the Fukushima NPP accident.**

9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas (2018.9.27)

<sup>\*</sup> Kindai University

Hosono M<sup>\*1</sup>, Oriuchi N<sup>\*2</sup>, Ukon N<sup>\*2</sup>, Nagatsu K<sup>\*3</sup>, Ito T<sup>\*1</sup>, Yamanishi H<sup>\*1</sup>, Matsuda T<sup>\*1</sup>, Yamada T<sup>\*1</sup>, Hachisuka A, Nakamura Y<sup>\*4</sup>: **Evidence-based safety management for short-lived alpha emitters by grant of Nuclear Regulatory Agency of Japan.**

European Association of Nuclear Medicine '18 (2018.10.15)

<sup>\*1</sup> Kindai University

<sup>\*2</sup> Fukushima Medical University

<sup>\*3</sup> National Institute of Radiological Sciences

<sup>\*4</sup> Japan Radioisotope Association

蜂須賀暁子 : 放射線施設の移転 (新設及び廃止) を経験して.

平成30年度放射線安全取扱部会年次大会 (2018.10.25)

細野真<sup>\*1</sup>, 織内昇<sup>\*2</sup>, 右近直之<sup>\*2</sup>, 永津弘太郎<sup>\*3</sup>, 伊藤哲夫<sup>\*1</sup>, 山西弘城<sup>\*1</sup>, 松田外志朗<sup>\*1</sup>, 山田崇裕<sup>\*1</sup>, 蜂須賀暁子, 中村吉秀<sup>\*4</sup> : 短寿命  $\alpha$  核種等のRI 利用における合理的な放射線安全管理のあり方に関する研究.

第58回日本核医学会学術総会 (2018.11.16)

<sup>\*1</sup> 近畿大学

<sup>\*2</sup> 福島医科大学

<sup>\*3</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*4</sup> Kindai University Atomic Energy Research Institute

長谷川功紀<sup>\*1</sup>, 深瀬浩一<sup>\*2</sup>, 蜂須賀暁子, 平林容子, 矢野恒夫<sup>\*2</sup> : アルファ線核医学治療の薬剤開発に向けた取扱い安全基準構築への考察.

第58回日本核医学会学術総会 (2018.11.16)

<sup>\*1</sup> 京都薬科大学

<sup>\*2</sup> 大阪大学

曾我慶介, 松田りえ子<sup>\*</sup>, 鍋師裕美, 今村正隆, 堤智昭, 近藤一成, 蜂須賀暁子 : 2017年度公表の食品中放射能検査結果の解析.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

<sup>\*</sup> (公社) 日本食品衛生協会

細野真<sup>\*1</sup>, 織内昇<sup>\*2</sup>, 右近直之<sup>\*2</sup>, 永津弘太郎<sup>\*3</sup>, 伊藤哲夫<sup>\*1</sup>, 山西弘城<sup>\*1</sup>, 松田外志朗<sup>\*1</sup>, 山田崇裕<sup>\*1</sup>, 蜂須賀暁子 : 短寿命  $\alpha$  核種等のRI利用における合理的な放射線安全管理のあり方に関する研究.

日本放射線安全管理学会第17回学術大会 (2018.12.6)

<sup>\*1</sup> 近畿大学

<sup>\*2</sup> 福島医科大学

<sup>\*3</sup> 放射線医学総合研究所

蜂須賀暁子, 岸本武士<sup>\*1</sup>, 國分祐司<sup>\*2</sup>, 佐治英郎<sup>\*3</sup>, 三宅定明<sup>\*4</sup>, 山田崇裕<sup>\*5</sup>, 杉山英男<sup>\*6</sup> : 食品中の放射性物

質ポロニウム210の衛生試験法.

日本薬学会第139会年会 (2019.3.21)

\*<sup>1</sup> 日本分析センター

\*<sup>2</sup> 原子力機構核燃料サイクル工学研究所

\*<sup>3</sup> 京都大学

\*<sup>4</sup> 埼玉県衛生研究所

\*<sup>5</sup> 近畿大学

\*<sup>6</sup> 保健医療科学院

木俣真弥, 石垣拓実, 曾我慶介, 岸根雅宏\*, 高畠令王奈\*, 橘田和美\*, 中村公亮, 近藤一成: ダイズにおけるゲノムDNAの位置に依存したDNA分解度の違い.

日本食品化学学会第24回 総会・学術大会 (2018.7.5)

\* (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

菅野陽平\*, 青塚圭二\*, 坂田こずえ, 中村公亮, 鈴木智宏\*, 近藤一成: LAMP法を用いた有毒キノコ迅速判別法の構築—ツキヨタケとクサウラベニタケの同時検出に関する検討.

日本食品化学学会 第24回 総会・学術大会 (2018.7.5)

\* 北海道立衛生研究所

Nakamura K, Kimata S, Soga K, Ohmori K<sup>\*1</sup>, Kishine M<sup>\*2</sup>, Mano J<sup>\*2</sup>, Takabatake R<sup>\*2</sup>, Kitta K<sup>\*2</sup>, Kondo K: Effect of food additives in processed foods on endogenous gene detection.

132<sup>nd</sup> AOAC Annual Meeting & Exposition (2018.8.29)

\*<sup>1</sup> Kanagawa Prefectural Institute of Public Health

\*<sup>2</sup> Food Research Institute, NARO

曾我慶介, 中村公亮, 岸根雅宏<sup>\*1</sup>, 高嶋康晴<sup>\*2</sup>, 宮原平<sup>\*3</sup>, 木俣真弥, 真野潤一<sup>\*1</sup>, 高畠令王奈<sup>\*1</sup>, 小関良宏<sup>\*3</sup>, 橘田和美<sup>\*1</sup>, 近藤一成: リアルタイムPCRを用いたコーンフレーク中のトウモロコシゲノムDNA検出法の検討. 第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

\*<sup>1</sup> (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

\*<sup>2</sup> 独立行政法人農林水産消費安全技術センター

\*<sup>3</sup> 東京農工大学

木俣真弥, 中村公亮, 曾我慶介, 岸根雅宏\*, 高畠令王

奈\*, 橘田和美\*, 近藤一成: 遺伝子組換えバレイショ Y9系統とX17系統を対象とした検知試験法の開発. 第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

\* (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

曾我慶介, 中村公亮, 石垣拓実, 木俣真弥, 大森清美<sup>\*1</sup>, 岸根雅宏<sup>\*2</sup>, 真野潤一<sup>\*2</sup>, 高畠令王奈<sup>\*2</sup>, 橘田和美<sup>\*2</sup>, 名古屋博之<sup>\*3</sup>, 近藤一成: 未承認遺伝子組換えサケ検知法の開発.

日本薬学会第139会年会 (2019.3.21)

\*<sup>1</sup> 神奈川県衛生研究所

\*<sup>2</sup> (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

\*<sup>3</sup> (独) 水産研究・教育機構

中村公亮, 木俣真弥, 秋本智, 志波優<sup>\*1</sup>, 曾我慶介, 田中さやか<sup>\*1</sup>, 権藤崇裕<sup>\*2</sup>, 明石良<sup>\*2</sup>, 近藤一成: SITE-seq法とオンラインツールを用いたゲノム編集におけるオフターゲット効果の解析結果の比較と評価.

日本薬学会第139会年会 (2019.3.23)

\*<sup>1</sup> 東京農業大学

\*<sup>2</sup> 宮崎大学

Kondo K, Kato R, Sakata K, Nakamura K: Mitochondria-resident non-releasable AIF mutant may regulate gene expressions related to cell differentiation and proliferation. 2018 ASCB EMBO Meeting (2018.12.9)

加藤怜子, 坂田こずえ, 近藤一成: Apoptosis-inducing factorのL101/103G変異体は細胞増殖と神経突起形成を阻害する.

第41回日本分子生物学会年会 (2018.12.4)

為広紀正, 安達玲子, 近藤一成: コチニールアレルギーモデルを用いたアレルギー病態の解析.

第67回日本アレルギー学会学術大会 (2018.6.22)

福富友馬<sup>\*1</sup>, 南崇史<sup>\*2</sup>, 中谷英仁<sup>\*3</sup>, 南崇之<sup>\*1</sup>, 笹川吉清<sup>\*2</sup>, 福島雅夫<sup>\*2</sup>, 上出庸介<sup>\*1</sup>, 関谷潔史<sup>\*1</sup>, 斎藤博久<sup>\*4</sup>, 手島玲子, 安達玲子, 谷口正実<sup>\*1</sup>: グルパール19S含有石鹸の使用により発症した小麦アレルギー症例における特異的IgG4抗体価と疾患予後.

第67回日本アレルギー学会学術大会 (2018.6.23)

<sup>\*1</sup> 国立病院機構相模原病院

<sup>\*2</sup> ニットーボーメディカル (株)

<sup>\*3</sup> 大阪大学

<sup>\*4</sup> 国立成育医療研究センター

Miyazaki A<sup>\*1</sup>, Watanabe S<sup>\*1</sup>, Hirao T<sup>\*1</sup>, Kokutani R<sup>\*2</sup>, Minegishi Y<sup>\*2</sup>, Ogata K<sup>\*3</sup>, Nagatomi Y<sup>\*3</sup>, Tamehiro N, Sakai S, Adachi R: Specific Detection of Food Allergens (Wheat, Buckwheat, and Peanut) by Real-Time PCR Methods Using the Reference Plasmids.

132nd AOAC Annual Meeting & Exposition (2018.8.27)

<sup>\*1</sup> House Foods Group Inc.

<sup>\*2</sup> NIPPON GENE Co., Ltd.

<sup>\*3</sup> FASMAC Co., Ltd.

Tamehiro N, Adachi R, Kondo K: Pathological animal model of cochineal dye allergy.

第47回日本免疫学会学術集会 (2018.12.11)

安武大介<sup>\*</sup>, 佐藤環<sup>\*</sup>, 堀就英<sup>\*</sup>, 渡邊敬浩: トータルダイエット試料によるデクロランプラス類の摂取量推定 (全国調査).

第27回環境化学討論会 (2018.5.22)

<sup>\*</sup> 福岡県保健環境研究所

Yasutake D<sup>\*</sup>, Hori T<sup>\*</sup>, Sato T<sup>\*</sup>, Watanabe T: Estimation of dietary intake of dechlorane plus and related compounds in a Japanese national survey.

38th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2018) (2018.8.26)

<sup>\*</sup> Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

渡邊敬浩, 松田りえ子, 畠山智香子: 1つのサンプルの結果から検査が成立する場合に関する統計学的考察.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

安武大介<sup>\*</sup>, 佐藤環<sup>\*</sup>, 堀就英<sup>\*</sup>, 渡邊敬浩: マーケットバスケット方式によるポリ臭素化ジフェニルエーテルの摂取量推定.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30)

<sup>\*</sup> 福岡県保健環境研究所

K. Kubota, H. Amanuma, M. Tamura, K. Tamai<sup>\*1</sup>, M. Shimojima<sup>\*2</sup>, S. Shibuya<sup>\*3</sup>, Y. Sakurai<sup>\*4</sup>, M. Komatsu<sup>\*4</sup>, F. Kasuga

Estimating the Burden of Foodborne Illness for Campylobacter, Salmonella and Vibrio parahaemolyticus in Japan 2006-2015 (日本におけるカンピロバクター, サルモネラおよび腸炎ビブリオの食品由来感染症被害実態の推定, 2006-2015年)

International Association for Food Protection, 2018 Annual Meeting (2018.7.10)

<sup>\*1</sup> (株) ミロクメディカルラボラトリー

<sup>\*2</sup> (株) ビー・エム・エル

<sup>\*3</sup> LSIメディエンス (株)

<sup>\*4</sup> 宮城県医師会健康センター

登田美桜, 畠山智香子, 渡邊敬浩: 残留農薬の検査部位の国際的整合性について.

第114回日本食品衛生学会学術講演会 (2018.11.15)

南谷臣昭<sup>\*1</sup>, 谷口賢<sup>\*2</sup>, 登田美桜: 高等植物による食中毒事例に対応するための一斉試験法の検討.

平成30年度地方衛生研究所全国協議会 東海・北陸支部衛生化学部会 (2019.1.31)

<sup>\*1</sup> 岐阜県保健環境研究所

<sup>\*2</sup> 名古屋市衛生研究所

Saito Y, Ishii-Watabe A: Perspective on Biomarker Assay Validation in Japan based on the results of the questionnaire survey.

12th WRIB meeting (2018.4.11)

中村亮介: 薬の副作用とHLA —重症薬疹を例に一.

第2回関東HLA研究会学術集会 (2018.6.9)

中村亮介, 岡本 (内田) 好海, 千貫祐子<sup>\*</sup>, 齋藤嘉朗, 森田栄伸<sup>\*</sup>: セツキシマブによる牛肉アレルギー患者血清中IgE架橋活性の解析.

第67回日本アレルギー学会学術大会 (2018.6.22)

<sup>\*</sup> 島根大学

秋山晴代<sup>\*1</sup>, 中村亮介, 櫻井大樹<sup>\*2</sup>, 平野吉彬<sup>\*1</sup>, 根来孝治<sup>\*1</sup>, 岡本美孝<sup>\*2</sup>: 舌下免疫療法実施時における血清中中和抗体活性のin vitro評価法の開発.

第67回日本アレルギー学会学術大会 (2018.6.22)

---

\*<sup>1</sup> 帝京平成大学

\*<sup>2</sup> 千葉大学

Saito Y: Pharmacogenomic research and its implementation in Asian region.

18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (2018.7.4)

齋藤嘉朗, 齊藤公亮: マイクロサンプリングに関する行政動向と今後の展望.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18)

二橋陽一郎\*, 大道浩三\*, 原田智隆\*, 山本鉄斎\*, 中井恵子\*, 齋藤嘉朗, 家木克典\*: マイクロサンプリングに関わるトキシコキネティクス評価の分析技術における課題 (JBF DG2017-29研究活動結果報告より)

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18)

---

\* JBF

齋藤嘉朗, 中村亮介: 非げっ歯類ゲノム解析への臨床からの期待.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

中村亮介, 荒川憲昭, 前川京子\*, 齋藤嘉朗: 試料調製条件が血漿プロテオーム解析に及ぼす影響について.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

---

\* 同志社女子大学

蓑毛博文\*, 井上芳巳\*, 岩知道貴子\*, 小田部耕二\*, 久保野勝男\*, 奈良岡準\*, 東山真澄\*, 本多久美\*, 松本忠郎\*, 石原朋子\*, 太田ひろみ\*, 木野潤一\*, 佐々木大祐\*, 中村優太\*, 藤澤希望\*, 安井秀樹\*, 齋藤嘉朗, 豊田直人\*: 非臨床分野における臨床検査測定法バリデーション指針作成 (中間報告).

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

---

\* 日本臨床化学会

佐井君江, 今任拓也, 梶波康二\*, 齋藤嘉朗: 日本人症例における向精神薬関連筋障害に特徴的な因子探索の中間解析.

第8回日本レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2018.9.8)

---

\* 金沢医科大学

青木良子, 鈴木菜穂, 前田初代, 齋藤嘉朗: 遺伝子・ゲノム解析技術を用いた体外診断システムの臨床的有用性の評価 — 公的遺伝子変異データベースの活用.

第8回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2018.9.8)

竹山麻由, 今任拓也, 佐井君江, 堀雄史\*, 木村通男\*, 川上純一\*, 平松達雄\*, 大江和彦\*, 片岡洋子\*, 横井英人\*, 野尻千夏\*, 中島直樹\*, 平澤典保\*, 齋藤嘉朗: 医療情報データベースを用いたデノスマブによる低カルシウム血症に対する行政施策の影響評価.

第4回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2018.9.15)

---

\*<sup>1</sup> 浜松医科大学

\*<sup>2</sup> 東京大学病院

\*<sup>3</sup> 香川大学病院

\*<sup>4</sup> 九州大学病院

\*<sup>5</sup> 東北大学大学院

齋藤嘉朗, 中村亮介, 柴田寛子, 石井明子: バイオ医薬品の免疫原性に関するリスクマネジメントプランの解析.

第25回日本免疫毒性学会学術年会 (2018.9.18-19)

中村亮介, 岡本 (内田) 好海, 荒川憲昭, 橋井則貴, 松澤由美子, 石井明子, 齋藤嘉朗: HLA-B\*15:02の提示ペプチドのレパトアに及ぼす芳香族抗てんかん薬の影響.

第25回日本免疫毒性学会学術年会 (2018.9.18-19)

Saito Y, Imatoh T, Kajimami K\*, Sai K: Mid-term analysis of exploring genetic factors associated with psychotropic drug-related myopathy in Japanese.

2018 International meeting on 22nd Microsomal Drug Oxidations and 33rd JSSX (2018.10.2)

---

\* Kanazawa Medical University

Maekawa K\*, Ri M\*, Tohkin M\*, Miyata N\*, Iida S\*, Saito Y: Serum lipidomics for exploring biomarkers of bortezomib therapy in patients with multiple myeloma. 2018 International meeting on 22nd Microsomal Drug Oxidations and 33rd JSSX (2018.10.2)

---

\* Nagoya City University

Saito K: Lipid profiling as a tool for understanding mechanisms of drug induced toxicity.  
2018 International meeting on 22nd Microsomal Drug Oxidations and 33rd JSSX (2018.10.4)

Yagi Y<sup>\*1</sup>, Kimura T<sup>\*2</sup>, Watanabe C<sup>\*3</sup>, Moriwaki H<sup>\*3</sup>, Okiyama Y, Tanaka S<sup>\*4</sup>, Honma T<sup>\*3</sup>, Fukuzawa K<sup>\*5</sup>: Comprehensive protein-ligand interaction analysis: FMO calculation on the complexes of a human protease renin and its inhibitors.  
Chem-Bio Informatics Society (CBI) Annual Meeting 2018 (2018.10.9-11)

<sup>\*1</sup> Okayama University of Science

<sup>\*2</sup> Konan Chemical Industry Co. Ltd.

<sup>\*3</sup> RIKEN

<sup>\*4</sup> Kobe University

<sup>\*5</sup> Hoshi University

Nagase S<sup>\*</sup> Yuki H<sup>\*</sup>, Takaya D<sup>\*</sup>, Okiyama Y, Watanabe C<sup>\*</sup>, Honma T<sup>\*</sup>: Bioisosteric conversion based on electrostatic potential.  
Chem-Bio Informatics Society (CBI) Annual Meeting 2018 (2018.10.9-11)

<sup>\*</sup> RIKEN

齋藤嘉朗, 今任拓也, 佐井君江, JSAR Research Group, 中村亮介: 重症薬疹に関するゲノムバイオマーカー探索研究の進捗と今後の課題.  
日本人類遺伝学会第63回大会 (2018.10.11)

孫雨晨, 飯地亮太, 齊藤公亮, 齋藤嘉朗: IC/MSによる血清及び尿中極性化合物の網羅的分析法の確立.  
第12回メタボロームシンポジウム (2018.10.21)

Nakamura R, Okamoto-Uchida Y, Hashii N, Arakawa N, Matsuzawa Y, Ishii A, Saito Y: Influence of aromatic antiepileptic drug binding on the peptide repertoire of HLA-B\*15:02.  
iSCAR 2018 (2018.11.10)

孫雨晨, 飯地亮太, 齊藤公亮, 齋藤嘉朗: トランスポーター研究に有用なIC/MSを用いたメタボロミクス手法の確立.  
第3回トランスポーター研究会関東部会 (2018.11.17)

佐井君江: ISO IDMP (Identification of Medicinal Products) と医薬品コード標準化の動向.  
第38回医療情報学連合大会 (2018.11.23)

佐井君江: ISO IDMP (Identification of Medicinal Product) 国際規格の実装に向けた国際動向ならびに国内導入における課題.  
第38回医療情報学連合大会 (2018.11.24)

齋藤嘉朗, 今任拓也, 佐井君江, JSAR Research Group, 中村亮介: 国立衛研における重症薬疹に関するゲノムバイオマーカー研究の進捗と添付文書比較.  
第28回日本医療薬学会年会 (2018.11.24)

Nakamura R, Akiyama H<sup>\*1</sup>, Sakurai D<sup>\*2</sup>, Matsuzawa Y, Saito Y, Okamoto Y<sup>\*2</sup>: Crosslinking ability of the serum IgE correlates to the effectiveness of allergen immunotherapy for Japanese cedar pollen.  
WISC 2018 (2018.12.8)

<sup>\*1</sup> Teikyo Heisei University

<sup>\*2</sup> Chiba University

中村亮介: 重症薬疹の発症と関連するHLA型とその発症機序における役割.  
第1回医薬品毒性機序研究会 (2019.1.11)

Nakamura R, Okamoto-Uchida Y, Arakawa N, Hashii N, Matsuzawa Y, Ishii A, Saito Y: Alteration of the peptide length on the HLA-B\*15:02 after exposure to three aromatic antiepileptic drugs.  
4th International SJS symposium (2019.1.26)

潮田明<sup>\*1</sup>, 今任拓也, 森谷純治<sup>\*2</sup>, 齋藤嘉朗, 松永雄亮<sup>\*2</sup>, 沼生智晴<sup>\*2</sup>, 見田活<sup>\*2</sup>, 阿川英之<sup>\*2</sup>, 関口遼<sup>\*2</sup>: 人工知能を活用した副作用症例報告書の試行的評価.  
第5回日本医療安全学会学術総会 (2019.2.10)

<sup>\*1</sup> 国立研究開発法人産業技術総合研究所・人工知能研究センター

<sup>\*2</sup> 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

齋藤嘉朗, 中村亮介, 齊藤公亮: バイオマーカー測定における留意点文書の策定状況と今後の展望.  
第10回JBFシンポジウム (2019.2.12)

齋藤嘉朗, 齊藤公亮: マイクロサンプリングに関わる海

外の状況.

第10回JBFシンポジウム (2019.2.14)

齊藤公亮, 齊藤嘉朗: 生体中高濃度・低濃度代謝物バイオマーカーのバイオアナリシス.

第10回JBFシンポジウム (2019.2.14)

孫雨晨, 新田真一郎\*, 齊藤公亮, 吉田徳幸, 井上貴雄, 細貝龍太\*, 中井恵子\*, 齊藤嘉朗: LC/MSによるアンチセンス医薬品の測定法開発と標準化への取り組み.

第10回JBFシンポジウム (2019.2.14)

---

\* LSIメディエンス株式会社

齊藤嘉朗, 今任拓也, 青木良子, 佐井君江, 頭金正博\*: 主として低分子分子標的薬6種に関する日中韓の添付文書比較.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

---

\* 名古屋市・薬

青木良子, 前田初代, 鈴木菜穂, 丸野有利子, 佐井君江, 齊藤嘉朗: 医薬品の有効性・安全性に関わる患者集団情報の収集—「FDA臨床試験スナップショット」の活用.

日本薬学会第139年会 (2019.3.21)

齊藤嘉朗, 中村亮介: 重症薬疹の発症機序と新規治療戦略.

日本薬学会第139年会 (2019.3.22)

中村亮介, 秋山晴代<sup>\*1</sup>, 櫻井大樹<sup>\*2</sup>, 松澤由美子, 齊藤嘉朗, 岡本美孝<sup>\*2</sup>: スギ花粉症の舌下免疫療法の奏効性は血清中IgEの架橋能と相関する.

日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

---

<sup>\*1</sup> 帝京平成大学

<sup>\*2</sup> 千葉大学

高木篤也, 児玉幸夫: 国立医薬品食品衛生研究所の新動物実験施設の特徴と概要

第65回日本実験動物学会総会 (2018.5.17)

横田理: 精子形成におけるビタミンAの役割の解明を目指して

日本アンドロロジー学会第37回学術大会 (2018.6.16)

Takahashi Y, Yasuhiko Y, Ikeno E, Kanno J, Hirabayashi

Y: Modulation of Shh signaling is involved in intervertebral disc/vertebral body (IVD/VB) patterning and resegmentation of neural arches in mouse vertebral column formation.

(Shhシグナルの調節はマウスの脊椎骨形成における椎間板/椎体パターンと神経弓の再分節化に関与している)

第70回日本細胞生物学会・第51回日本発生生物学会合同大会 (2018.6.8)

高橋祐次: ナノ材料の安全性確保に関する生物試験の現状と課題, 第58回澱粉研究懇談会 (2018.6.8)

---

Ono R, Yasuhiko Y, Aisaki KI, Kitajima S, Kanno J\*, Hirabayashi Y: DSB Repair by Capture of Unintentional Sequences, an Emerging New Possible Risk for the Genome Editing ASAITOX 2018, (2018.6.19) Pattaya, Thailand

---

\* 日本バイオアッセイ研究センター

Natsume-Kitatani Y<sup>\*1</sup>, Aisaki KI, Kitajima S, Ghosh S<sup>\*2</sup>, Kitano H<sup>\*2</sup>, Mizuguchi K<sup>\*1</sup>, Kanno J<sup>\*3</sup>: Percellome meets Garuda: toxicogenomics approach to evaluate the toxicity of valproic acid.

the 8th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASAITOX2018) (2018.6.19)

---

<sup>\*1</sup> National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition, Japan

<sup>\*2</sup> The Systems Biology Institute, Japan

<sup>\*3</sup> Japan Organization of Occupational Health and Safety

Natsume-Kitatani Y<sup>\*1</sup>, Aisaki KI, Kitajima S, Ghosh S<sup>\*2</sup>, Kitano H<sup>\*2</sup>, Mizuguchi K<sup>\*1</sup>, Kanno J<sup>\*3</sup>: Inferred role of crosstalk between PPAR $\alpha$  and ER signaling pathways in the toxicity of valproic acid: systems toxicology approach.

International Society for Computational Biology (ISMB) 2018 (2018. 7.10)

---

<sup>\*1</sup> National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition, Japan

<sup>\*2</sup> The Systems Biology Institute, Japan

<sup>\*3</sup> Japan Organization of Occupational Health and Safety

菅野純\*, 小野竜一, 相崎健一, 北嶋聡:「新型」反復曝露試験における基線反応と過渡反応の分子メカニズム解析—ヒストン修飾を中心に—.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

\* 日本バイオアッセイ研究センター

北嶋聡, 種村健太郎<sup>\*1</sup>, 菅野純<sup>\*2</sup>: シックハウス症候群レベルの室内揮発性有機化合物の吸入暴露の際の海馬Percellomeトキシコゲノミクスによる中枢影響予測と情動認知行動解析.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18)

<sup>\*1</sup> 東北大学

<sup>\*2</sup> 日本バイオアッセイ研究センター

小野竜一, 田埜慶子, 安田智, 安彦行人, 相崎健一, 北嶋聡, 菅野純\*, 佐藤陽治, 平林容子: ゲノム編集を利用したヒト遺伝子治療における新たなリスクの可能性  
第45回日本毒性学会学術年会, (2018.7.19)

\* 日本バイオアッセイ研究センター

夏目やよい<sup>\*1</sup>, 相崎健一, 北嶋聡, 水口賢司<sup>\*1</sup>, 菅野純<sup>\*2</sup>: TargetMineによる標的予測.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

<sup>\*1</sup> 医薬基盤・健康・栄養研究所

<sup>\*2</sup> 日本バイオアッセイ研究センター

高橋祐次, 相磯成敏<sup>\*1</sup>, 大西誠<sup>\*1</sup>, 石丸直澄<sup>\*2</sup>, 菅野純<sup>\*1</sup>: マクロファージの機能に着目したナノマテリアルのマウス吸入ばく露による慢性影響評価,

第45回日本毒性学会学術年会 2018.7.18 (大阪)

<sup>\*1</sup> 日本バイオアッセイ研究センター

<sup>\*2</sup> 徳島大学

平林容子: シンポジウム15 非低分子医薬品の安全性評価戦略について「核酸医薬品とその安全性評価戦略」

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

Uchida E, Naito Y, Ono R, Hirabayashi Y, Inoue T, Sato Y: Safety assessment of CRISPR-Cas9 genome editing for human gene therapy

第24回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2018.7.27)

Ono R, Yoshioka Y\*, Furukawa Y, Kitajima S, Ochiya T\*, Hirabayashi Y: Standardization of exosome isolation in mice corresponding to toxicity test Japanese Society of Extracellular Vesicles Conference 2018 (2018.8.30.)

\* 国立がん研究センター研究所

Ono R, Tano K, Yasuda S, Yasuhiko Y, Aisaki KI, Kitajima S, Kanno J\*, Sato Y, Hirabayashi Y: A possible risk of genome editing for human gene therapy the 54th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2018), (2018.9.3) Brussels, Belgium

\* 日本バイオアッセイ研究センター

Kanno J\*, Kitajima S, Ono R, Aisaki KI: Percellome Toxicogenomics Project: Newly Designed Repeated Dose Study.

the 54th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2018), (2018.9.4)

\* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Yamada T, Matsumoto M, Kitajima S, Aisaki KI, Kanno J\*, Hirose A: Category Assessment of Repeated-dose Hepatotoxicity of Phenolic Benzotriazoles for OECD IATA Case Studies Project in 2016.

the 54th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2018), (2018.9.3)

\* Japan Organization of Occupational Health and Safety

横田理, 武田健\*: 大気由来超微小粒子胎仔期曝露により惹起される不安様行動とそれに関連した脳神経回路の同定

第62回日本薬学会関東支部大会 (2018.9.15)

\* 東京理科大学薬学部

横田理, 佐藤央\*, 武田健\*: 微小粒子胎仔期曝露は慢性的にセロトニン神経活性化を介して不安様行動を惹起する

第4回日本レギュラトリーサイエンス学会 (2018.9.15)

\* 東京理科大学薬学部

山本雅也：化審法と生殖発生毒性試験ガイドライン  
第35回生殖・発生毒性学東京セミナー (2018.9.28)

横田理：父親の視点からみるDOHaDの重要性と意義：  
受精卵の遺伝子発現制御を司る雄性生殖細胞系列のエピ  
ゲノムに着目して  
第26回 DOHaD寺子屋研究会 (2019.1.26)

平林容子：α線核医学治療薬とレギュラトリーサイエン  
ス：安全性評価に向けた考察  
第2回QiSSシンポジウム (2019.3.9)

Taquahashi Y, Yokota S, Morita K, Tsuji M, Hirabayashi  
Y, Hirose A, Kanno J\*: Development of Whole Body  
Inhalation System for Well-Dispersed Nanomaterials  
Toxicity Testing -Taquann Direct-Injection Whole Body  
Inhalation System-  
58th Annual Meeting of the Society of Toxicology,  
Baltimore (2019.3.12)

\* Japan Organization of Occupational Health and  
Safety

平林容子：シンポジウム23 細胞レベルの機能低下によ  
る恒常性システムの破綻と老化機構「2Gy全身照射によ  
る遷延性の造血幹細胞障害と加齢影響」  
第124回日本解剖学会総会全国学術集会 (2019.3.29)

石田誠一：In vitro細胞培養系を用いた肝薬物動態、薬  
物性肝障害評価系の動向。  
HAB研究機構第25回学術年会 (2018.5.24)

渡隆爾<sup>\*1</sup>, 柿木基治<sup>\*1</sup>, 草野一富<sup>\*1</sup>, 押方歩<sup>\*2</sup>, 竹澤俊  
明<sup>\*2</sup>, 山崎ちひろ<sup>\*3</sup>, 石田雄二<sup>\*3</sup>, 立野知世<sup>\*3</sup>, 黒田幸恵,  
石田誠一：ヒト肝細胞におけるシトクロムP450 (CYP)  
活性および肝特異的機能を賦活化するコラーゲンペトリ  
ゲル膜チャンバーを用いた新規長期培養法。  
HAB研究機構第25回学術年会 (2018.5.24)

<sup>\*1</sup> エーザイ

<sup>\*2</sup> 農研機構

<sup>\*3</sup> フェニックスバイオ

佐藤琢<sup>\*1</sup>, 杉浦慎治<sup>\*1</sup>, 進和美<sup>\*1</sup>, 長崎玲子<sup>\*1</sup>, 石田誠  
一, 菊池きよ美<sup>\*2</sup>, 柿木基治<sup>\*2</sup>, 金森敏幸<sup>\*1</sup>：圧力駆動  
型Microphysiological Systemを用いた連結培養による  
抗がん剤プロドラッグの影響評価。

HAB研究機構第25回学術年会 (2018.5.24)

<sup>\*1</sup> 産総研

<sup>\*2</sup> エーザイ

佐藤琢<sup>\*1</sup>, 杉浦慎治<sup>\*1</sup>, 進和美<sup>\*1</sup>, 長崎玲子<sup>\*1</sup>, 石田誠一,  
菊池きよ美<sup>\*2</sup>, 柿木基治<sup>\*2</sup>, 金森敏幸<sup>\*1</sup>：マルチスルー  
プット可能な圧力駆動型Microphysiological Systemプ  
ラットフォームの開発。  
化学とマイクロ・ナノシステム学会 第37回研究会  
(2018.5.28)

<sup>\*1</sup> 産総研

<sup>\*2</sup> エーザイ

佐藤薫：iPS細胞から分化誘導したヒト神経細胞を用い  
た安全性評価法開発の取り組み。  
食品衛生学会シンポジウム (2018.5.30)

Satoh T<sup>\*1</sup>, Sugiura S<sup>\*1</sup>, Shin K<sup>\*1</sup>, Onuki-Nagasaki  
R<sup>\*1</sup>, Ishida S, Kikuchi K<sup>\*1</sup>, Kakiki M<sup>\*2</sup>, Kanamori  
T<sup>\*1</sup>：A MULTI-THROUGHPUT MULTI-ORGAN-  
ON-A-CHIP ON A PRESSURE-DRIVEN MEDIUM  
CIRCULATION PLATFORM.  
ISSMM 2018 (2018.6.19-21)

<sup>\*1</sup> 産総研

<sup>\*2</sup> エーザイ

我那覇一冴<sup>\*</sup>, 稲村恒亮<sup>\*</sup>, 坂田望<sup>\*</sup>, 古水雄志<sup>\*</sup>, 石田  
誠一, 松本陽子<sup>\*</sup>, 松下琢<sup>\*</sup>：ハイブリッドリボソーム  
を用いた肝がん幹細胞の増殖抑制効果に関する研究。  
第55回化学関連支部合同九州大会 (2018.6.30)

<sup>\*</sup> 崇城大学

坂田望<sup>\*1</sup>, 中村茉耶<sup>\*1</sup>, 水民敬浩<sup>\*1</sup>, 稲村恒亮<sup>\*1</sup>, 古水  
雄志<sup>\*1</sup>, 岩佐卓哉<sup>\*2</sup>, 佐々木皓平<sup>\*2</sup>, 渡邊理恵<sup>\*2</sup>, 川部  
雅章<sup>\*2</sup>, 石田誠一, 松下琢<sup>\*1</sup>：三次元培養担体Cellbed  
を用いた肝がん細胞 (HepG2) の薬剤耐性現象及び胆汁  
排泄機能の再現。  
第55回化学関連支部合同九州大会 (2018.6.30)

<sup>\*1</sup> 崇城大学

<sup>\*2</sup> バイリーン

Kurokawa J<sup>\*1</sup>, Kodama M<sup>\*2</sup>, Kanda Y, Ashihara

T<sup>\*3</sup>, Nagamori S<sup>\*4</sup>, Suzuki Y<sup>\*1</sup>, Iwasaki N<sup>\*1</sup>, Sano Y<sup>\*1</sup>, Sakamoto K<sup>\*1</sup>: A multidisciplinary approach for pharmacological assessment using human iPS-derived cardiomyocytes.

18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (2018.7.4)

<sup>\*1</sup> 静岡県立大学

<sup>\*2</sup> 東京医科歯科大学

<sup>\*3</sup> 滋賀医科大学

<sup>\*4</sup> 大阪大学

Yamada S<sup>\*</sup>, Yamazaki D, Kanda Y: Novel role of mitochondrial fusion factor Mfn1 in neural differentiation of human iPS cells.

18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (2018.7.5)

<sup>\*</sup> Pharmacological Evaluation Institute of Japan (PEIJ)

Hirata N<sup>\*1</sup>, Yamada S<sup>\*1</sup>, Nakabayashi K<sup>\*2</sup>, Hata K<sup>\*2</sup>, Kanda Y: Global analysis of translational regulation in cancer stem cells using ribosome profiling.

18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (2018.7.5)

<sup>\*1</sup> Pharmacological Evaluation Institute of Japan (PEIJ)

<sup>\*2</sup> National Center for Child Health and Development (NCCHD)

Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Kanda Y, Sato K: The interaction of activated microglia with astrocytes induces changes in cytokine/chemokine concentrations in inflammatory neurovascular unit.

FENS2018 (2018.7.9)

山崎ちひろ<sup>\*</sup>, 吉実康美<sup>\*</sup>, 柳愛美<sup>\*</sup>, 小川裕子<sup>\*</sup>, 石田雄二<sup>\*</sup>, 石田誠一, 立野知世<sup>\*</sup>: ヒト肝細胞キメラマウス (PXBマウス<sup>®</sup>) 由来新鮮ヒト肝細胞PXB-cells<sup>®</sup>を用いたin vitro 薬物代謝酵素誘導試験系の検討.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18-20)

<sup>\*</sup> フェニックスバイオ

石田誠一, 堀内新一郎, 金秀良, 黒田幸恵, 立野知世<sup>\*</sup>, 諫田泰成: ヒト初代/凍結肝細胞の代替としての各種細

胞の同一測定条件下における薬物代謝能の評価.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18-20)

<sup>\*</sup> フェニックスバイオ

白川誉史<sup>\*1,7</sup>, 鈴木郁郎<sup>\*2,7,8</sup>, 宮本憲優<sup>\*3,7,8</sup>, 近藤卓也<sup>\*4,7</sup>, 岡村愛<sup>\*1,7</sup>, 佐藤薫<sup>\*7,8</sup>, 森村馨<sup>\*5,7</sup>, 半戸里江<sup>\*5,7</sup>, 小島敦子<sup>\*3,6,7</sup>, 小田原あおい<sup>\*2,7</sup>: ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた微小電極アレイシステムによる痙攣・てんかん評価法確立の試み (第3報) —CSAHi 神経チーム

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

<sup>\*1</sup> 東北工業大学

<sup>\*2</sup> (株) アステラス.

<sup>\*3</sup> (株) エーザイ

<sup>\*4</sup> (株) テクノプロ

<sup>\*5</sup> (株) 大鵬薬品

<sup>\*6</sup> (株) 富士フイルム.

<sup>\*7</sup> ヒト iPS 細胞安全性評価系コンソーシアム (CSAHi)

<sup>\*8</sup> iNCENS プロジェクト

<sup>\*9</sup> The NeuTox Micro-Electrode Array (MEA) Subteam, The Translational Biomarkers of Neurotoxicity (NeuTox) Committee, Health and Environmental Science Institute (HESI)

諫田泰成: Development of a new standardized method using human iPS cell-derived cardiomyocytes.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

入江智彦, Laurence O. Trussell<sup>\*</sup>: P/QタイプCa<sup>2+</sup>チャネル—リアノジン受容体—BKチャネルから成るナノドメインはバースト発火をコントロールする.

第41回日本神経科学大会 (2018.7.26)

<sup>\*</sup> オレゴン健康科学大学

Ishida S, Horiuchi S, Kuroda Y, Fujii R, Kim SR, Kanda Y: DNA microarray analysis on characteristics of hepatocyte-like cells derived from human iPS cells for the application to the cell based drug safety tests. EUROTOX 2018 (2018.9.2-5)

Komizu Y<sup>\*</sup>, Inamura K<sup>\*</sup>, Ishida S, Matsumoto Y<sup>\*</sup>, Matsushita T<sup>\*</sup>: Hybrid nanoparticles inhibited the growth of liver cancer stem cells.

第5回国際組織工学・再生医療学会世界会議2018 (2018.9.4-7)

---

\* 崇城大学

Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Kanda Y, Sato K: Microglia enhance the functional maturation of blood-brain barrier by regulating the cytokine/chemokine dynamics.

第61回日本神経化学大会 (2018.9.6)

山崎大樹, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた不整脈リスク予測法の開発 - 国内および国際検証試験の比較 -.

第8回レギュラトリーサイエンス学会 (2018.9.7)

Takahashi K, Chujo K, Kanda Y, Sato K: Characterization of neural networks of human induced pluripotent stem cell-derived neurons.

第61回日本神経化学大会 (2018.9.8)

諫田泰成: Cardio-OncologyにおけるヒトiPS細胞の応用.

第8回レギュラトリーサイエンス学会 (2018.9.8)

佐藤薫: iPS 細胞から分化誘導したヒト神経細胞を用いた安全性評価法開発の取り組み.

安全性評価研究会2018年夏のフォーラム (2018.9.9)

入江智彦: 危険ドラッグMAM-2201 はシナプス前終末のCB1 受容体を介して神経伝達を抑制する.

第4回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2018.9.15)

黒田幸恵, 堀内新一郎, 金秀良, 藤居瑠彌, 諫田泰成, 末水洋志\*, 石田誠一: ヒト肝キメラマウス由来肝細胞を用いた長期培養に向けた基礎検討.

第4回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2018.9.15)

---

\* 実験動物中央研究所

山田茂\*, 山崎大樹, 諫田泰成: ヒトiPS細胞のミトコンドリア機能に基づく発達神経毒性の評価.

第4回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2018.9.15)

---

\* 日本薬理評価機構

Yamazaki D, Kanda Y: Drug-induced proarrhythmia

assessment using human iPS cell-derived cardiomyocytes- Comparison of JiCSA and CiPA validation studies.

6th Annual Cardio Symposium (2018.9.29)

Kanda Y: Application of human iPS technology for cardio-oncology.

6th Annual Cardio Symposium (2018.9.29)

Takahashi K, Chujo K, Kanda Y, Sato K: Characterization of neural networks of human induced pluripotent stem cell-derived neurons-Report from iPS Non-clinical Experiments for Nervous System (iNCENS) project in collaboration with CSAHi and HESI NeuTox.

Safety Pharmacology Society Annual Meeting 2018 (2018.9.30)

Ishibashi Y<sup>\*1,7</sup>, Odawara A<sup>\*1,7</sup>, Shirakawa T<sup>\*2,7</sup>, Kinoshita K<sup>\*2,7</sup>, Okamura A<sup>\*2,7</sup>, Miyamoto N<sup>\*3,7,8,9</sup>, Ojima A<sup>\*3,4,7</sup>, Kondo T<sup>\*5,7</sup>, Hando R<sup>\*6,7</sup>, Morimura K<sup>\*6,7</sup>, Sato K<sup>\*7,8,9</sup>, Suzuki I<sup>\*1,7,8,9</sup>: CSAHi study: Detection of drug-induced seizure-like activities of 3 convulsants at 5 facilities using micro-electrode arrays in combination with human iPS cell-derived neurons.

Safety Pharmacology Society Annual Meeting 2018 (2018.9.30)

---

<sup>\*1</sup> Tohoku Institute of Technology

<sup>\*2</sup> Astellas Pharma Inc.

<sup>\*3</sup> Eisai Co., Ltd.

<sup>\*4</sup> Techno Pro R&D company

<sup>\*5</sup> Taiho Pharmaceutical Co., Ltd.

<sup>\*6</sup> FUJIFILM Co., Ltd.

<sup>\*7</sup> Consortium for Safety Assessment using Human iPS Cells (CSAHi)

<sup>\*8</sup> iPS-non-Clinical Experiments for Nervous System (iNCENS) Project

<sup>\*9</sup> The NeuTox Micro-Electrode Array (MEA) Subteam, The Translational Biomarkers of Neurotoxicity (NeuTox) Committee, Health and Environmental Science Institute (HESI)

Gintant G, Kanda Y, Blinova K: Stem Cell Derived Cardiomyocyte Studies. A Comparison of CiPA and JiCSA Validation Study Results for the "CiPA 28" Drugset.

Safety Pharmacology Society Annual Meeting 2018 (2018.10.1)

Yamada S\*, Yamazaki D, Kanda Y: Assessment of neurotoxicity of silver nanoparticles using human iPS cell-based platform.

Safety Pharmacology Society Annual Meeting 2018 (2018.10.1)

\* Pharmacological Evaluation Institute of Japan (PEIJ)

Sato K: Characterization of neural networks of human induced pluripotent stem cell-derived neurons-Report from iPS Non-clinical Experiments for Nervous System (iNCENS) project in collaboration with CSAHi and HESI NeuTox.

Safety Pharmacology Society Annual Meeting 2018 (2018.10.2)

Kanda Y: Preclinical tools for predicting cardiology therapy side effects prior to clinical trials.

Safety Pharmacology Society Annual Meeting 2018 (2018.10.2)

Ishida S: Efforts for the development of Pharmacokinetic Tests aimed at Alternatives to Animal Experiments Considering OECD's movements.

2018 MDO/JSSX (2018.10.5)

Kanda Y: Development of a safety assessment using human iPS cells.

2018 MDO/JSSX (2018.10.5)

諫田泰成：ヒトiPS細胞を用いた新規試験法の開発と国際標準化の戦略。

CBI学会2018年大会 (2018.10.9)

佐藤薫：iPS 細胞から分化誘導したヒト神経細胞を用いた安全性試験の開発の取り組み。

CBI 学会 2018年大会 (2018.10.10)

諫田泰成：ヒトiPS細胞技術を用いた医薬品の新たな評価法の開発－国際標準化に向けた取り組み－。

CBI学会2018年大会 (2018.10.10)

Fujii R, Toyoda K\*, Horiuchi S, Kuroda Y, Kim SR, Kanda Y, Ishida S: Evaluation of correlation of newly developing noninvasive cell culture profiling system based on LC-MS/MS measurement of medium components to the functional changes during cell culture.

CBI学会2018年大会 (2018.10.9-11)

\* 島津製作所

Horiuchi S, Kuroda Y, Fujii R, Kim SR, Kanda Y, Ishida S: Characterization of human hepatocytes isolated from chimeric mice with humanized liver (PXB-cells) by DNA microarray analysis for the evaluation of the applicability to cell-based drug safety tests.

CBI学会2018年大会 (2018.10.9-11)

Yamazaki D, Yamada S\*, Kanda Y: Developmental neurotoxicity evaluation using human iPS cells.

China TATT-Asia CA 2018 (2018.10.11)

\* Pharmacological Evaluation Institute of Japan (PEIJ)

Kanda Y : JiCSA Update: Proarrhythmia risk assessment using human iPS cell-derived cardiomyocytes.

7<sup>th</sup> DIA cardiac safety workshop in Japan (2018.10.25)

Kanda Y: Development and standardization of in vitro contractility method using human iPS Cell-derived cardiomyocytes.

7<sup>th</sup> DIA cardiac safety workshop in Japan (2018.10.26)

Yamada S<sup>\*1</sup>, Yamazaki D, Kanda Y: Silver nanoparticles inhibit neural induction via mitochondrial dysfunction in human induced pluripotent stem cells.

Society for Neuroscience (2018.11.6)

\* Pharmacological Evaluation Institute of Japan (PEIJ)

Suzuki Y<sup>\*1</sup>, Sano Y<sup>\*1</sup>, Nakagawa M<sup>\*1</sup>, Kodama M<sup>\*2</sup>, Kanda Y, Yamaguchi M<sup>\*1</sup>, Sakamoto K<sup>\*1</sup>, Kurokawa J<sup>\*1</sup>: Development of a novel functional assay to evaluate cardiac toxicity using human iPS cell-derived cardiomyocytes.

4th International Conference on Pharma and Food (2018.11.15)

<sup>\*1</sup> 静岡県立大学

<sup>\*2</sup> 東京医科歯科大学

石田誠一：in vitro細胞アッセイの肝細胞障害性試験への活用に向けた取り組み。

RINK 第2回公開フォーラム (2018.11.16)

山田茂<sup>\*1</sup>, 山崎大樹, 諫田泰成: ヒトiPS細胞の神経分化に対する銀ナノ粒子曝露の影響.

メタルバイオサイエンス研究会2018 (2018.11.17)

\* 日本薬理評価機構

Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Kanda Y, Sato K: Microglia is not the resource but the modulator of the cytokines/chemokines in inflammatory neurovascular unit.

Society for Neuroscience 2018 (2018.11.7)

石田誠一, 金秀良, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 藤居瑠彌, 諫田泰成: 5-AzaC処理により再プログラミングしたHepG2細胞の遺伝子発現解析による評価.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.23-25)

石田誠一: 医薬品開発におけるMPSの活用への期待.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.25)

諫田泰成: ヒトiPS細胞由来分化細胞の3D培養技術の開発と創薬への応用.

第31回日本動物実験代替法学会 (2018.11.24)

塚田健人<sup>\*1,2</sup>, 金子秋穂<sup>\*1</sup>, 新木翔之<sup>\*1</sup>, 河治久実<sup>\*2</sup>, 児玉栄一<sup>\*2</sup>, 倉石貴透<sup>\*3</sup>, 村上一馬<sup>\*4</sup>, 入江一浩<sup>\*4</sup>, 平田尚也<sup>\*5</sup>, 諫田泰成, 浅井禎吾<sup>\*1</sup>: 生合成経路の再構築と再設計による糸状菌ゲルペノイドピロニライブラリーの構築と生物活性評価.

第36回日本薬学会メディシナルケミストリーシンポジウム (2018.11.28)

\*<sup>1</sup> 東京大学

\*<sup>2</sup> 東北大学

\*<sup>3</sup> 金沢大学

\*<sup>4</sup> 京都大学

\*<sup>5</sup> 日本薬理評価機構

石田誠一, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 藤居瑠彌, 金秀良, 諫田泰成: VECCELL培養器による星細胞の活性化の抑制.

第32回肝臓細胞研究会学術集会 (2018.12.1)

石田誠一: AMED創薬基盤推進研究事業での産学官連携体制の紹介.

NAROワークショップ (2018.12.3)

Komizu Y\*, Inamura K\*, Ishida S, Matsumoto Y\*, Matsushita T\*: Hybrid nanoparticles accumulated and inhibited the growth of liver cancer stem cells.

ASCB-EMBO 2018 meeting (2018.12.8-12)

\* 崇城大学

松崎典弥\*, 佐藤薫: 血液脳関門 (BBB) チップの可能性. 第401回CBI学会講演会 (2019.1.18)

\* 大阪大学

石田誠一: In vitro細胞アッセイと動物実験代替法をめぐり日本と世界の動向.

Tonomachi Café in 日本橋 (2019.1.21)

古水雄志<sup>\*1</sup>, 坂田望<sup>\*1</sup>, 中村茉耶<sup>\*1</sup>, 水民敬浩<sup>\*1</sup>, 岩佐卓哉<sup>\*2</sup>, 佐々木皓平<sup>\*2</sup>, 小島理恵<sup>\*2</sup>, 川部雅章<sup>\*2</sup>, 石田誠一, 松下琢<sup>\*1</sup>: 三次元培養担体を用いたHepG2細胞の胆汁排泄機能の再現.

細胞アッセイ研究会 (2019.1.30)

\*<sup>1</sup> 崇城大学

\*<sup>2</sup> バイリーン

石田誠一, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 藤居瑠彌, 金秀良, 諫田泰成: 凍結ヒト肝星細胞におけるVECELL培養による活性化抑制.

細胞アッセイ研究会 (2019.1.30)

最上 (重本) 由香里, 干川和枝, 佐藤薫: サイトカイン・ケモカイン濃度を制御するミクログリアを含む血液脳関門・生体模倣システムの開発.

細胞アッセイ研究会2019 (2019.1.30)

Yamaguchi M\*, Nakagawa M\*, Suzuki Y\*, Sano Y\*, Shirakawa K\*, Majima K\*, Kamitani Y\*, Sakamoto K\*, Kanda Y, Kurokawa J\*: Multidisciplinary approaches to evaluate cell-to-cell variation in contractile functions of human iPS cell-derived cardiomyocytes.

第10回日本安全性薬理研究会学術年会 (2019.3.2)

\* 静岡県立大学

Yamasaki C\*, Yanagi A\*, Yoshizane Y\*, Ogawa Y\*, Ishida Y\*, Ishida S, Tateno C\*: Characterization of human hepatocytes isolated from chimeric mice with

humanized livers (PXB cells<sup>®</sup>) and optimization of in vitro cytochrome P450 induction test conditions.  
SOT 58th annual meeting (2019.3.10-14)

\* フェニックスバイオ

諫田泰成：ヒトiPS細胞技術による新たなインビトロ神経毒性試験法の開発と国際動向。  
第92回日本薬理学会 (2019.3.14)

諫田泰成：ヒトiPS細胞技術を活用した抗がん剤の心毒性評価系の開発。  
第92回日本薬理学会 (2019.3.16)

山田茂\*, 山崎大樹, 諫田泰成：ヒトiPS細胞の神経分化能を指標にした発達神経毒性評価。  
第92回日本薬理学会 (2019.3.16)

\* 日本薬理評価機構

平田尚也\*, 山田茂\*, 諫田泰成: Drug Repositioning approaches for breast cancer stem cells.  
第92回日本薬理学会 (2019.3.16)

\* 日本薬理評価機構

平田尚也\*, 山田茂\*, 諫田泰成: Drug Repositioning approaches for breast cancer stem cells.  
第92回日本薬理学会 (2019.3.16)

\* 日本薬理評価機構

高橋華奈子, 入江智彦, 諫田泰成, 佐藤薫: アフリカツメガエル卵母細胞強制発現系を用いたドコサヘキサエン酸によるアストロサイトグルタミン酸トランスポーター電流調節作用のメカニズム解析。  
第92回日本薬理学会年会 (2019.3.16)

佐藤薫: 世界は神経系非臨床試験の充実に向かっている。  
第92回日本薬理学会年会 (2019.3.16)

我那覇一冨\*, 稲村恒亮\*, 古水雄志\*, 石田誠一, 松本陽子\*, 松下琢\*: 肝臓がん幹細胞を標的とした新規ナノ粒子の有効性に関する検討。  
第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.21)

\* 崇城大学

諫田泰成：ヒトiPS細胞を活用した新たな医薬品の安全性評価。  
第18回日本再生医療学会 (2019.3.22)

諫田泰成：ヒトiPS細胞由来分化細胞の品質の考え方。  
第18回日本再生医療学会 (2019.3.22)

石田誠一：Organs-on-a-chipを用いたin vitro細胞アッセイ系の開発に求められる細胞の標準化と社会実装への要件。  
第18回日本再生医療学会総会 (2019.3.23)

最上(重本)由香里, 干川和枝, 諫田泰成, 佐藤薫: 病態を考慮した血液脳関門・生体模倣システムの開発。  
日本薬学会第139年会 (2019.3.23)

松崎典弥\*, 佐藤薫: 組織工学技術を応用した血液脳関門(BBB)チップの創製。  
第18回日本再生医療学会シンポジウム (2019.3.23)

\* 大阪大学

佐藤薫: これからの in vitro 血液脳関門モデルを考える—新薬開発で脳内移行性を考慮するための技術展開。  
HSC 研究会2019 (2019.3.29)

Kanda Y: Development of in vitro cardiotoxicity assessment for oncology drugs.  
FDA Workshop: Leveraging Human-Relevant Cardiomyocytes in Nonclinical Studies to Provide Mechanistic Insights into Cardiovascular Safety Liabilities (2019.3.29)

Yamazaki D: Chronic isoproterenol stimulation induced different cardiac disorders in Tric-deficient mice.  
第9回アジア・オセアニア生理学会連合2019年大会 (2019.3.30)

入江智彦: Intracellular Ca<sup>2+</sup> source for SK channels in cartwheel cells of the mouse dorsal cochlear nucleus.  
第9回アジア・オセアニア生理学会連合2019年大会 (2019.3.30)

Kanda Y, Yamazaki D: Development of in vitro developmental neurotoxicity testing.  
第9回アジア・オセアニア生理学会連合2019年大会 (2019.3.31)

野村幸世<sup>\*1</sup>, 豊田武士, 大津洋<sup>\*2</sup>, 石橋祐子<sup>\*1</sup>, 愛甲丞<sup>\*1</sup>, 長田梨比人<sup>\*1</sup>, 市田晃彦<sup>\*1</sup>, 菅原寧彦<sup>\*1</sup>, 國土典弘<sup>\*1</sup>, 瀬戸泰之<sup>\*1</sup>: 胃癌, 膵癌, 乳癌早期発見バイオマーカーとしての血清TFF 3 とその起源の解明.

第118回日本外科学会定期学術集会 (2018.4.5)

<sup>\*1</sup> 国立国際医療研究センター研究所

<sup>\*2</sup> 東京大学

水田保子, 曹永晩, 赤木純一, 小川久美子: 2,4-ジメチル-4-フェニルテトラヒドロフランのF344ラットにおける90日間反復投与毒性試験.

日本食品化学学会第24回総会・学術大会 (2018.5.18)

森川朋美, 松下幸平, 豊田武士, 山田貴宣, 高橋美和, 井上薫, 小川久美子: ラットを用いた2-エチルブタナールの90日間亜慢性反復経口投与毒性試験.

日本食品化学学会第24回総会・学術大会 (2018.5.18)

木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 梅村隆志, 小川久美子: 食品用途香料である5-methylfurfuralのF344ラットにおける90日間反復投与毒性試験.

日本食品化学学会第24回総会・学術大会 (2018.5.18)

Nomura S<sup>\*1</sup>, Yang Q<sup>\*2</sup>, Yasuda T<sup>\*1</sup>, Toyoda T, Choi E<sup>\*2</sup>, Uchida E<sup>\*3</sup>, Seto Y<sup>\*1</sup>, Goldenring JR<sup>\*2</sup>: Amelioration of metaplasia and re-emergence of normal gastric lineages after treatment of *H. pylori*-infected gerbils with a MEK inhibitor.

Digestive Disease Week 2018 (2018.6.4)

<sup>\*1</sup> University of Tokyo

<sup>\*2</sup> Vanderbilt University School of Medicine

<sup>\*3</sup> Nippon Medical University

豊田武士, 戸塚ゆ加里<sup>\*1</sup>, 松下幸平, 森川朋美, 山田貴宣, 三好規之<sup>\*2</sup>, 若林敬二<sup>\*2</sup>, 小川久美子: 膀胱がんリスク因子としてのノルハルマン代謝物: ラットを用いた検討.

がん予防学術大会2018高松 (2018.6.28)

<sup>\*1</sup> 国立がん研究センター研究所

<sup>\*2</sup> 静岡県立大学

山田貴宣, 豊田武士, 曾根瑞季, 鈴木周五<sup>\*</sup>, 松下幸平, 森川朋美, 小川久美子:  $\gamma$ -H2AXを指標とした膀胱発がん性の早期予測-追加の化学物質による検証-.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18)

<sup>\*</sup> 名古屋市立大学

曹永晩, 赤木純一, 水田保子, 豊田武士, 小川久美子: コレラトキシン及びコレラトキシンBサブユニットの経皮曝露感作性試験におけるアジュバントとしての可能性.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

豊田武士, 松下幸平, 森川朋美, 山田貴宣, 小川久美子: 膀胱発がん性芳香族アミンの短期投与によるラット膀胱粘膜遺伝子発現動態への影響.

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

三好規之<sup>\*1</sup>, 田島悠也<sup>\*1</sup>, 豊田武士, 戸塚ゆ加里<sup>\*2</sup>, 松下幸平, 小川久美子, 若林敬二<sup>\*1</sup>: 芳香族アミン類の代謝物分析とDNA付加体.

第33回発癌病理研究会 (2018.8.29)

<sup>\*1</sup> 静岡県立大学

<sup>\*2</sup> 国立がん研究センター研究所

豊田武士, 山田貴宣, 鈴木周五<sup>\*</sup>, 松下幸平, 曹永晩, 赤木純一, 森川朋美, 水田保子, 西川秋佳, 小川久美子:  $\gamma$ -H2AXを指標とした化学物質の膀胱発がん性早期検出系の開発.

第33回発癌病理研究会 (2018.8.31)

<sup>\*</sup> 名古屋市立大学

Ishii Y, Shi L, Takasu S, Kijima A, Ogawa K, Umemura T: Combined application of comprehensive DNA analysis for DNA modification and reporter gene mutation assay to investigation of the mechanisms underlying hepatocarcinogenicity of elemicin.

54th Congress of the European Societies of Toxicology (2018.9.3)

Cho YM, Akagi J, Mizuta Y, Toyoda T, Tamehiro N, Kimura Y, Adachi R, Ogawa K: Dose-dependent sensitization effects of transcutaneously exposed acid-hydrolyzed wheat protein.

54th Congress of the European Societies of Toxicology (2018.9.4)

Takasu S, Ishii Y, Kijima A, Ogawa K, Umemura T:

Requirement of Nrf2 for termination of liver regeneration caused by acute proliferative response.

54th Congress of the European Societies of Toxicology (2018.9.4)

保田智彦<sup>\*1</sup>, Qing Yang<sup>\*2</sup>, 豊田武士, Eunyoung Choi<sup>\*2</sup>, 内田英二<sup>\*3</sup>, 吉田寛<sup>\*3</sup>, 瀬戸泰之<sup>\*1</sup>, James R. Goldenring<sup>\*2</sup>, 野村幸世<sup>\*1</sup>: MEK 阻害剤Selumetinibによる*H. pylori*感染スナネズミ胃粘膜における化生粘膜の回復.

第27回消化器疾患病態治療研究会 (2018.9.15)

<sup>\*1</sup> 東京大学

<sup>\*2</sup> Vanderbilt University

<sup>\*3</sup> 日本医科大学

Akagi J, Cho YM, Toyoda T, Mizuta Y, Yokoi M<sup>\*1,2</sup>, Hanaoka F<sup>\*1,3</sup>, Ohmori H<sup>\*1</sup>, Ogawa K: Effect of Pol  $\kappa$  deficiency on benzo[a]pyrene-induced tumorigenesis. 5th DNA Polymerases meeting (2018.9.24)

<sup>\*1</sup> Gakushuin University

<sup>\*2</sup> Kobe University

<sup>\*3</sup> University of Tsukuba

保田智彦<sup>\*1</sup>, 吉田寛<sup>\*2</sup>, 内田英二<sup>\*2</sup>, 豊田武士, 瀬戸泰之<sup>\*1</sup>, 野村幸世<sup>\*1</sup>: MEK阻害剤によるヘリコバクター・ピロリ菌感染スナネズミ胃粘膜の回復. 第77回日本癌学会学術総会 (2018.9.28)

<sup>\*1</sup> 東京大学

<sup>\*2</sup> 日本医科大学

山田貴宣, 豊田武士, 小川久美子: 幹細胞マーカー免疫染色による膀胱発がん物質の早期検出. 第77回日本癌学会学術総会 (2018.9.28)

豊田武士, 山田貴宣, 三好規之<sup>\*</sup>, 小川久美子: 芳香族アミン誘発ラット膀胱発がん過程の初期段階における遺伝子発現動態.

第77回日本癌学会学術総会 (2018.9.28)

<sup>\*</sup> 静岡県立大学

Cho YM, Mizuta Y, Akagi J, Toyoda T, Ogawa K: Effects of antioxidants on acute toxicity of silver nanoparticles intraperitoneally administered in BALB/c mice.

The Korean Society of Toxicologic Pathology 2018 (2018.10.25)

石井雄二, 時亮, 高須伸二, 木島綾希, 能美健彦, 小川久美子, 梅村隆志: *gpt* deltaラットを用いた*in vivo*変異原性試験と網羅的DNA損傷解析によるエレミシンの肝発がん機序の解明.

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.1)

竹入章<sup>\*</sup>, 松崎香織<sup>\*</sup>, 田中健司<sup>\*</sup>, 小川久美子, 安井学, 本間正充, 三島雅之<sup>\*</sup>: Ames試験陽性のフォローアップとしてのTK6細胞を用いた $\gamma$ H2AX評価系検討; MMS共同研究オプション項目の報告.

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.1)

<sup>\*</sup> 中外製薬 (株)

田島悠也<sup>\*1</sup>, 豊田武士, 平山裕一郎<sup>\*1</sup>, 橋詰力<sup>\*1</sup>, 松下幸平, 小川久美子, 渡辺賢二<sup>\*1</sup>, 戸塚ゆ加里<sup>\*2</sup>, 若林敬二<sup>\*1</sup>, 三好規之<sup>\*1</sup>: 膀胱発がん性芳香族アミン *o*-toluidineの代謝物分析とDNA付加体.

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.2)

<sup>\*1</sup> 静岡県立大学

<sup>\*2</sup> 国立がん研究センター研究所

野村幸世<sup>\*</sup>, 豊田武士, 菅原寧彦<sup>\*</sup>: 胃癌バイオマーカーとしての血清TFF3の起源とその上昇機序の解明. 第22回日本肝臓学会大会 (2018.11.2)

<sup>\*</sup> 東京大学

Akagi J, Cho YM, Toyoda T, Mizuta Y, Yokoi M<sup>\*1,2</sup>, Hanaoka F<sup>\*1,3</sup>, Ohmori H<sup>\*1</sup>, Ogawa K: Benzo[a]pyrene-induced tumorigenesis in Pol  $\kappa$ -knockout mice. 3R&3C Symposium (2018.11.13)

<sup>\*1</sup> Gakushuin University

<sup>\*2</sup> Kobe University

<sup>\*3</sup> University of Tsukuba

Tajima Y<sup>\*1</sup>, Toyoda T, Hirayama Y<sup>\*1</sup>, Hashidume T<sup>\*1</sup>, Matsushita K, Yamada T, Ogawa K, Watanabe K<sup>\*1</sup>, Totsuka Y<sup>\*2</sup>, Wakabayashi K<sup>\*1</sup>, Miyoshi N<sup>\*1</sup>: Metabolomics and DNA adductome analysis of urinary bladder carcinogen *o*-toluidine.

The 4th International Conference on Pharma-food

## General Information (2018.11.15)

---

\*<sup>1</sup> University of Shizuoka

\*<sup>2</sup> National Cancer Center Research Institute

Tajima Y<sup>\*1</sup>, Toyoda T, Hirayama Y<sup>\*1</sup>, Hashidume T<sup>\*1</sup>, Matsushita K, Yamada T, Ogawa K, Watanabe K<sup>\*1</sup>, Totsuka Y<sup>\*2</sup>, Wakabayashi K<sup>\*1</sup>, Miyoshi N<sup>\*1</sup>: Metabolomics and DNA adductome analysis of urinary bladder carcinogen *o*-toluidine.

The 23rd Shizuoka Forum on Health and Longevity (2018.11.16)

---

\*<sup>1</sup> University of Shizuoka

\*<sup>2</sup> National Cancer Center Research Institute

赤木純一, 横井雅幸<sup>\*1</sup>, 曹永晩, 岩井成憲<sup>\*2</sup>, 花岡文雄<sup>\*3,4</sup>, 小川久美子: N7-グリシドアミド-dG付加体は哺乳類細胞においてDNA複製を阻害する.

第41回日本分子生物学会年会 (2018.11.28)

---

\*<sup>1</sup> 神戸大学

\*<sup>2</sup> 大阪大学

\*<sup>3</sup> 学習院大学

\*<sup>4</sup> 筑波大学

曹永晩, 水田保子, 赤木純一, 豊田武士, 井手鉄哉, 小川久美子: 腹腔内投与銀ナノ粒子によるBALB/cマウスの急性毒性における抗酸化剤の影響.

第35回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2019.1.31)

赤木純一, 曹永晩, 豊田武士, 横井雅幸<sup>\*1,2</sup>, 花岡文雄<sup>\*1,3</sup>, 大森治夫<sup>\*1</sup>, 小川久美子: C57BL/6J野生型およびPol $\kappa$ 欠損マウスにおけるベンゾ[a]ピレンおよび $\alpha$ -ナフトフラボン併用投与の効果.

第35回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2019.1.31)

---

\*<sup>1</sup> 学習院大学

\*<sup>2</sup> 神戸大学

\*<sup>3</sup> 筑波大学

石井雄二, 菊池玲美花, 木島綾希, 高須伸二, 小川久美子, 梅村隆志: F344ラットを用いたアセタミドの28日間反復投与による肝毒性評価.

第35回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2019.1.31)

高須伸二, 中村くるみ, 石黒結唯, 石井雄二, 木島綾希,

小川久美子, 梅村隆志: ラット肝臓におけるGST-P陽性巣の種々発がん物質休業後動態の検討.

第35回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2019.1.31)

豊田武士, 山田貴宣, 松下幸平, 森川朋美, 小川久美子: 膀胱発がん物質投与初期における遺伝子発現解析および新規膀胱発がんマーカーの探索.

第35回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2019.2.1)

山田貴宣, 豊田武士, 松下幸平, 森川朋美, 小川久美子: 膀胱発がん物質投与による $\gamma$ -H2AX形成の用量相関性及び経時的変化.

第35回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2019.2.1)

井手鉄哉, 水田保子, 曹永晩, 赤木純一, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 小川久美子: 2,4-ジメチル-4-フェニルテトラヒドロフランの90日間反復投与毒性試験および異性体存在比の検討.

第35回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2019.2.1)

松下幸平, 豊田武士, 森川朋美, 山田貴宣, 小川久美子: 1,3-Dichloro-2-propanolのF344ラットを用いた28日間反復強制経口投与による毒性プロファイルの検索.

第35回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2019.2.1)

中村賢志, 木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 小川久美子, 梅村隆志: F344ラットを用いた5-methyl-2-phenyl-2-hexenalの90日間反復投与毒性試験.

第35回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2019.2.1)

Cho YM, Akagi J, Mizuta Y, Toyoda T, Ogawa K: Effects of *N*-acetyl-L-cysteine on acute toxicity of silver nanoparticles intraperitoneally administered in BALB/c mice.

58th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2019.3.12)

Takasu S, Ishii Y, Kijima A, Ogawa K, Umemura T: The kinetics of GST-P positive foci after cessation of treatment with genotoxic hepatocarcinogens or furan derivatives in the liver of rat.

58th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2019.3.14)

小川久美子: がん原性試験の最前線.

第18回日本再生医療学会 (2019.3.23)

本間正充：医薬品中の変異原性不純物の安全性評価と管理

2018年ISPE日本支部年次大会（2018.5.24）

杉山圭一：酵母凝集遺伝子 *FLOI* プロモーター活性を指標とした DNMT 阻害様活性の検出

第12回日本エピジェネティクス研究会年会（2018.5.25）

Grúz P, Shimizu M\*, Daizo A\*, Takahashi H\*, Sugiyama K, Honma M: Making a mammal more resistant to aging damage

第41回日本基礎老化学会大会(2018.5.31)

\* 東京医療保健大学

堀端克良：*Pig-a* / *PIG-A*遺伝子変異試験によるヒトを含めた*in vivo*遺伝毒性モニタリング

平成30年度日本環境変異原学会公開シンポジウム(2018.6.9)

Honma M: Improvement of quantitative structure-activity relationship (QSAR) tools for predicting Ames mutagenicity

QSAR2018(2018.06.12)

堀端克良：*Pig-a* 試験

日本環境変異原学会・MMS研究会 第72回定例会(2018.6.11)

安井学：TK6 細胞を用いる共同研究

日本環境変異原学会・MMS研究会 第72回定例会(2018.6.11)

杉山圭一：IWGT報告－Ames試験

日本環境変異原学会・MMS研究会 第72回定例会(2018.6.12)

三島雅之\*, 安井学：IWGT報告－*In vitro*に関する試験  
日本環境変異原学会・MMS研究会 第72回定例会(2018.6.12)

\* 中外製薬（株）

増村健一：IWGT報告－Aneugen に関する試験

日本環境変異原学会・MMS研究会 第72回定例会(2018.6.12)

増村健一：Ames試験陽性のフォローアップと*in vivo*試験

日本環境変異原学会・BMS研究会第57回定例会(2018.7.7)

本間正充：遺伝毒性評価の新たな動き

第45回日本毒性学会（2018.7.20）

杉山圭一，古沢博子，グルーズ ピーター，本間正充：DNAメチル化が出芽酵母の*FLOI*プロモーター活性に及ぼす影響

酵母遺伝学フォーラム第51回研究報告会（2018.9.10）

佐々彰<sup>\*1</sup>，安井学，竹石歩奈<sup>\*1</sup>，原田佳歩<sup>\*1</sup>，鈴木慈<sup>\*1</sup>，津田雅貴<sup>\*2</sup>，笹沼博之<sup>\*2</sup>，武田俊一<sup>\*2</sup>，菅澤薫<sup>\*3</sup>，本間正充，浦聖恵<sup>\*1</sup>：リボスクレオチドが誘発する奇異突然変異とその防御機構

日本遺伝学会 第90回大会（2018.9.21）

<sup>\*1</sup> 千葉大学大学院 理学研究院

<sup>\*2</sup> 京都大学大学院 医学研究科

<sup>\*3</sup> 神戸大学 バイオシグナル総合研究センター

杉山圭一，古沢博子，木下麻緒，清水雅富，グルーズ ピーター，本間正充：迅速簡便かつ効率的なエピジェネティック変異原検出技術

第91回日本生化学会大会（2018.9.24）

Masumura K, Toyoda-Hokaiwado N, Ando T, Ukai A, Nohmi T, Honma M: Absence of selection against ENU-induced point mutations in male germ cells during transmission to the next generation

Environmental Mutagenesis & Genomics Society 49th Annual Meeting（2018.9.25）

Honma M: Mutagens and carcinogens in Japanese food: evolution of prioritized risk

Environmental Mutagenesis & Genomics Society 49th Annual Meeting（2018.9.26）

Honma M: QSAR tools for predicting Ames mutagenicity  
KNect365 Life Sciences Annual Meeting of Genotoxic Impurities（2018.10.24）

安井学：TK6 細胞を用いる*in vitro*遺伝毒性評価

日本環境変異原学会・MMS研究会 第73回定例会(2018.10.31)

堀端克良：*Pig-a* アッセイ

日本環境変異原学会・MMS研究会 第73回定例会  
(2018.10.31)

杉山圭一，古沢博子，木下麻緒，グルーズピーター，本間正充：ヒト*DNMT*酵母による環境中からのエピジェネティック変異原様活性の検出

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.1)

堀端克良：*Pig-a* アッセイの標準化に関する研究：バリデーション研究の推進とヒトへの適用

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.1)

竹入章<sup>\*</sup>，松崎香織<sup>\*</sup>，田中健司<sup>\*</sup>，小川久美子，安井学，本間正充，三島雅之<sup>\*</sup>：Ames試験陽性のフォローアップとしてのTK6細胞を用いたγ H2AX評価系検討；MMS共同研究オプション項目の報告

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.1)

<sup>\*</sup> 中外製薬 (株)

竹石歩奈<sup>\*1</sup>，安井学，笹沼博之<sup>\*2</sup>，武田俊一<sup>\*2</sup>，菅澤薫<sup>\*3</sup>，本間正充，浦聖恵<sup>\*1</sup>，佐々彰<sup>\*1</sup>：DNA中のリボヌクレオチドが引き起こす特異な突然変異とその誘発機構の解析

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.1)

<sup>\*1</sup> 千葉大学大学院 理学研究院

<sup>\*2</sup> 京都大学大学院 医学研究科

<sup>\*3</sup> 神戸大学 バイオシグナル総合研究センター

安井学，鶴飼明子，福田隆之<sup>\*1</sup>，馬庭二郎<sup>\*2</sup>，山本春菜<sup>\*3</sup>，今村匡志<sup>\*4</sup>，藤島沙織<sup>\*5</sup>，大谷尚子<sup>\*6</sup>，成見香瑞範<sup>\*7</sup>，松崎香織<sup>\*8</sup>，岡田祐樹<sup>\*9</sup>，中川宗洋<sup>\*10</sup>，上田摩弥<sup>\*11</sup>，小川久美子，本間正充：Ames試験陽性のフォローアップに関するTK遺伝子突然変異試験の有用性の検討：MMS共同研究の報告

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.2)

<sup>\*1</sup> ボゾリサーチセンター (株)

<sup>\*2</sup> アストラゼネカ (株)

<sup>\*3</sup> 日本たばこ産業 (株)

<sup>\*4</sup> イナリサーチ (株)

<sup>\*5</sup> (一財) 化学物質評価研究機構

<sup>\*6</sup> アステラス製薬 (株)

<sup>\*7</sup> ヤクルト本社 (株)

<sup>\*8</sup> 中外製薬 (株)

<sup>\*9</sup> 帝人ファーマ (株)

<sup>\*10</sup> LSIメディエンス (株)

<sup>\*11</sup> 安評センター (株)

増村健一，安東朋子，豊田尚美，鶴飼明子，能美健彦，本間正充：マウス雄性生殖細胞と次世代個体ゲノムの点突然変異頻度の比較

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.2)

東條あかり<sup>\*</sup>，佐々彰<sup>\*</sup>，安井学，本間正充，浦聖恵<sup>\*</sup>：DNA二本鎖切断修復におけるヒストンメチル化酵素NSD2の機能解析

日本環境変異原学会第47回大会 (2018.11.2)

<sup>\*</sup> 千葉大学大学院 理学研究院

本間正充：食品・医薬品中に存在する低レベルの発がん性化学物質のリスク評価と管理

日本放射線影響学会第61回大会 (2018.11.7)

Suzuki A<sup>\*1</sup>，Miyano M<sup>\*1</sup>，Miura R<sup>\*1</sup>，Sassa A<sup>\*2</sup>，Yasui M，Honma M: Quantum Chemical Inspection on the DNA Backbone Bias caused by 8oxoG

The 15th International Conference on Flow Dynamics  
(2018.11.9)

<sup>\*1</sup> New Industry Creation Hatchery Center, Tohoku University

<sup>\*2</sup> Graduate school of Science, Chiba University

Honma M: QSAR tools for predicting Ames mutagenicity and its application to risk assessment

2018 Joint International Workshop "Progress of Genotoxicity Methods and Regulatory Acceptance" (2018.11.27)

東條あかり<sup>\*</sup>，佐々彰<sup>\*</sup>，安井学，本間正充，浦聖恵<sup>\*</sup>：DNA二本鎖切断修復におけるヒストンメチル化酵素NSD2の機能解析

第41回日本分子生物学会年会 (2018.11.29)

<sup>\*</sup> 千葉大学大学院 理学研究院

増村健一：清涼飲料水中の六価クロムの安全性評価について

第16回食品安全フォーラム (2018.12.7)

福原潔<sup>\*1</sup>，今井耕平<sup>\*1</sup>，中西郁夫<sup>\*2</sup>，松本謙一郎<sup>\*2</sup>，大

野彰子：金属イオン配位により活性化する抗酸化物質の開発。

日本農芸化学会2019年度大会（2019.3.25）

<sup>\*1</sup> 昭和大学薬学部

<sup>\*2</sup> (独) 放射線医学総合研究所

田邊思帆里, 山田隆志, 広瀬明彦：遺伝子ネットワーク解析による分子パスウェイ解明及びAOP開発状況について。

日本薬学会第139年会（2019.3.23）

山田隆志, 足利太可雄, 小島肇, 広瀬明彦：AOP (Adverse Outcome Pathway; 有害性発現経路) に基づいた化学物質の安全性評価へ向けたチャレンジ。

日本薬学会第139年会（2019.3.23）

田邊思帆里, 青柳一彦<sup>\*1</sup>, Sabina Quader<sup>\*2</sup>, 横崎 宏<sup>\*3</sup>, 佐々木博己<sup>\*1</sup>：間葉系幹細胞及び胃がんの分子シグネチャーによる上皮間葉転換関連パスウェイネットワークについて。

第18回日本再生医療学会総会（2019.3.21）

<sup>\*1</sup> 国立がん研究センター研究所

<sup>\*2</sup> ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

<sup>\*3</sup> 神戸大学大学院医学研究科

Kojima H: Japanese plan on safety evaluation of a chemical with non-animal test methods, Toxicology-2019, International Conference on Toxicology and Risk Assessment(2019.3.20)

Yoshii K\*, Nishiura H\*, Inoue K, Hirose A: Simulation-based assessment of model selection criteria during application of benchmark dose method to quantal response data.

58th annual meeting of SOT（2019.3.13）

\* Graduate School of Medicine, Hokkaido University

Yamaguchi H<sup>\*1</sup>, Takezawa T<sup>\*2</sup>, Kojima H: Predictive Capacity of Vitrigel-EIT (Eye Irritancy Test) Method. 58th annual meeting of SOT（2019.3.13）

<sup>\*1</sup> Kanto Chemical Co. Inc

<sup>\*2</sup> Research Center for Agricultural Information Technology, NARO

Kojima H, Kato Y<sup>\*1</sup>, Sato A<sup>\*1</sup>, Yamamoto N<sup>\*2</sup>: Evaluation of Corneal Damage Recovery Using 3-Dimensional Model. 58th annual meeting of SOT(2019.3.12)

<sup>\*1</sup> Nippon Menard Cosmetic Co., Ltd.

<sup>\*2</sup> Fujita Health University Institute of Joint Research

Yamada T, Kurimoto M, Miura M, Kawamura T, Jojima K, Taira N, Ohata H, Tsujii S, Ohno A, Hirose A: Establishing mechanistic key event information of repeated dose toxicity to support category-based read-across assessment. 58<sup>th</sup> Annual Meeting of Society of Toxicology (2019.3.12)

小島肇：国際情勢から見た幹細胞ベースの毒性試験について。

幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアムscChemRISK（2019.2.15）

小島肇：ヒト健康影響を予測するための非動物実験の開発動向。

Translational and Regulatory Science Symposium (2019.2.7)

小島肇：毒性評価系の国際標準化に向けた戦略。毒性評価研究会（2019.1.31）

小島肇；OECD AOPプロジェクト。

第1回医薬品毒性機序研究会（2019.1.10）

田邊思帆里, 青柳一彦<sup>\*1</sup>, Sabina Quader<sup>\*2</sup>, 横崎 宏<sup>\*3</sup>, 佐々木博己<sup>\*1</sup>, 広瀬明彦：Wnt signaling and epithelial-mesenchymal transition pathway network in mesenchymal stem cells and gastric cancer.

第1回医薬品毒性機序研究会（2019.1.10）

<sup>\*1</sup> 国立がん研究センター研究所

<sup>\*2</sup> ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

<sup>\*3</sup> 神戸大学大学院医学研究科

田邊思帆里, 山田隆志, 広瀬明彦：OECDにおける有害性発現パスウェイ (Adverse Outcome Pathway) の取り組みについて：ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤 (HDI) によるシグナルパスウェイ。

第5回COINSシンポジウム（2018.12.14）

城島光司, 山田隆志, 広瀬明彦：インビトロ試験データを用いた分子レベルのイベントによる肝毒性予測。

## 第46回構造活性相関シンポジウム (2018.12.6)

田邊思帆里, 山田隆志, 広瀬明彦: ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤 (HDI) によるシグナルパスウェイ ~OECDにおける有害性発現パスウェイ (Adverse Outcome Pathway) の取り組みについて~.

第41回日本分子生物学会年会 (2018.11.29)

福原潔<sup>\*1</sup>, 今井耕平<sup>\*1</sup>, 中西郁夫<sup>\*2</sup>, 松本謙一郎<sup>\*2</sup>, 大野彰子: 金属錯体形成をトリガーとした新規抗酸化物質の開発.

第36回メディシナルケミストリーシンポジウム (2018.11.28)

<sup>\*1</sup> 昭和大学薬学部

<sup>\*2</sup> (独) 放射線医学総合研究所

Kojima H: JSAAE Promotion of the 3Rs in Asia. National Conference on Alternatives to Animal Experiments (NCAAE-2018) (2018.11.27)

山口宏之<sup>\*1,2</sup>, 小島肇, 竹澤俊明<sup>\*1</sup>: Vitrigel-EIT (Eye Irritancy Test) 法の適用範囲.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

<sup>\*1</sup> (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構

<sup>\*2</sup> 関東化学株式会社 伊勢原研究所

丸山諒<sup>\*1</sup>, 洪水麻衣<sup>\*1</sup>, 三田地隆史<sup>\*2</sup>, 小島肇, 板垣宏<sup>\*1</sup>: h-CLAT におけるNLRP3 インフラマソームの影響.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

<sup>\*1</sup> 横浜国立大学 工学府

<sup>\*2</sup> 株式会社ダイセル

小林 (九十九) 英恵<sup>\*1</sup>, 生地加奈実<sup>\*1</sup>, 山下邦彦<sup>\*2</sup>, 小島肇, 板垣宏<sup>\*1</sup>: タンパク質のアレルギー性を評価する *in vitro* 試験法の開発 試薬中LPS の影響除外に関する検討 (第1報).

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

<sup>\*1</sup> 横浜国立大学 工学府

<sup>\*2</sup> 株式会社ダイセル

生地加奈実<sup>\*1</sup>, 小林英恵<sup>\*1</sup>, 山下邦彦<sup>\*2</sup>, 小島肇, 板垣宏<sup>\*1</sup>: タンパク質のアレルギー性を評価する *in vitro* 試

験法の開発 薬中LPS の影響除外に関する検討 (第2報).

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

<sup>\*1</sup> 横浜国立大学 工学府

<sup>\*2</sup> 株式会社ダイセル

山本直樹<sup>\*</sup>, 平松範子<sup>\*</sup>, 山下宏美<sup>\*</sup>, 大倉華雪<sup>\*</sup>, 松山晃文<sup>\*</sup>, 小島 肇: Human iPS-Hand1 細胞を用いた新規発生毒性評価試験法の開発.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

<sup>\*</sup> 藤田保健衛生大学研究支援推進センター再生医療支援推進施設

赤木隆美<sup>\*1</sup>, 村上将登<sup>\*1</sup>, 田口浩之<sup>\*2</sup>, 池田英史<sup>\*3</sup>, 宮崎裕美<sup>\*4</sup>, 加藤雅一<sup>\*5</sup>, 山田知美<sup>\*6</sup>, 足利太可雄, 明石満<sup>\*1</sup>, 小島 肇: 三次元培養皮膚モデルLbL-3D Skin を用いた皮膚刺激性試験法のバリデーション研究).

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

<sup>\*1</sup> 大阪大学大学院

<sup>\*2</sup> 花王株式会社

<sup>\*3</sup> 株式会社マングム

<sup>\*4</sup> 防衛医科大学 防衛医学研究センター

<sup>\*5</sup> 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

<sup>\*6</sup> 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部

木村 裕<sup>\*1</sup>, 安野理恵<sup>\*2</sup>, 渡辺美香<sup>\*3</sup>, 小林美和子<sup>\*3</sup>, 岩城知子<sup>\*2</sup>, 藤村千鶴<sup>\*1</sup>, 近江谷克裕<sup>\*2</sup>, 山影康次<sup>\*3</sup>, 中島芳浩<sup>\*2</sup>, 小林真弓<sup>\*4</sup>, 大森崇<sup>\*4</sup>, 足利太可雄, 小島 肇, 相場節也<sup>\*1</sup>: Multi-Immuno Tox Assay (MITA): バリデーション研究の結果.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

<sup>\*1</sup> 東北大学大学院

<sup>\*2</sup> (国研) 産業技術総合研究所

<sup>\*3</sup> 一般財団 法人食品薬品安全センター 秦野研究所

<sup>\*4</sup> 神戸大学大学院

畠山由梨<sup>\*1</sup>, 大竹利幸<sup>\*1</sup>, 西田勇人<sup>\*1</sup>, 廣田衛彦<sup>\*1</sup>, 尾上誠良<sup>\*2</sup>, 戸倉新樹<sup>\*3</sup>, 足利太可雄, 上月裕一<sup>\*1</sup>: Weight of Evidence を用いた光感作評価系の構築 ~光感作データベース~.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

<sup>\*1</sup> 資生堂グローバルイノベーションセンター

\*<sup>2</sup> 静岡県立大学

\*<sup>3</sup> 浜松医科大学

大竹利幸<sup>\*1</sup>, 畠山由梨<sup>\*1</sup>, 西田勇人<sup>\*1</sup>, 廣田衛彦<sup>\*1</sup>, 足利太可雄, 戸倉新樹<sup>\*2</sup>, 上月裕一<sup>\*1</sup>: Weight of Evidence を用いた光感作評価系の構築 ～光h-CLAT の改良～.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

\*<sup>1</sup> 資生堂グローバルイノベーションセンター

\*<sup>2</sup> 浜松医科大学

山田隆志, 栗本雅之, 広瀬明彦, Chihae Yang, James F Rathman: 非発がんエンドポイントのTTCアプローチを改良するための新しいデータベースの開発.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

城島光司, 山田隆志, 広瀬明彦: 分子キーイベントのインビトロ試験データを用いた肝毒性予測モデルの開発.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.24)

小島肇, 黒澤努<sup>\*1</sup>, 鈴木真<sup>\*2</sup>, 武吉正博<sup>\*3</sup>, 諫田泰成, 竹内小苗<sup>\*4</sup>, 佐久間めぐみ<sup>\*5</sup>, 中村牧<sup>\*6</sup>, 寒水孝<sup>\*7</sup>: 日本動物実験代替法学会 国際交流委員会報告.

日本動物実験代替法学会第31回大会 (2018.11.23)

\*<sup>1</sup> 鹿児島大学獣医学部

\*<sup>2</sup> 沖縄科学技術大学院大学

\*<sup>3</sup> 一般財団法人化学物質評価研究機構

\*<sup>4</sup> P & G

\*<sup>5</sup> 株式会社コーセー

\*<sup>6</sup> 小林製薬株式会社

\*<sup>7</sup> 東京理科大学工学部

Kojima H, Ono A<sup>\*1</sup>, Takeyoshi M<sup>\*2</sup>: Performance and future plan for EDCs testing and assessment in Japan. Current Status and Future Plan for Endocrine Disrupting Chemicals Testing and Assessment (2018.11.9)

\*<sup>1</sup> Okayama University

\*<sup>2</sup> Chemical Evaluation and Research Institute (CERI)

Inoue K, Otsuki N<sup>\*</sup>, Hirose A: Assessment of Reproductive and Repeated Dose Toxicity for Cyclopentyl Methyl Ether (CPME) as a Residual Solvent in Pharmaceuticals. 39<sup>th</sup> Annual meeting of American College of Toxicology (2018.11.5)

\* Nippon Zeon Co., Ltd

Kojima H: Japanese Strategy on Alternative to Animal Test Methods for Systemic Toxicology.

20th International Congress on In Vitro Toxicology (2018.10.16)

Fujita Y, Honda H, Yamane M, Morita T, Matsuda T and Morita O: Integrated testing strategy for carcinogenicity evaluation of chemicals using genotoxicity tests and chemical properties.

20th International Congress on In Vitro Toxicology (2018.10.15)

Kojima H: An Introduction to the ICCR and Principles for the Safety Assessment of Cosmetic ingredients.

The 2nd Asian Congress (2018.10.11)

Morita T, Shigeta Y, Kawamura T, Fujita Y, Honda H, Honma M: Current Situation of in silico Prediction of Chromosome Aberration.

Environmental Mutagenesis & Genomics Society, 49th Annual Meeting (2018.9.23)

Kojima H: New methods validation and AAT regulatory acceptance in Japan.

The 2nd International Conference on Cosmetics Alternative Methods in NIFDC (2018.9.21)

Kojima H: Introduction and research status of AAT in JaCVAM.

The 2nd International Conference on Cosmetics Alternative Methods in NIFDC (2018.9.20)

Tanabe S, Aoyagi K<sup>\*1</sup>, Yokozaki H<sup>\*2</sup>, Sasaki H<sup>\*1</sup>: Network pathways of PTCH1, ERBB3, CTNNB1 and EFNA1 in gastric cancer and mesenchymal stem cells.

5th Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society World Congress (2018.9.7)

\*<sup>1</sup> National Cancer Center Research Institute

\*<sup>2</sup> Kobe University of Graduate School of Medicine

Matsumoto M, Kawamura T, Inoue K, Yamada T, Kobayashi N, Hirose A: Updates and overview of derivation of subacute guidance values for contaminants

in drinking water in Japan.

54<sup>th</sup> EUROTOX 2018 (2018.9.4)

Watanabe W\*, Akashi T\*, Hirose A, Miyauchi A\*, Yoshida H\*, Kurokawa M\*: Effects of double-walled carbon nanotubes on the pneumonia in respiratory syncytial virus-infected mice.

54<sup>th</sup> EUROTOX 2018 (2018.9.3)

---

\* Kyushu University of Health and Welfare

Yamada T, Matsumoto M, Kitajima S, Aisaki K, Kanno J, Hirose A: Category assessment of repeated-dose hepatotoxicity of phenolic benzotriazoles for OECD IATA Case Studies Project in 2016.

54<sup>th</sup> Congress of the European Societies of Toxicology (2018.9.3)

Kojima H: New Approach on Alternative to Animal Test Methods in JaCVAM and Japanese projects.

The 15th Annual meeting of Korean Society of Alternative to Animal Experiments (2018.8.24)

Fukuhara K<sup>\*1</sup>, Arai T<sup>\*1,2</sup>, Ohno A, Mori K<sup>\*1</sup>, Shibamura M<sup>\*1</sup>, Miyata N<sup>\*2</sup>, Nakagawa H<sup>\*2</sup>: Potential lead compounds for the treatment of Alzheimer's disease: a peptide that blocks amyloid  $\beta$  induced neurotoxicity.

256<sup>th</sup> ACS National Meeting (2018.8.19)

---

<sup>\*1</sup> School of Pharmacy, Showa University,

<sup>\*2</sup> Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya City University

小島肇：ワークショップ 生殖発生毒性試験の国際標準化、代替法の適正確認とは何か。

第58回日本先天異常学会学術集会 (2018.7.27)

小島肇：教育講演：ガイドライン化を目指した*in vitro*試験系導入の具体的な留意点。

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

伊藤浩太\*, 遠藤ちひろ\*, 榊原隆史\*, 河村公太郎\*, 松浦正男\*, 小島肇: ウシ摘出角膜を用いる眼刺激試験 (BCOP試験) 腐食性・強刺激性物質の判定における組織学的検査の有用性。

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

\* 株式会社化合物安全性研究所

森田健：遺伝毒性評価のための*in vivo*試験実施戦略，日本毒性学会シンポジウム：動き始めた遺伝毒性評価の新たな潮流。

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.20)

松本真理子，田邊思帆里，芹沢英樹\*，高部道仁\*，川村智子，五十嵐智女，磯貴子，井上薫，山田隆志，広瀬明彦：アセナフチレンの人健康影響に係る安全性試験結果：28日間反復投与毒性試験及び遺伝毒性試験

第45回日本毒性学会学術大会 (2018.7.19)

---

\* 株式会社ボゾリサーチセンター

五十嵐智女，高部道仁<sup>\*1</sup>，高島宏昌<sup>\*1</sup>，鈴木洋，牛田和夫，松本真理子，磯貴子，川村智子，井上薫，小野敦<sup>\*2</sup>，山田隆志，広瀬明彦：サリチル酸ベンジルの遺伝毒性，反復投与毒性及び生殖発生毒性のスクリーニング。

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

---

<sup>\*1</sup> ボゾリサーチセンター

<sup>\*2</sup> 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

田邊思帆里，広瀬明彦，山田隆志：Adverse Outcome Pathway (AOP) の構築 ～ヒストン脱アセチル化酵素阻害による精巣毒性に関するAOPを例に～。

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

坂本義光<sup>\*1</sup>，北條幹<sup>\*1</sup>，鈴木俊也<sup>\*1</sup>，猪又明子<sup>\*1</sup>，守安貴子<sup>\*1</sup>，広瀬明彦，中江大<sup>\*2</sup>：多層カーボンナノチューブ (MWCNT) を単回経気管噴霧投与した後終生飼育したラットの肺および中皮組織における増殖性病変の発生。

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19)

---

<sup>\*1</sup> 東京都健康安全センター

<sup>\*2</sup> 東京農業大学

山田隆志：インシリコ手法によるヒト用医薬品の生態毒性評価手法の開発。

第45回日本毒性学会学術大会 (2018.7.19)

津田洋幸<sup>\*1</sup>，徐結荷<sup>\*1</sup>，Alexander WT<sup>\*1</sup>，Alexander DB<sup>\*1</sup>，Abdelgied M<sup>\*1</sup>，Elgazzar A<sup>\*1</sup>，沼野琢旬<sup>\*1</sup>，広瀬明彦，菅野純<sup>\*2</sup>：ナノマテリアルの気管支内投与による毒性与発がん性の簡易検出システムの開発

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18)

\*<sup>1</sup> 名古屋市立大学

\*<sup>2</sup> 日本バイオアッセイ研究センター

津田洋幸<sup>\*1</sup>, 徐結荷<sup>\*1</sup>, Alexander WT<sup>\*1</sup>, Alexander DB<sup>\*1</sup>, Abdelgied M<sup>\*1</sup>, Elgazzar A<sup>\*1</sup>, 沼野琢旬<sup>\*1</sup>, 広瀬明彦, 菅野純<sup>\*2</sup>: ナノマテリアル特にカーボンナノチューブによる肺・胸膜中皮障害と発がん性の経気管肺内噴霧投与 (TIPS) 試験法の開発

第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18)

\*<sup>1</sup> 名古屋市立大学

\*<sup>2</sup> 日本バイオアッセイ研究センター

広瀬明彦: ナノマテリアルの慢性影響評価手法としての気管内投与試験法と短期間曝露試験法の妥当性について  
第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.18)

山田隆志: 毒性関連大規模データベースの利用とリードアクロスによる安全性評価.

第45回日本毒性学会学術大会 (2018.7.18)

Kojima H: Recent Activities for safety assessment.  
International Symposium on Cosmetic Regulation (2018.7.13)

Tanabe S, Aoyagi K<sup>\*1</sup>, Yokozaki H<sup>\*2</sup>, Sasaki H<sup>\*1</sup>: Combination of network pathway and epithelial-mesenchymal transition-related gene expression in gastric cancer and mesenchymal stem cells.

The 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) (2018.7.4)

\*<sup>1</sup> National Cancer Center Research Institute

\*<sup>2</sup> Kobe University of Graduate School of Medicine

Hirose A, Matsumoto M, Kawamura T, Yamada T, Inoue K: Setting of the subacute guidance value for risk management of emerging issues at the drinking water quality.

8th Asian Society of Toxicology (ASITOX 2018) (2018.6.19)

小島肇: *In vitro*モデルの創薬開発への活用.  
日本組織培養学会第91回大会 (2018.6.16)

加藤義直<sup>\*1</sup>, 山本直樹<sup>\*2</sup>, 平松範子<sup>\*2</sup>, 佐藤淳<sup>\*1</sup>, 中田悟<sup>\*1</sup>, 小島肇: 不死化ヒト角膜上皮細胞株 (iHCE-NY 1) を用いて作製した三次元角膜再構築モデルの眼刺激性試験代替法～刺激性と回復性の評価～.

日本組織培養学会第91回大会 (2018.6.15)

\*<sup>1</sup> 日本メナード化粧品株式会社

\*<sup>2</sup> 藤田保健衛生大学研究支援推進センター再生医療支援推進施設

Kojima H: Alternative Test Methods Developed in Japan and South Korea for Regulatory Use.  
8th Conference of Alternative Methods (2018.6.12)

広瀬明彦: 毒性およびリスク評価上の基本概念に基づいたPDEの設定法について

2018年ISPE日本本部年次大会 (2018.5.25)

Kojima H: New trend on alternative to animal testing in Japan.

OpenTox 2018 (2018.5.24)

Hirose A, Kurimoto M, Shiraishi H<sup>\*1</sup>, Yamamoto H<sup>\*1</sup>, Tatarazako N<sup>\*2</sup>, Nishimura T<sup>\*3</sup>, Yamada T: Validation of the *in silico* prediction tool for toxicity of Algae by pharmaceuticals in environment.

SETAC (Society of Environmental Toxicology and Chemistry) Europe 28th Annual Meeting (2018.5.14)

\*<sup>1</sup> National Institute for Environmental Studies

\*<sup>2</sup> Ehime University

\*<sup>3</sup> Teikyo Heisei University

Yamada T, Kurimoto M, Shiraishi H<sup>\*1</sup>, Yamamoto H<sup>\*1</sup>, Tatarazako N<sup>\*2</sup>, Nishimura T<sup>\*3</sup>, Hirose A: Evaluation of QSAR models for daphnia and fish chronic toxicities of human pharmaceuticals.

SETAC (Society of Environmental Toxicology and Chemistry) Europe 28th Annual Meeting (2018.5.14)

\*<sup>1</sup> National Institute for Environmental Studies

\*<sup>2</sup> Ehime University

\*<sup>3</sup> Teikyo Heisei University

Hirose A, Hojo M<sup>\*1</sup>, Kobayashi N: Impact of sample preparation of MWCNT for developmental toxicity by intratracheal instillation.

The 10th Congress of Toxicology in Developing Countries  
(CTDC2018) (2018.4.20)

---

\*<sup>1</sup> Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

Hirose A: Validation of the toxicological threshold for  
E&L from the Single Use System.

PQRI (Product Quality Research Institute) PODP  
(Parenteral and Ophthalmic Drug Products) Extractables  
and Leachables Workshop (2018.4.19)